

6年—Unit 1

単元名 This is ME! 自己紹介

1 単元目標

- ・自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。(思考力、判断、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- I'm from (Shizuoka). I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). My birthday is (August 19th).
My nickname is (Ken). What [colors / subjects / fruits / sports / animals] do you like? What is your favorite
[color / subject / fruit / sport / animal]? When is your birthday?
- from, nickname, running, speak, subject, bird
- [既出] 挨拶・自己紹介, 色, 動物, 果物・野菜, 飲食物, スポーツ, 教科, 月, 序数, favorite

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間) *指導書の「指導の流れ」では全 7 時間となっているが、8 時間で構成している。

時	目標 (◆) と主な活動 ([I], [O]) [] = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆好きな動物などについて、聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.4 ・自己紹介を聞いて分かったことを誌面に記入する。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・全体を 1 回通して視聴した後、最初の Muhammad の映像だけを繰り返し視聴し、分かったことを書く。</p> <p>【Let's Play 1】 p.4 ・グループになり、好きな動物を言う。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・Muhammad の映像を再度視聴し、自己紹介で紹介する内容について確認する。</p> <p>【Let's Talk】 p.6 ・ペアで、好きな動物を含めて自己紹介をし合う。</p> <p>【Let's Read and Write】 ① p.8 書く文例：I like (cats). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな動物を書き写す。</p>	◎好きな動物について話している。 <行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆自己紹介を聞いてその概要を捉えるとともに、好きなスポーツについて聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・全体を 1 回視聴した後、Anastasia の映像だけを繰り返し視聴し、分かったことを Anastasia のイラストのそばに書く。</p>	◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。 <行動観察・振り返りカード点検>

	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになり、好きなスポーツを言う。 <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Anastasia の映像を再度視聴し、自己紹介で紹介する内容について確認する。 <p>【Let's Talk】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、好きなスポーツを含めて自己紹介をし合う。 <p>【Let's Read and Write】 ② p.8</p> <p>書く文例：I like (soccer).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きなスポーツを書き写す <p>○Small Talk について知る。</p>	<p>◎好きなスポーツについて聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、好きな教科について聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。</p> <p>○Small Talk：好きな動物またはスポーツとその理由</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を1回視聴した後、Mark の映像だけを繰り返し視聴し、分かったことを Mark のイラストのそばに書く。 <p>○Let's Chant What do you have on Monday? (We Can! 1 Unit 3)</p> <p>【Let's Play 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになり、好きな教科を言う。 <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mark の映像を再度視聴し、指導者の質問に答え、自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認する。 <p>【Let's Talk】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、好きな教科を含めて自己紹介をし合う。 <p>【Let's Read and Write】 ③ p.8</p> <p>書く文例：I like (P.E.).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな教科を書き写す。 	<p>◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎好きな教科について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、誕生日について聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を1回視聴した後、Sophia の映像だけを繰り返し視聴し、分かったことを Sophia のイラストのそばに書く。 <p>【Let's Play 2】 Pointing Game p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言った月や行事を聞いて、誌面にある絵をさし示して繰り返す。 <p>○Let's Chant Twelve Months (We Can! 1 Unit 2)</p> <p>【Let's Listen 2】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の人物の誕生日を聞き取り、誌面の□に記入する。 <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sophia の映像を再度視聴し、指導者の質問に答える。 <p>【Let's Talk】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、誕生日を含む自己紹介をし合う。 <p>○Sounds and Letters (b)</p>	<p>◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎誕生日について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

	<p>【Let's Read and Write】 ④ p.8 書く文 : My birthday is (May 16th). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで自分の誕生日を書き写す。</p>	
5	<p>◆好きなスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○Small Talk : 好きな月や季節 【Let's Play 3】 p.6 ・月名を言ったり, 季節を答えたりする。 ・指導者の言うアルファベットの文字の名称を聞いて, それは何月かを教師用カード (月) あるいは, 児童用テキスト p.5 Let's Play 2 の月の単語を見て答える。</p> <p>○Let's Chant When is your birthday? (We Can! 1 Unit 2) 【Let's Talk】 p.6 ・ペアになり, 好きなスポーツ, 動物, 教科, 季節, 食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・再度4人が自己紹介をしている映像を視聴する。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑤ p.8 書く文 : I like (summer). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな季節を書き写す。</p>	<p>◎好きなスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆自分のできることを伝え合う。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・映像を視聴し, 4人の子供が話す言語を通じて, 英語が世界で話されていることに気付く。</p> <p>【Let's Play 4】 Pointing Game p.7 ・児童用テキスト p.7 で, 指導者が言う動作の絵をさし示し, 繰り返して言う。</p> <p>○Let's Chant Can you play the piano? (We Can! 1 Unit 5) 【Let's Talk】 p.6 ・ペアになり, 自分ができていることを, I can ~. で伝え合う。</p> <p>○Sounds and Letters (c) 【Let's Read and Write】 ⑥ p.8 書く文 : I can (cook). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで自分のできることを書き写す。</p>	<p>◎自分ができていることについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆自己紹介の例文を読み, それらを参考に自己紹介文を書く。 ◆作成した文をもとに自己紹介する。</p> <p>○Small Talk : 好きな季節とその理由 【Let's Listen 3】 p.7 ・Let's Watch and Think で出てきた Muhammad と Anastasia の長めの自己紹介を聞き, 分かったことを誌面の□に書き入れる。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑦ p.8 ・デジタル教材で, ワークシートの英文を聞く。 ・音声の後について英文を言う。</p>	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ語句や文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解する。 【Activity】 p.8 ・例文を聞いて、後に続いて読む。 ・ワークシートや Activity の例文を参考に自己紹介文を書く。 ・ペアで自己紹介をし合う。 	<p>◎例を参考に語と語の区切りに注意して、自己紹介を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎自己紹介をしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自己紹介をしようとする。</p> <p>◆短い話を聞いて内容を理解するとともに、英語の音を意識し文字の読み方が分かる。</p> <p>【Activity】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を個人やペアで練習する。 ・グループ内で発表し合う。 ・聞き手は、分かったことをワークシートの空欄に書き込む。 <p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Who am I?クイズをする。 <p>○自己紹介の感想を書く。</p> <p>【STORY TIME】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎聞き手が理解できるよう相手に配慮しながら自己紹介をしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎短い話を聞き内容を理解し、英語の音を意識し、文字の読み方が分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 1—Lesson 1 単元名 This is ME! 自己紹介 1/8 時間
目 標 好きな動物などについて、聞いたり言ったりできる。
準 備 自己紹介に必要な写真や絵カード、デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 1-1)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <p>・指導者の氏名を誌面にローマ字で記入し、自己紹介を聞いて分かったことを記入する。</p>	<p>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者は、主に5年生で児童が学習した英語表現を使って下記のような自己紹介をする。動物、スポーツ、教科、誕生日に関することを含めて紹介する。</p>	<p>自己紹介に必要な写真や絵カード</p> <p>デジタル教材</p>
<p style="text-align: center;">自己紹介の例</p> <p>T: I'm I'm from I like dogs. I like tennis.</p> <p>I can play tennis well. I like math and P.E.</p>		<p>※写真を映し出す際には、デジタル教材 → 「教材どうぐばこ」 → 「ツール」 → 「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <p>・この映像資料は、1時～6時まで毎回授業の最初に見る。</p> <p>・全体を1回通しで視聴した後、最初の Muhammad だけを繰り返し視聴し、テキスト誌面 Muhammad のイラストのそばに、分かったことを書く。</p>	<p>・デジタル教材では4人の子供が自己紹介することを伝えるとともに、まずは通して4人全員の自己紹介を視聴することを伝える。</p> <p>T: Let's watch the video. You can see four kids in the video. Each kid makes a speech about his and her favorites. For example, animals, sports, subjects and so on.</p>	<p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム)</p> <p>My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ)</p> <p>My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ)</p> <p>I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
		<p>・全員について視聴した後、分かったことを下の枠に書き込むように伝える。その後、Muhammad の映像をもう1度視聴し、より詳しく分かったことを書くように伝える。</p> <p>T: Let's watch Muhammad again.</p> <p>T: He is from ...? What animal does he like? He likes ...? He can speak ...? Please write anything about Muhammad.</p>	
7分	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <p>・グループになり、好きな動物を言う。</p> <p>S1: I like dogs.</p> <p>S2: You like dogs. I like cats.</p> <p>S3: You like dogs. You like cats.</p> <p>I like rabbits.</p>	<p>・進め方の例を示す。</p>	<p>児童用テキスト</p>
		<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人でグループを作る。 ・円になって(座り)、伝えようと思う自分の好きな動物を決める。 ・最初の人は I like (animals). を言う。 ・次の人は前の人に向かってその人が好きな動物を繰り返して言い、自分の好きな動物を言う。 ・次の人は前の2人に、それぞれが好きな動物を繰り返し言い、自分の好きな動物を言う。 ・最後の人は前の3人に、それぞれが好きな動物を繰り返して言い、自分の好きな動物を言う。 	

5分	<p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <p>・Muhammad の映像を再度視聴し、自己紹介で紹介する内容について確認する。</p>	<p>・Muhammad の映像だけを再度視聴し、自己紹介でどのようなことを紹介すればよいかを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p>【Let's Talk】 p.6</p> <p>・ペアで、好きな動物を含めて自己紹介をし合う。</p> <p>S1: Hello. I'm I'm from I like How about you? S2: I'm I'm from I like</p>	<p>・Muhammad の自己紹介を真似て、ペアで自己紹介（自分が好きな動物を含む）をする。</p> <p>・終わったらペアの相手を替えて（片方が移動）自己紹介を続けさせる。</p> <p>◎好きな動物について話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 ① p.8</p> <p>書く文例 : I like (cats).</p> <p>・デジタル教材で音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな動物を書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を次のような流れでワークシートに書き写させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デジタル教材で1文の音声を聞く。 ② ワークシートの1文を見ながら再度聞く。 ③ ワークシートの1文を読む。 ④ ワークシートの下にある語群から好きな動物を選んでワークシートの4線の上に書き写す。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Do you like cats? What animal do you like? Please choose your favorite animal from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 1-1)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 2 単元名 This is ME! 自己紹介 2/8 時間

目 標 自己紹介を聞いてその概要を捉えるとともに、好きなスポーツについて聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-2), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
12分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を1回視聴した後、Anastasiaの映像だけを繰り返し視聴し、分かったことをテキスト誌面 Anastasia のイラストのそばに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 前時に視聴した Muhammad, Anastasia, Mark, Sophia の映像を再度視聴させる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйге. (ズドラーストヴィチェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> Anastasia の映像だけを再度視聴し、分かったことを Anastasia のイラストのそばに書き込むように伝える。 <p>T: Let's watch Anastasia again. She is from ...? She can speak ...? Her nickname is ...? What sport does she like? She likes ...? She can ...? Please write anything about Anastasia.</p> <p>◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
10分	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、好きなスポーツを言う。 <p>S1: I like soccer. S2: You like soccer. I like baseball. S3: You like soccer. You like baseball. I like dodgeball.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に進める。 <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 5～6人でグループを作る。 円になって(座り)、伝えようと思う自分の好きなスポーツを決める。 最初の方は I like (sport). を言う。 次の人は前の人に向かってその人が好きなスポーツを繰り返して言い、自分の好きなスポーツを言う。 次の人は前の2人に、それぞれが好きなスポーツを繰り返して言い、自分の好きなスポーツを言う。 最後の人は前の3人に、それぞれが好きなスポーツを繰り返して言い、自分の好きなスポーツを言う。 	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Watch and think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> Anastasia の映像を再度視聴し、自己紹介で紹介する内容について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> Anastasia の映像を再度視聴し、自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認させる。 	デジタル教材 児童用テキスト

		<p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p>	
5分	<p>【Let's Talk】 p.6</p> <p>・ペアで、好きなスポーツを含めて自己紹介をし合う。</p> <p>S1: Hello. I'm I'm from I like How about you? S2: I'm I'm from I like.... I can</p>	<p>・Anastasia の自己紹介を真似て、ペアで自己紹介（自分が好きなスポーツを含む）をする。終わったらペアの相手を替えて（片方が移動）自己紹介を続けさせる。</p> <p>◎好きなスポーツについて聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 ② p.8</p> <p>書く文例 : I like (soccer).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きなスポーツを書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。</p> <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Do you like soccer? What sport do you like? Please choose your favorite sport from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 1-2)
5分	<p>OSmall Talk について知る。</p> <p>・今年1年の授業における帯活動 Small Talk について知る。また、5年生の時との違いについて理解する。</p>	<p>・以下の内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 今後1年間、継続的に授業の最初に取り組むこと * 1つのトピックについてペアで対話すること * ペアは毎時間交代すること * 1回の授業で2, 3人で行うこと * 学習した英語表現を使って対話すること <p>・時間があれば実際に例（好きなスポーツ、または動物について）を示す。</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 3 単元名 This is ME! 自己紹介 3/8時間

目 標 自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、好きな教科について聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。

準 備 教師用カード (動物, スポーツ, 教科), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-3), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>OSmall Talk: 好きな動物または、スポーツとその理由 S1: What sport do you like? S2: I like soccer. S1: You like soccer. That sounds nice. Why? S2: It's fun. How about you? What sport do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 まず、指導者が自分の好きな動物やスポーツとその理由を簡単に紹介し、その後、ペアで対話をさせる。 1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。</p>	教師用カード (動物, スポーツ)
10分	<p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を1回視聴した後、Markの映像だけを繰り返し視聴し、分かったことをテキスト誌面 Markのイラストのそばに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に視聴した Muhammad, Anastasia, Mark, Sophiaの映像を再度視聴させる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> Markの映像だけを再度視聴し、分かったことをMarkのイラストのそばに書くよう伝える。 <p>T: Let's watch Mark again. He is from ...? He can speak ...? What subject does he like? He likes ...? Please write anything about Mark.</p> <p>◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>OLet's Chant What do you have on Monday? (5年 Unit 3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> まず1回聞かせ、どのような単語が聞こえたかを発表させる。5年時、We Can! 1 Unit 3で扱っているので、1度聞かせ思い出させるようにする。聞こえた語を児童と確認してから、音声に合わせてチャンツを言う。 	デジタル教材
<p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「チャンツ」</p>			
5分	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、好きな教科を言う。 <p>S1: I like math.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に進める。 	児童用テキスト

	<p>S2: You like math. I like P.E. S3: You like math. You like P.E. I like science.</p>	<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人でグループを作る。 ・円になって(座り), 伝えようと思う自分の好きな教科を決める。 ・最初の方は I like (subject). を言う。 ・次の人は前の人に向かってその人が好きな教科を繰り返して言い, 自分の好きな教科を言う。 ・次の人は前の2人に, それぞれが好きな教科を繰り返して言い, 自分の好きな教科を言う。 ・最後の方は前の3人に, それぞれが好きな教科を繰り返して言い, 自分の好きな教科を言う。 	
5分	<p>[Let's Watch and Think] p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mark の映像を再度視聴し, 指導者の質問に答え, 自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Mark の映像を再度視聴し, 自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認させる。その際, 以下のように指導者が質問をし, 児童が答える形で行う。 	デジタル教材
	<p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p>	<p>T: What is his name? Where is he from? What subject does he like? English? What languages can he speak? Japanese?</p>	
5分	<p>[Let's Talk] p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで, 好きな教科を含めて自己紹介をし合う。 <p>S1: Hello, I'm I'm from I like How about you? S2: I'm I'm from I like I can</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Mark の自己紹介を真似て, ペアで自己紹介(自分が好きな教科を含む)をする。終わったらペアの相手を替えて(片方が移動)自己紹介を続けさせる。 ◎好きな教科について聞いたり, 言ったりして自己紹介し合っている。 <行動観察・振り返りカード点検> 	児童用テキスト
5分	<p>[Let's Read and Write] ③ p.8</p> <p><u>書く文例 : I like (P.E.)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな教科を書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Do you like P.E.? What subject do you like? Please choose your favorite subject from the word box and write it down.</p>	ワークシート (Unit 1-3) 教師用カード (教科)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 4 単元名 This is ME! 自己紹介 4/8 時間

目 標 自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、誕生日について聞いたり、言ったりして自己紹介し合う。

準 備 教師用カード (月), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-4, 1-9), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <p>・全体を1回視聴した後、Sophiaの映像だけを繰り返し視聴し、誌面のSophiaのイラストそばに、分かったことを書く。</p>	<p>・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・前時に聞いた Muhammad, Anastasia, Mark, Sophiaの映像を再度視聴させる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチュェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
		<p>・Sophiaの映像だけ再度視聴し、分かったことをSophiaのそばに書くよう伝える。</p> <p>T: Let's watch Sophia again. She is from ...? She can speak ...? What subject does she like? When is her birthday? Please write anything about Sophia.</p> <p>◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
6分	<p>【Let's Play 2】 Pointing Game p.5</p> <p>・指導者が言った月を聞いて、誌面にある月の絵をさし示して、月名を発音する。</p> <p>・先生が行事を言うのを聞いて、それに合う月の絵をさし示して、月名を発音する。</p>	<p>・児童は、すでにその進め方を知っていると思われるが、分からない場合は進め方の例を示す。</p> <p>・月の言い方を思い出させることがねらいである。</p> <p>T: Let's play the Pointing Game. Look at the page 5. When I say, "January", please point at "January" and say, "January". When I say "February", please point at February and say "February". When I say, "Dolls' Festival", please point at "March". OK?</p>	教師用カード (月) 児童用テキスト デジタル教材
4分	<p>○Let's Chant Twelve Months (5年 Unit 2)</p>	<p>・前時に続いて、5年生の We Can! 1 Unit 2 で扱っているチャンツを言う。</p>	デジタル教材
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「チャンツ」 </div>			

5分	<p>【Let's Listen 2】 p.5</p> <p>・歴史上の人物の誕生日を聞き取り, 誌面の□に記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・Tokugawa Ieyasu's birthday is January 31st. ・Thomas Edison's birthday is February 11th. ・Mother Teresa's birthday is August 26th.</p> </div>	<p>・誌面にある3人の歴史上の人物が誰かを確認してからデジタル教材で音声聞く。</p> <p>・5年生 We Can! Unit 2 で学習した誕生日の言い方を思い出させることがねらいである。そのため, 単に聞き取って終わりにせず, 答えを確認した後, 児童数名に When is your birthday? と尋ね, 誕生日を言わせるようにする。</p> <p>T: When is your birthday? Your birthday is When is Mother Teresa's birthday? Listen and check the answers.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
4分	<p>【Let's Watch and Think】 p.2, 3</p> <p>・Sophia の映像を再度視聴し, 指導者の質問に答える。</p>	<p>・Sophia の映像を再度視聴し, 自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認させる。その際, 以下のように指導者が質問をし, それに答える形で行う。</p>	デジタル教材
<p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
		<p>T: What is her name? Where is she from? What languages can she speak? English? When is her birthday?</p>	
6分	<p>【Let's Talk】 p.6</p> <p>・ペアで, 誕生日を含む自己紹介をし合う。</p> <p>S1: Hello. I'm My birthday is How about you? S2: I'm My birthday is</p>	<p>・Sophia の自己紹介を真似て, ペアで自己紹介(誕生日を含む)をする。終わったらペアの相手を替えて(片方が移動)自己紹介を続けさせる。</p> <p>◎誕生日について聞いたり, 言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>○Sounds and Letters (b)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /b/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・/b/ の音でサウンド・テニスをする。</p> <p>・ワークシートの4線上に b の文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。(※1)</p> <p>T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle.</p> <p>・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。</p> <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /b/. Now, say the words within five seconds.</p> <p>・まず, 指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり, 制限時間を短くしていったりなどするとよい。</p> <p>・ワークシートの4線上に b の文字を書くよう指示する。</p> <p>T: Please write the letter 'b'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 1-9)
5分	<p>【Let's Read and Write】 ④ p.8</p> <p>書く文 : My birthday is (May 16th)</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで自分の誕生日を書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。</p> <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. When is your birthday? Please choose your birth month from the word box and write your birthday down.</p>	ワークシート (Unit 1-4)

		・音声では March 16th となっているが、ワークシートでは May となっていることに留意する。	
3分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

- ※1 ジングルは, 5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており, 6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。
- ※2 サウンド・テニスとは, 学習している音 (ここでは/b/) への気付きを高め, 既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて, また, この活動に取り組み始めて間もない頃は, 指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音 (ここでは /b/) から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音 (/b/) から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 1—Lesson 5	単元名 This is ME!	自己紹介	5/8時間
目 標	好きなスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合う。		
準 備	教師用カード (月, 季節), デジタル教材, 児童用テキスト, 児童用カード (月), ワークシート (Unit 1-5), 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな月や季節</p> <p>S1: What season do you like? S2: I like summer. S1: You like summer. I see. …</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が自分の好きな月や季節を簡単に紹介し, ペアで対話をさせる。 1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手) ここでは前時の復習として月名と季節を題材とする。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84 を参照。</p>	教師用カード (月, 季節)
9分	<p>【Let's Play 3】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> 月名を言ったり, 季節を答えたりする。 <p>T: This is ...? S: February. T: Yes. February. February is in summer? Spring? ... S: Winter. T: Yes! February is in winter. Next, this is ...? <ul style="list-style-type: none"> 指導者の言うアルファベットの文字の名称を聞いて, それが何月かを教師用カード(月)あるいは, 児童用テキスト p.5 Let's Play の月の単語を見て答える。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童用 p.6 の季節の絵と児童用カード(月)で絵合わせをするよう告げる。季節や月の言い方に慣れ親しませることがねらいである。 <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者は, 教師用カード(季節)を春夏秋冬の順に黒板に掲示する。 指導者は教師カード(月)を見せ, それがどの季節に合うかを尋ね, 児童とともに, すべての月を季節に分ける。 <ul style="list-style-type: none"> 教師用カード(月)は黒板に掲示したままで, 月の単語の文字を言い, それが何月かを尋ねる。文字の名称の読み方に慣れ親しませることがねらいである。 <p>T: Now, listen. F-E-B-R-U-A-R-Y. Which month? Ss: February!</p> <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者はある月の文字を言う。(単語をスペルアウトする) 児童は, それが何月かを考えて答える。 <ul style="list-style-type: none"> 単に文字に慣れ親しませるだけでなく, 児童に誕生日を尋ねるなど, やり取りをするようにする。 <p>T: When is your birthday, S1? S1: My birthday is</p>	教師用カード (月, 季節) 児童用カード (月) 児童用テキスト
5分	<p>○Let's Chant When is your birthday? (5年 Unit 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞かせ, どのような単語が聞こえたかを発表させる。 聞こえた単語を児童と確認して, 音声の後について児童と一緒に言う。 	デジタル教材
		デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「チャンツ」	
10分	<p>【Let's Talk】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり, 好きなスポーツ, 動物, 教科, 季節, 食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりする。 <p>S1: What animals do you like? S2: I like cats. How about you? S1: I like koalas. S1: What subject do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童用テキストに自分のことを書いた上で, 隣, 前後, 斜めでペアになり, 好きなスポーツ, 動物, 教科, 季節, 食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりするように指示する。 答えを聞いた際に Nice. Sounds good. などと反応を返すよう促す。 <p>◎好きなスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観</p>	児童用テキスト

	S3: I like math. How about you? S1: I like music. など	察・振り返りカード点検	
5分	【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・もう1度4人が自己紹介をしているビデオを視聴する。	・発音やイントネーションを意識して、ビデオの自己紹介の後に続いて言わせる。 T: Listen to their introduction and repeat after them.	デジタル教材
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
5分	【Let's Read and Write】 ⑤ p.8 書く文 : I like (summer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで自分の好きな季節を書き写す。	・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Do you like summer? What season do you like? Please choose your favorite season from the word box and write it down.	ワークシート (Unit 1-5)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 6 単元名 This is ME! 自己紹介 6/8 時間

目 標 自分のできることを伝え合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-6, 1-10), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	【Let's Watch and Think】 p.2, 3 ・映像を視聴し, 4人の子供達が話す言語は何なのかを確認し, 世界の多くの子供達が英語を話すことができることに気付く。	・映像を通して視聴させ, 4人の子供たちが話す言語が何かを確認する。 T: Please watch the video once again. What languages can they speak? Muhammad can speak Arabic (アラビア語) and ...? ※Arabic, Russian, Portuguese は未習語であるため, その部分は日本語で伝える。 ・ここでは, 多くの国の子供たちが英語を共通に話すことに気付かせることがねらいである。 ・Can you speak English? など, 児童達ができることについてやり取りをし, Let's Talk につなげるようにする。	デジタル教材
<p>ムハンマド : Hello. السلام عليكم (アッサラームアレイコム) My name is Muhammad. I'm from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> <p>アナスタシア : Hello. Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) My name is Анастасия. (アナスタシア) I can speak Russian and English. My nickname is Tasha. I'm from Russia. I like soccer. I can dribble well. What sport do you like?</p> <p>マーク : Hello. My name is Mark. I'm from America. I can speak English and Japanese. I like my school, my teachers and my friends. I like science very much. What subject do you like?</p> <p>ソフィア : Hello. Boa tarde. (ボアタージ) I'm Sophia Silva. My nickname is Sophie. I'm from Brazil. I can speak Portuguese and English. My birthday is March 18th. When is your birthday?</p>			
5分	【Let's Play 4】 Pointing Game p.7 ・児童用テキスト p.7 で, 指導者が言う動作の絵をさし示し, 繰り返して言う。	・指導者が動作の語を言い, 児童にその動作のイラストをさし示しながら語を繰り返させる。デジタル教材の音声を聞かせてもよい。 play soccer, play baseball, watch TV, skate, do kendo, do judo, eat breakfast, speak English, swim cook, play kendama, ski	デジタル教材 児童用テキスト
4分	○Let's Chant Can you sing well? オプション④ (5年 Unit 5)	・チャンツを聞かせ, どのような語が聞こえたかを発表させる。 ・聞こえた語を児童と確認して, 児童と一緒に言う。	デジタル教材
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「チャンツ」 </div>			
13分	【Let's Talk】 p.6 ・自分ができるとの英語での言い方を考える。 ・ペアになり, 自分ができるとを, I can ~. で伝え合う。	・指導者が自分のできることを I can ~ (well). を使って言う。その後, 何人かの児童に Can you ~? と尋ね, I can ~ (well). を使って言わせてみる。 ・その流れで, 児童同士で対話させる。 ◎自分ができるとについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	

5分	<p>○Sounds and Letters (c)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(時間があれば) ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある c(/k/) で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・c (/k/) の音でサウンド・テニスをする。 <p>・ワークシートの4線上に c の文字を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを聞かせる (時間があれば) <p>T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /k/. Say the word within five seconds.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は教師と児童全員で行い、児童が慣れてきたら児童同士で行ったり、制限時間を短くしたりするとよい。c, k, q も /k/ の音であることから、児童が king や koala を言う可能性もあるが、それを全く否定をするのではなく、/k/ で始まる単語を見つけたことを十分に認めた上で、それらが k で始まることを伝える程度にとどめる。 ・ワークシートの4線上に c の文字を書かせる。 <p>T: Please write the letter 'c'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 1-10)
5分	<p>【Let's Read and Write】⑥ p.8</p> <p>書く文 : I can (cook).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで自分のできることを書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Can you cook? What can you do? Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	ワークシート (Unit 1-6)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 7 単元名 This is ME! 自己紹介 7/8 時間
目 標 自己紹介の例文を読み、それらを参考に自己紹介文を書く。 作成した文をもとに自己紹介する。
準 備 教師用カード (季節), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-7, 1-8), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk :好きな季節とその理由</p> <p>S1: What season do you like? S2: I like summer. S1: You like summer. I see. Why? S2: I like swimming. How about you? What season do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が自分の好きな季節とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。 ・1回目活動→指導→2回目活動(1回目とは違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の単元 (Unit 2) で季節の行事を話題とするため、その前段階として季節名の復習を音声で行う。 	教師用カード (季節)
11分	<p>【Let's Listen 3】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Watch and Think で出てきた Muhammad と Anastasia の長めの自己紹介を聞き、分かったことを誌面の□に書き入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Muhammad と Anastasia の少し長めの自己紹介を聞き、誌面に分かったことを記入するように指示する。 ・1回目は2人の自己紹介を聞かせる。 ・2回目にそれぞれ, Muhammad, Anastasia の好きな動物, 好きな教科, できること, 誕生日を聞き取り, 日本語で□に記入させる。 ・児童とやり取りしながら答えを確認する。 <p>T: Let's check the answers.</p> <p>Muhammad is from ...? Muhammad's birthday is ...? など</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>アナスタシア</p> <p>I'm Anastasia. I'm from Russia. I like birds very much. Do you like birds? I like music. I'm good at singing songs. My favorite sport is soccer and I'm good at dribbling. My birthday is February 22nd. When is your birthday?</p> <p>ムハンマド</p> <p>My name is Muhammad. I'm from Egypt. Do you like cats? I like cats. We have a nice cat. His name is Kaja. I like English. I'm good at speaking English. I'm also good at running. My birthday is September 18th.</p>		
13分	<p>【Let's Read and Write】 ⑦ p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、ワークシートの英文を聞く。 ・音声の後について英文を言う。 <p>① I like cats. ② I like soccer. ③ I like math. ④ My birthday is March 16th. ⑤ I like summer. ⑥ I can run fast.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Unit 1-7) を見せ、これは、今までワークシートに例として書かれていた文をまとめて書いたものであることを確認する。 ・デジタル教材で、1度それらの例文が読まれるのを聞かせる。その後、再度デジタル教材の音声を聞かせ、後について文を言うように指示する。 <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ語句や文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声では I like math. My birthday is March 16th. となっているが、ワークシートでは P.E, May となっていることに留意する。 	ワークシート (Unit 1-7)

10分	<p>【Activity】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> 例文を聞いて、後に続いて読む(言う)。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Hello. I'm Yuta. I like dogs. I like math. I like soccer. I can run fast. My birthday is May 16th. Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートや Activity の例文を参考に自己紹介文を書く。 ペアで自己紹介をし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童用テキスト p.8にあるような自己紹介文を作成することを伝える。 デジタル教材で、例文が読まれるのを聞かせる。1回目は聞き、2回目から音声の後に続いて英文を読む(言う)ようにさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ワークシートや Activity の例文を参考に自分の自己紹介文を清書するように伝える。 ◎例を参考に語と語の区切りに注意して、自己紹介を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ペアで自分の書いた紹介文をもとに自己紹介するように指示する。 ◎自己紹介をしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	ワークシート (Unit 1-7, 1-8)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 1—Lesson 8	単元名 This is ME!	自己紹介	8/8 時間
目 標	他者に配慮しながら、自己紹介をしようとする。 短い話を聞いて内容を理解するとともに、英語の音を意識し文字の読み方が分かる。		
準 備	デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 1-7, 1-8 : 前時に作成したもの)、振り返りカード		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
16分	【Activity】 p.8 ・個人で自己紹介を練習する。 ・ペアで自己紹介を練習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Hello. I'm Yuta. I like dogs. I like math. I like soccer. I can run fast. My birthday is May 16th. Thank you. </div> ・5人1組で発表し合う。 ・聞き手は、分かったことをワークシート (Unit 1-8) の空欄に書き込む。	・前時に完成させたワークシートの自己紹介文をもとに自己紹介の練習を個人で、次にペアで行わせる。 ・聞き手にとって理解しやすくするために、どのような点に気を付けたり工夫したりすればよいかを確認した上で、練習に取り組みさせる。 ・児童が互いの英語を聞き取ることができるように支援する。 ◎聞き手が理解できるよう相手に配慮しながら自己紹介をしている。 <行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート (Unit 1-7, 1-8 : 前時に作成したもの)
13分	○Let's Play ・Who am I? クイズをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Who am I? クイズの進め方 ・4人または6人でグループになり、自分たちの自己紹介文を裏返して中央に置く。 ・ペアで自己紹介文を1つ選び、協力してその自己紹介文を読み、それが誰かを尋ねる。 S1, 2: I like music. I can play the piano. My birthday is December 24th. Who am I? ・他の児童は、それを聞いて誰の自己紹介文かを考えて答える。 </div>	・児童の自己紹介文を1枚選んで読み、それが誰かを児童に当てさせる。 ・同様に、グループで行わせる。	ワークシート (Unit 1-8:前時に作成したもの)
4分	○自己紹介の感想を書く。 ・互いの自己紹介カードについて感想やメッセージを書く。	・元のペアにもどり、相手の自己紹介について感想やメッセージを書くように指示する。	ワークシート (Unit 1-8:前時に作成したもの)
8分	【STORY TIME】 p.9 ・デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 ・ライム (押韻) している単語だけを読む。	・本単元で学習した表現が含まれている文を読みながら、ライム (押韻) を通して子音の復習と母音の気付きを高める。ここで取り扱うライム (押韻) は /æ/ である。 T: Listen to the story. Next repeat after the story. Finally repeat after the rhyming words. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> I like cats. We have a cat. His name is Pat. Where is he? He is in the hat. Pat, the cat, is in the hat. </div> ◎短い話を聞き内容を理解し、英語の音を意識し、文字の読み方が分かっている。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	・本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年－Unit 2 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化

1. 単元目標

- ・日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。(学びに向う力、人間性等)

2. 言語材料

- Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). What [food / games] do you have in Japan? We have [soba / fukuwarai]. It's [delicious / fun]. You can enjoy [rakugo / hanami / tempura].
 - we, culture, temple, castle, firework, popular, traditional, 日本の行事 (snow festival), 味覚 (sweet, bitter, sour, salty, spicy), soft, hard, chips
- [既出] 状態・気持ち, スポーツ, 飲食物, 季節, 月, 日本の行事, girl, welcome, enjoy

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな季節とその理由 【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 (外国の子供たち) が自国のことについて話している映像を視聴し、各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように、誌面上のイラストを線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。 ・指導者の質問に答えたり、指導者の後に続けて言ったりして答えを確認する。 <p>○Three-Hint Quiz</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのヒントを聞いて、ヒントに合う行事や祭りを考えて発表する。 <p>○ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う行事や祭りに関する文を聞いて、それがどの季節かを考え、誌面にある該当する季節をさし示す。 <p>○季節に楽しめることを言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～4人で1グループになり、児童用テキスト p.6 Let's Play 3 の四季のイラストを使って行う。順番を決め、spring から1人ずつ1つの季節に楽しめることを言っていく。 <p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例 : You can enjoy (hanami) in (spring).</p>	◎各季節で楽しめることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ○単元の終末の活動を知る。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かる。 ◆日本の行事について、行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。 <p>【Let's Play 1】 Three-Hint Quiz p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が出すヒントを聞いて、行事名を答える。 <p>【Let's Play 2】 Key-Word Game p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う文を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワード(感想)が言われた場合は、繰り返さず、ペアの間に置いた消しゴムを取る。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様に、別の2人の登場人物が自国のことについて話している映像を視聴し、各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように、誌面上の絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。 <p>【Let's Listen 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季における行事や祭りについての話を聞く。1回目は児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は児童用テキストを見ながら聞き、内容に合うように口に番号を書く。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <p>○どの季節にどの行事や祭りをするか考えて言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進め方を理解し、ペアで行う。 <p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例：We have (snow festivals).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (d)</p>	<p>◎日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かり,番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎日本の行事について、それがどの季節に行われるかを言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆食べ物とその味覚などについて話を聞いて、その内容が分かったり、言ったりすることができる。 <p>○Small Talk：好きな日本の行事とその理由</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で音声を聞き、日本食について分かったことを誌面に記入する。 ・答えを確認する。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <p>○マッチング・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、分かったことを誌面の表に記入する。 <p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例：We have (<i>sushi</i>).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎食べ物とその味覚を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎登場人物の話を聞いて、食べ物とその味覚など分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

4	<p>◆日本の食べ物について、その味覚やその食べ物に関してできることを話す。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 ・デジタル教材を視聴しながら、音声が続いてチャンツを言う。</p> <p>【Let's Watch and Think 3】 p.14 ・映像資料の音声のみを数回聞いて、内容に合うように線で結んだり、分かったことを誌面に記入したりする。視聴後、解答を確認する。</p> <p>○マッチング・ゲーム</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例: It's (delicious). ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (f)</p>	<p>◎好きな食べ物とその味覚、その食べ物に関してできることを話している。 <行動観察・振り返りカード点検></p>
5	<p>◆日本の遊びについての話を聞いて内容が分かる。</p> <p>◆好きな日本の遊びについて伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 【Let's Watch and Think 4】 p.14 ・1回目は、児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は、誌面を見ながら聞き、内容に合うように○や△などを記入する。 ・3回目に映像資料を視聴する。</p> <p>○Let's Talk ・指導者による行事の紹介を聞きそれについての質問に答える。 ・自分が紹介したい行事を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文章： We have (<i>shogi</i>). ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎日本の遊びには何があるか、その遊びが得意かどうかなどを聞いて、誌面に○や△を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎日本の行事やその行事で楽しめることなどについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
6	<p>◆好きな日本の食べ物について伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 ・デジタル教材に合わせてチャンツを言う。</p> <p>【Let's Watch and Think 5】 p.15 ・1回目は、児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は、児童用テキストを見ながら聞き、分かったことを書く。 ・3回目に映像資料を視聴する。</p> <p>○Let's Talk ・指導者による食べ物の紹介を聞き、それについての質問に答える。 ・自分が紹介したい食べ物を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例: We have (<i>kabuki</i>) . ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎好きな日本の食べ物とその味覚などについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

	○Sounds and Letters (g)	
7	◆紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書く。	
	○Small Talk : 好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由 【Let's Watch and Think 6】 p.15 ・デジタル教材を視聴し、指導者の質問に答える。 【Activity】 p.16 ・ペアになり、何を紹介するのかを考える。児童用テキストやワークシートなどにある今まで学習した表現を理解し、ポスター作成に役立てる。 ・ポスターを作る。 ・ポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。 ・ワークシートなどをもとに、ペアでオリジナルなものを作る。	◎紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
8	◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に紹介文を書いたりする。 ◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に紹介文を書いたりしようとする。	
	【Activity】 p.16 ・作成したポスターを使い、日本紹介を行う。 ・1人で、または2人1組で行う。 ○Let's Write ・ワークシートやポスターを参考に、前活動で日本について紹介したことを書く。 【STORY TIME】 p.17 ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。	◎他者に配慮しながら、紹介したい日本の行事、食べ物、遊びなどについて話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎紹介した日本の行事、食べ物、遊びなどについて、語順を意識しながら例を参考に書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉

6年 Unit 2-Lesson 1 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 1/8時間

目 標 それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。

準 備 児童用テキスト, ワークシート(Unit 2-1), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな季節とその理由</p> <p>S1: What season do you like? S2: I like winter. S1: You like winter. I see. Why? S2: I like snow. How about you? What season do you like? ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が自分の好きな校内の場所とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。 1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。</p>	
8分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物(外国の子供たち)が自国のことについて話している映像を視聴し、各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように、誌面上の絵を線で結ぶ。 2回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> Let's Watch and Think 1 は、第1時と第2時の両方で扱う。第1時では前半(ブラジルの Sophia とインドの Laksh)、第2時では後半(エジプトの Muhammad とオーストラリアの John)をそれぞれ視聴する。 単なる聞き取りの練習にならないようにするために、音声を聞かせる前に、「ブラジルの行事といえば何だと思うか」「Laksh はどこの国出身だと思うか」などと問い、予想をさせてから聞かせるようにする。 音声を聞かせる際は、1回目は全体を通じて、2回目は区切って聞かせるなど、児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 聞かせた後は、内容について Do you know a carnival in Rio? Do you like curry and rice? など、内容について児童とやり取りをし、内容をより理解できるようにするとよい。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>ソフィア: Hello. Welcome to Brazil. I'm Sophia. Nice to see you again. Every year we have a carnival in Rio de Janeiro in Brazil. You can enjoy dancing. You can see beautiful costumes, too! It's exciting!</p> <p>ラクシュ: Hello. Welcome to India. I'm Laksh. Nice to meet you. We have curry and nan in India. You can eat spicy curry and nan. It's delicious! Why don't you try it?</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答えたり、指導者の後に続けて言ったりして答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 答えの確認は、次のように指導者の後に続けて言わせる形で行うとよい。 <p>T: I have some questions about Sophia. Where is she from? She is from ...? How about Laksh? She is from ...? Right, India. ... Now what can you enjoy in Brazil? Right, you can enjoy dancing. ...</p>	

7分	<p>○Three-Hint Quiz</p> <p>・3つのヒントを聞いて、ヒントに合う行事や祭りを考えて発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>月と行事の例</p> <p>January : New Year's Day(s)</p> <p>February : <i>Setsubun</i></p> <p>March : Dolls' Festival</p> <p>April : <i>Hanami</i></p> <p>May : Mother's Day</p> <p>June : Father's Day</p> <p>July : Star Festival</p> <p>August : Fireworks Festival</p> <p>October : <i>Momijigari</i></p> <p>November : <i>Shichigosan</i></p> <p>December : New Year's Eve</p> </div>	<p>・日本の行事や祭りについて Three-Hint Quiz をすることを告げる。</p> <p>T: Let's enjoy Three-Hint Quiz. I'll give you three hints about an event or a festival in Japan. Please guess what it is.</p> <p>・行事に関する3つのヒント(開催される季節, 月日, 楽しめること)を出す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ヒント例</p> <p>Hint 1: We have this event in spring.</p> <p>Hint 2: You can enjoy watching beautiful cherry blossoms.</p> <p>Hint 3: It's from the end of March to May. 回答: <i>Hanami</i></p> <p>Hint 1: We have this event in summer.</p> <p>Hint 2: You can enjoy watching fireworks.</p> <p>Hint 3: It's on July 7th / in July or in August. 回答: Star Festival</p> <p>Hint 1: We have this event in autumn / fall.</p> <p>Hint 2: We can enjoy beautiful leaves.</p> <p>Hint 3: It's from October to December. 回答: <i>Momijigari</i>.</p> <p>Hint 1: We have this event in winter.</p> <p>Hint 2: You can enjoy special foods.</p> <p>Hint 3: It's from January 1st to January 3rd. 回答: New Year's Days / <i>oshogatsu</i>.</p> </div> <p>・ここで紹介する行事や祭りは一例であり, 児童の実態に応じて, 身近な地域の行事や祭りを取り上げるとよい。</p>	児童用テキスト
5分	<p>○ポインティング・ゲーム</p> <p>・児童用テキスト p.6 Let's Play 3にある四季のイラストを使ってペアでゲームを行う。</p> <p>・指導者が言う行事や祭りに関する文を聞いて, それがどの季節かを考え, 誌面にある該当する季節をさし示す。</p> <p>・最初は2人で確認しながら指さす。慣れてきたら, 早くさし示した方が勝ちにしてもよい。</p>	<p>・You can enjoy ~ in (season). で, さまざまな行事や祭りを言う。この活動のねらいは, この表現を児童が何度も聞いたり言ったりして慣れ親しむことであるため, 指導者はテンポよく言うことに加え, 全児童がしっかり繰り返し言っていることを確認しながら行うようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>例</p> <p>Spring : You can enjoy <i>hanami</i> / Dolls' Festival / beautiful green leaves.</p> <p>Summer : You can enjoy fireworks / camping / swimming.</p> <p>Autumn / Fall: You can enjoy <i>momijigari</i> / full moon / hiking.</p> <p>Winter : You can enjoy snow / skiing / skating / snow festivals.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
8分	<p>○季節に楽しめることを言おう。</p> <p>・3~4人で1グループになり, 児童用テキスト p.6 Let's Play 3の四季のイラストを使って行う。順を決め, spring から1人ずつ各季節に楽しめることを言</p>	<p>・グループで前活動を参考に, 各季節で楽しめることを言っていくよう告げる。順を決め, spring → summer → autumn / fall → winter の順に言っていく。制限時間をまず3分とし, その時間内にいくつ文が言えたかを尋ねる。この活動のねらいは, 季節に楽しめ</p>	児童用テキスト

	<p>っていく。分からなかったらパスをしてもよい。制限時間内にグループでいくつかの文が言えたかを競う。</p> <p>S1: You can enjoy <i>hanami</i> in spring. S2: You can enjoy swimming in summer. S3: You can enjoy eating <i>matsutake</i> in autumn / fall.</p>	<p>ることを表す表現に慣れ親しむことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目を始める前に、1回目で言いたかったがどう表現してよいか分からなかったことはなかったかを尋ね、それを既習語彙や表現で言い表せないかをクラスに問いかけ、それらの表し方を児童と一緒に考える。既習語彙や表現で言い表すのが困難な場合は、指導者がその場で英語で表現できれば提示するが、困難な場合は、次時に知らせることを告げる。 ・グループのメンバーを替えて、2回目を行う。 <p>◎各季節で楽しめることを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例： You can enjoy (<i>hanami</i>) in (spring)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に何度も聞いたり言ったりした文を次のような流れでワークシートに書き写させる。 <ol style="list-style-type: none"> ① デジタル教材で1文の音声を聞く。 ② ワークシートの1文を見ながら再度聞く。 ③ ワークシートの1文を読む。 ④ ワークシートの下にある語群から楽しめることと季節の言葉を選んでワークシートの4線の上に書き写す。 <p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. Choose the words from the word box and write them down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-1)
4分	<p>○単元の終末の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、日本について紹介するガイドブックを作ることを確認する。 ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、行事や食べ物について書いた紹介文を提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 ・「新しい（日本についてあまり知らない）ALTのためにガイドブックを作ろう」「市の観光案内所にプレゼントしよう」など、児童が目的意識や相手意識をもって学習に取り組めるようにするとよい。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2—Lesson 2 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 2/8時間
目 標 日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それが行われる季節や楽しむことなどが分かる。 日本の行事について、行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。
準 備 教師用カード (状態・気持ち, 季節, 行事・祭り), 児童用カード (季節, 行事・祭り), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-2, 2-7), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Play 1】 Three-Hint Quiz p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が出すヒントを聞いて、行事名を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 前時と同じ要領で、児童用テキスト p.10, 11にある行事等について Three-Hint Quiz をする。 <p>T: Let's enjoy Three-Hint Quiz. I'll give you three hints about a festival or an event on page 10 and 11. Please guess.</p> <ul style="list-style-type: none"> 祭りに関する3つのヒント (開催される季節, 月日, 楽しむこと, 感想など) を出す。 指導者は, 以下の表現を使う。 <p>We have this event in (season / month). You can enjoy ... in (place). It's ...</p> <ul style="list-style-type: none"> 感想を言う際に教師用カードを黒板に掲示する。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・気持ち)
<p>Let's play "Three-Hint Quiz!" Question No.1: What's this event? Can you guess? Hint 1: We have this event in summer. Hint 2: You can enjoy watching beautiful stars. Hint 3: Hikoboshi and Orihime meet each other on the night. (the Tanabata Festival)</p> <p>Question No.2: What's this event? Can you guess? Hint 1: We have this event in winter. Hint 2: You can enjoy seeing great snow art. Hint 3: This event is in Sapporo in February. (the Snow Festival)</p> <p>Question No.3: This event is not in your textbook. Can you guess? Hint 1: We have this event in spring. Hint 2: You can enjoy seeing beautiful cherry blossoms. Hint 3: You can enjoy eating obento under the beautiful trees. (hanami)</p>		<p>他のヒント例</p> <p>Snow Festival: Sapporo, snow, beautiful, February</p> <p>Kanto Festival: Akita, <i>chochin</i>, beautiful, August</p> <p>Nebuta Festival: Aomori, cool, August</p> <p>Tanabata Festival: Sendai, decoration, beautiful, August</p> <p>Kanda Festival: Tokyo, <i>dashi</i>, great, May</p> <p>Awaodori: Tokushima, dancing, fun, August</p> <p>Nagasaki Kunchi Festival: Nagasaki, <i>dashi</i> and <i>jaodori</i>, exciting, October</p>	
5分	<p>【Let's Play 2】 Key-Word Game p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う文を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワード (感想) が言われた場合は, 繰り返さず, ペアの間に置いた消しゴムを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想のキーワードを決め, 指導者が次の英文を言う。 <p>T: We have (行事名, 祭り名) in (季節あるいは月). It's ... (その行事等の感想).</p>	教師用カード (状態・気持ち)

5分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様に、別の2人の登場人物が自国のことについて話している映像を視聴し、各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように、誌面上の絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる聞き取りの練習にならないようにするために、音声を聞かせる前に、「エジプトはどんな食べ物がおいしいと思うか」「Muhammad はどこの国の子だと思うか」などと問い、予想をさせてから聞かせるようにする。 <p>T: Let's watch the video.</p> <p>Where is Muhammad from? What food is delicious in Egypt?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞かせる際は、1回目は全体を通じて、2回目は区切って聞かせるなど、児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 ・聞かせた後は、内容について Do you know mulukhivah soup in Egypt? What do you do in Christmas? など、内容について児童とやり取りをし、内容をより理解できるようにするとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ムハンマド : Hello, welcome to Egypt. My name is Muhammad. Nice to see you again. We have a wonderful soup in Egypt. It's mulukhiyah soup. It's very healthy. I like it very much.</p> <p>ジョン : Hello, welcome to Australia. I'm John. Nice to meet you. We have Christmas in summer. We spend the time with our families. We usually have barbecue at home.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・答えの確認は、次のように指導者の後に続けて言わせる形で行うとよい。 <p>T: I have some questions about John. Where is he from? He is from ...? In Australia, Christmas is in ...? In Christmas, people have ...? Cake?</p>	
7分	<p>【Let's Listen 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季の行事や祭りについての話を聞く。1回目は児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は児童用テキストを見ながら聞き、内容に合うように□に番号を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近な話題であるため、聞かせる前には、Japan has many events or festivals. In spring, we have ...? In summer, we have ...? などと尋ね、背景知識や生活経験を想起させることも有効である。その上で、「4人の登場人物はどんな行事や祭りのことを話しているかな」などと問いかけ、予想をさせてから聞かせるとよい。 <p>T: Let's listen to the talk. First, close your textbooks. Just listen. Then, you can open your textbooks and look at them.</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・気持ち)
<p>No.1: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. In autumn, we have <i>momijigari</i>. The trees change colors. The leaves go red, yellow and brown. The colored leaves are very beautiful.</p> <p>No.2: Hello. I'm Satoshi. I like Japan very much. In winter, we have snow festivals. You can make a <i>kamakura</i>. It's fun and the <i>kamakura</i> is warm inside.</p> <p>No.3: Hello. I'm Kosei. I like Japan very much. In summer, we have fireworks festivals. You can wear <i>yukata</i> and <i>geta</i>. The fireworks are very beautiful and exciting.</p> <p>No.4: Hello. I'm Aoi. I like Japan very much. In spring, we have <i>hanami</i>. You can see beautiful cherry blossoms all over Japan. We go on a picnic in the park.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き終わった後、四季の行事等について、どう思 	

		うかを児童に尋ねる。感想の言い方を繰り返し聞かせ、児童が自ら言うよう促す。 T: In spring, we have <i>hanami</i> . It's ...? Fun? Beautiful? Exciting? (教師用カード示しながら) ◎日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かり、番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉			
5分	【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting. </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious. </td> </tr> </table>	Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.	デジタル教材 教師用カード (状態・気持ち) 教師用カード (季節)
Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.				
		・まず、デジタル教材で音声を聞かせ、四季にそれぞれどんな行事が聞こえたか、それはどのようなかを問いかけ、児童に聞こえた単語を言うよう促す。 T: In spring, we have ...? It's fun? Beautiful? ・チャンツの意味をおおよそ理解できたところで、言えるところから言うよう促す。			
5分	○どの季節にどの行事や祭りをするか考えて言おう。 ・進め方を理解し、ペアで行う。	・教師用カード(季節)を児童とその言い方を確認しながら、黒板に掲示する。次に、指導者は教師用カード(行事・祭り)を見せながら、Which season?と尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、We have ... in ~.と言い、黒板に掲示してある教師用カードの下にそのカードを掲示する。これを2, 3回繰り返し、児童にペアで同様にカードを合わせるように言う。	教師用カード (季節, 行事・祭り) 児童用カード (季節, 行事・祭り)		
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 進め方 ・児童用カード(季節) 2セットを束にし、裏返して中央に置く。児童用カード(行事・祭り)は絵を上にして並べておく。 ・2人で協力して行う。中央からカードをめくり、その季節に合う行事・祭りの児童用カードを探して、We have (行事・祭り) in (季節) . と言って、カードを合わせる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> We have New Year's Day in winter / Dolls' Festival in spring / <i>hanami</i> in spring / Children's Day in spring / fireworks festivals in summer / autumn (fall) festival in autumn (fall) / snow festivals in winter. </div>			
		◎日本の行事について、それがどの季節に行われるかを言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉			

5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例： We have (snow festival). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the words from the word box and write them down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2)
5分	<p>OSounds and Letters (d) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /d/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に d の文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 (※1) T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle. ・サウンド・テニス (※2) をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /d/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に d の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'd'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-7)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音（ここでは /d/）への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音（ここでは /d/）から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音（/d/）から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。（Five, four, three, two, one, time is up! など指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。）
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 2-Lesson 3 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 3/8時間

目 標 食べ物とその味覚などについて話を聞いて、その内容が分かったり、言ったりすることができる。

準 備 児童用テキスト、児童用カード (食べ物, 味覚), ワークシート (Unit 2-3), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk: 好きな日本の行事とその理由</p> <p>S1: What event do you like? S2: I like the firework festival. S1: You like the firework festival. Why do you like it? S2: It's beautiful. I like big fireworks. ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が自分の好きな日本の行事とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。 1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で音声を聞き、日本食について分かったことを誌面に記入する。 答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、1回目は児童用テキストを閉じさせて音声だけを聞かせる。2回目は児童用テキストを開いて聞かせ、日本食について分かったことを誌面に記入するよう言う。映像は、3人の日本人の子供が日本の食文化を外国人に紹介している内容である。 児童に、Japan has a lot of delicious food. We have <i>sushi, soba, and ...?</i> などと聞いて、日本食についての背景知識を引き出しながら見通しをもたせた後、視聴させる。 聞かせた後は、内容について Do you like <i>sushi</i>? What <i>sushi</i> do you like? Do you eat <i>miso</i> soup every day? など、内容について児童とやり取りをするとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>天ぷら: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>tempura</i> very much. Try and make it! It's very tasty.</p> <p>味噌汁: Hello. I'm Aoi. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>miso</i> soup very much. I eat <i>miso</i> soup every morning. It's very healthy. Can you make it?</p> <p>寿司 : Hello. I'm Saki. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>sushi</i> very much. You can enjoy it at a <i>sushi</i> restaurant. You can make it at home, too. It's delicious.</p>		
4分	<p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴しながら、音声を続いてチャンツを、言えるところから言う。 	<p>Winter, spring, summer, and autumn. } Winter, spring, summer, and fall. } ※ We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.</p> <p>※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious.</p>	デジタル教材

7分	<p>○マッピング・ゲーム</p> <p>マッピング・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの1人が食べ物, もう1人が味覚の児童用カードの束を持つ。 ・それぞれが相手に見えないように, 自分の束から1枚を選び, それぞれ “We have ice cream.” “It’s sweet.” のように言う。それらの意味が合えば, マッチしたものとしてカードを横へ置いておく。もし, “We have ice cream.” “It’s salty.” のように意味が合わなければカードをそれぞれの束に戻す。 ・時間内にたくさんマッチさせることができたペアの勝ち。 	<p>・代表児童と進め方を示して理解させる。</p> <p>◎食べ物とその味覚を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用カード (食べ物, 味覚)
8分	<p>【Let’s Listen 2】 p.13</p> <p>・デジタル教材を視聴し, 分かったことを誌面の表に記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I’m Mark. I’m from America. We have <i>sushi</i> in America. It’s very popular and very healthy. I like it.</p> <p>Hello. I’m Christina. I’m from the Philippines. We have <i>tofu</i> in the Philippines. <i>Tofu</i> is very popular. It’s soft and sweet. I like it.</p> </div>	<p>・1回目は児童用テキストを閉じて音声だけを聞かせる。2回目は児童用テキストを開いて聞かせ, 日本食について分かったことを誌面に記入するよう指示する。聞かせる英文は比較的短めなので, 1回目の視聴だけで表に記入させてもよい。</p> <p>T: Let’s listen to the talk. First, close your textbooks. Just listen. Then, you can open your textbooks and look at them.</p> <p>・指導者の後に続けて, 児童が言う形で答えを確認する。</p> <p>T: Mark is from ...? In America <i>sushi</i> is ...? Mark likes <i>sushi</i>? Christina is from ...? <i>Tofu</i> is ...? It’s ...? Christina likes <i>tofu</i>?</p> <p>◎登場人物の話聞いて, 食べ物とその味覚など分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let’s Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例: We have (<i>sushi</i>)</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>・ワークシートに本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れで書き写させる。</p> <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-3)
5分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 4 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 4/8時間
目 標 日本の食べ物について、その味覚やその食べ物に関してできることを話す。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-4, 2-8), 児童用カード (食べ物, 味覚), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物				
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】Welcome to Japan. p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴しながら、音声に続いてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> Winter, spring, summer, and autumn. } Winter, spring, summer, and fall. } ※ We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting. </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious. </td> </tr> </table>				Winter, spring, summer, and autumn. } Winter, spring, summer, and fall. } ※ We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.		
Winter, spring, summer, and autumn. } Winter, spring, summer, and fall. } ※ We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.						
18分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料の音声のみを数回聞いて、内容に合うように線で結んだり、分かったことを誌面に記入したりする。視聴後、解答を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> まず、登場人物が日本食について話している映像資料の音声のみを聞かせ、内容に合うように線で結ばせる。その後、映像資料を視聴し、分かったことを誌面に記入させる。最後に、再度、映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> はな : Hi, Mark. Do you like Japanese food? マーク : Umm. Not really. はな : Oh. Well, try this. マーク : What is this? はな : It's <i>tsukemono</i>, "pickles" in English. マーク : Uh! It's salty. I don't like it. </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> あおい : Hi, John. Do you like Japanese food? ジョン : Umm. Not really. あおい : Oh. Well, try this. ジョン : What is it? Is it ice cream? あおい : No, it's <i>dango</i>. ジョン : Hmmmm. It's sweet, but sorry, I don't like it. あおい : That's OK. </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> はな : Hi, Emma. Do you like Japanese food? エマ : Yes, of course. I like everything. はな : Even <i>umeboshi</i>? エマ : Yes, I love <i>umeboshi</i>! It's sour, but it's really good. </td> <td style="padding: 5px;"> ラクシュ : Hi, Aoi. Do you like Japanese food? あおい : Yes, of course. I like everything. ラクシュ : Even <i>matcha</i>? あおい : Yes, I love <i>matcha</i>! It's bitter, but it's very healthy. </td> </tr> </table>				はな : Hi, Mark. Do you like Japanese food? マーク : Umm. Not really. はな : Oh. Well, try this. マーク : What is this? はな : It's <i>tsukemono</i> , "pickles" in English. マーク : Uh! It's salty. I don't like it.	あおい : Hi, John. Do you like Japanese food? ジョン : Umm. Not really. あおい : Oh. Well, try this. ジョン : What is it? Is it ice cream? あおい : No, it's <i>dango</i> . ジョン : Hmmmm. It's sweet, but sorry, I don't like it. あおい : That's OK.	はな : Hi, Emma. Do you like Japanese food? エマ : Yes, of course. I like everything. はな : Even <i>umeboshi</i> ? エマ : Yes, I love <i>umeboshi</i> ! It's sour, but it's really good.	ラクシュ : Hi, Aoi. Do you like Japanese food? あおい : Yes, of course. I like everything. ラクシュ : Even <i>matcha</i> ? あおい : Yes, I love <i>matcha</i> ! It's bitter, but it's very healthy.
はな : Hi, Mark. Do you like Japanese food? マーク : Umm. Not really. はな : Oh. Well, try this. マーク : What is this? はな : It's <i>tsukemono</i> , "pickles" in English. マーク : Uh! It's salty. I don't like it.	あおい : Hi, John. Do you like Japanese food? ジョン : Umm. Not really. あおい : Oh. Well, try this. ジョン : What is it? Is it ice cream? あおい : No, it's <i>dango</i> . ジョン : Hmmmm. It's sweet, but sorry, I don't like it. あおい : That's OK.						
はな : Hi, Emma. Do you like Japanese food? エマ : Yes, of course. I like everything. はな : Even <i>umeboshi</i> ? エマ : Yes, I love <i>umeboshi</i> ! It's sour, but it's really good.	ラクシュ : Hi, Aoi. Do you like Japanese food? あおい : Yes, of course. I like everything. ラクシュ : Even <i>matcha</i> ? あおい : Yes, I love <i>matcha</i> ! It's bitter, but it's very healthy.						
		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物が入れ替わり対話を進めているため、誰の話であるかが分かりにくく感じる児童がいる場合は、映像資料を適宜止めるなどする。 単なる聞き取りの練習にならないように、音声を聞かせる前に登場人物を確認し、<i>Dango is sour? Sweet?</i> などと問い、予想をさせてから聞かせるようにするとよい。 聞かせた後は、内容について <i>Do you think matcha is sweet? What Japanese food do you like?</i> など、内容について児童とやり取りをするとよい。 					

8分	○マッピング・ゲーム	・前時間と同じ要領でマッピング・ゲームをする。	児童用絵カード (食べ物, 味覚)
<p>マッピング・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの1人が食べ物の, もう1人が味覚の絵カードの束を持つ。 ・それぞれが相手に見えないように, 自分の束から1枚を選び, それぞれ“I like ice cream.” “It’s sweet.” のように意味が合えば, 続けて, マッチした食べ物について You can enjoy ~. で言いたいことや言えそうなことを言う。例えば, “I like ice cream.” “It’s sweet.” でマッチした場合, “You can enjoy ice cream in summer.” “You can enjoy many toppings.” など。その後, マッチしたものとしてカードを横へ置いておく。もし, “I like ice cream.” “It’s salty.” のように意味が合わなければ, カードをそれぞれの束に戻す。 ・時間内にたくさんマッチさせることができたペアの勝ち。 			
		◎好きな食べ物とその味覚, その食べ物に関してできることを話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<p>【Let’s Read and Write】 p.16 書く文例: It’s (delicious).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。</p> <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Choose the word from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-4)
5分	<p>○Sounds and Letters (f)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /f/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの4線上にfの文字を書く。</p>	<p>・(時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。</p> <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Repeat the words.</p> <p>・サウンド・テニスをすることを告げる。</p> <p>T: Let’s play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /f/. Now, say the words.</p> <p>・最初は指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり, 制限時間を短くしていったりなどするとよい。</p> <p>・ワークシートの4線上にfの文字を書くよう指示する。</p> <p>T: Please write the letter ‘f’.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 2-8)
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 5 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 5/8 時間
目 標 日本の遊びについての話を聞いて内容が分かる。 好きな日本の遊びについて伝え合う。
準 備 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-5), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】Welcome to Japan. p.13</p> <p>Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する 児童と一緒にチャンツを言う。 <p>※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious.</p>	デジタル教材
12分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目は, 児童用テキストを閉じて聞く。 2回目は, 誌面を見ながら聞き, 内容に合うように○や△などを記入する。 3回目に映像資料を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人の日本の子供が, 日本に古くからある遊びを外国人に紹介している映像資料の音声のみを聞かせ, 内容に合うように□に, ○や△を記入させる。その後, 映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p> <ul style="list-style-type: none"> A is called...など未習語も一部含まれるが, ここでは, やり取りを聞かせることを優先させており, 未習語があっても, 必要な情報(したこと, 感想)を聞き取らせることは十分にできる。児童には, 全ての文を分かろうとしなくてよいこと, 聞き取れた語彙をつなぎ合わせて, 全体のおおよその意味を理解すればよいことを伝える。 デジタル教材の音声資料にとどまらず, 同じ学年の教師など, 児童の身近な人物が好きな遊びは何かなどを聞く活動を行うこともできる。その際, 事前にどんな遊びが好きかを予想させると, 「答えを知りたいから聞こう」という意識をもって聞かせることができる。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1: I like flying kites very much. A kite is <i>tako</i> in Japanese. I enjoy <i>takoage</i> on New Year's Day with my family. It's fun. I'm good at it.</p> <p>No.2: I like <i>komamawashi</i>, too. It's difficult. I'm not good at it, but I like it. I enjoy it with my friends.</p> <p>No.3: I don't like <i>origami</i>. It's very difficult. I'm not good at it.</p> <p>No.4: I'm very good at <i>daruma</i> doll <i>otoshi</i>. It's so exciting. My sister and I like it so much.</p> <p>No.5: I like juggling beanbags, <i>otedama</i>. I'm not good at it. I can't catch them well.</p>		
		<p>◎日本の遊びには何があるか, その遊びが得意かどうかなどを聞いて, 誌面に○や△を記入している。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	

20分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者による行事の紹介を聞きそれについての質問に答える。 ・自分が紹介したい行事を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。 <p>S1: What (traditional) event do you like?</p> <p>S2: I like <i>hanami</i>. <u>We have <i>hanami</i> in Japan. You can enjoy <i>sakura</i> in spring. It's beautiful.</u> Do you like <i>hanami</i>?</p> <p>S1: Yes, I do.</p> <p>S2: Why?</p> <p>S1: It's beautiful.</p> <p>S2: I think so, too. What event do you like?</p> <p>S1: I like summer festivals. <u>We have summer festivals in Japan. You can enjoy fireworks in summer. It's exciting!</u> Do you like summer festivals?</p> <p>S2: Yes, I do.</p> <p>S1: Why?</p> <p>S2: I like fireworks and I can wear <i>yukata</i>.</p> <p>S1: You like <i>yukata</i>. That's good.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次のように何人かの児童とやり取りしながら、児童同士の対話へとつなげる。 <p>T: Now let's talk about Japanese events.</p> <p>What traditional event do you like? I like New Year's Day. We have New Year's Day in Japan. You can enjoy (eating) <i>osechi</i> in winter. It's delicious. S1, do you like New Year's Day? ...</p> <p>※左記対話例の下線部分については、児童用テキストの例やこれまで書いてきた英文などを参考にしながら、どの行事についてどのようなことを伝えるのかを準備してから対話に臨ませる（対話の前に1分程度、準備するための時間を取る）。</p> <p>※英文を書いて準備するといったことはせず、何を伝えるのかを頭の中で整理するにとどめる。</p> <p>◎日本の行事やその行事で楽しめることなどについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文章：We have (<i>shogi</i>).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れで書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-5)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 6 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 6/8時間
目 標 好きな日本の食べ物について伝え合う。
準 備 教師用カード (飲食物), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-6, Unit 2-9), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
	Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.	
12分	<p>【Let's Watch and Think 5】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は、児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は、児童用テキストを見ながら聞き、分かったことを書く。 ・3回目に映像資料を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の1人が日本の伝統文化(落語, 歌舞伎, 相撲)を外国人に紹介している映像を視聴し、分かったことを誌面の吹き出しに記入する活動である。児童にとってあまり馴染みがないことも考えられるので、聞かせる前に、「落語についてどんなことを知っているか」と投げかけ、日本語でよいので知っていること等を発表させるとよい。また、これらのことについて児童とやり取りをして、ある程度の予備知識をもたせる。 ・音声を聞かせる際は、話題のまとまりごとに区切って聞かせるなど、児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 ・その後、映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	けんた: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. In Japan you can enjoy traditional arts. ① 落語 : <i>Rakugo</i> is a storytelling. <i>Rakugo</i> tellers tell interesting stories. Some stories are funny and others are sad. The tellers use only a fan, <i>sensu</i> , and a towel, <i>tenugui</i> . The fan can be a pen, chopsticks or a sword. It's great fun. ② 歌舞伎 : <i>Kabuki</i> is a kind of drama. <i>Kabuki</i> actors wear special make-up and beautiful <i>kimonos</i> . They dance with music, too. Only men can act on stage. It's very interesting. ③ 相撲 : <i>Sumo</i> is a kind of wrestling. <i>Sumo</i> wrestlers are usually big and heavy. They are very strong, too. They can only wear <i>mawashi</i> . They push each other out of the ring.		
		<ul style="list-style-type: none"> ・数回視聴させて分かったことを書かせることとなるが、話題が児童にとってそれほど身近ではなく内容を推測しにくいこと、また未習語が使用されていることなどから、どこまで理解させたり、書かせたりするかは、児童の実態に応じて判断する。 	

15分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者による食べ物の紹介を聞き、それについての質問に答える。 ・自分が紹介したい食べ物を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。 <p>S1: What Japanese (traditional) food do you like? S2: I like <i>soba</i>. <u>We have <i>soba</i> in Japan. You can enjoy hot and cold <i>soba</i>. It's delicious.</u> Do you like <i>soba</i>? S1: Yes, I do. S2: Why do you like it? S1: (It has) many toppings. S2: What topping do you like? ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の紹介をし、何人かの児童とやり取りをしながら、児童同士の対話へとつなげる。 <p>T: Now let's talk about Japanese food. What Japanese food do you like? I like <i>tempura</i>. We have <i>tempura</i> in Japan. You can enjoy many kinds of <i>tempura</i>. It's delicious. I like seafood <i>tempura</i>. S1, do you like <i>tempura</i>? ...</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記対話例の下線部分については、児童用テキストの例やこれまで書いてきた英文などを参考にしながら、どの食べ物について、どのようなことを伝えるのかを準備してから対話に臨ませる（対話の前に1分程度、準備するための時間を取る）。 ※英文を書いて準備するといったことはせず、何を伝えるのかを頭の中で整理することと定める。 ◎好きな日本の食べ物とその味覚などについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	教師用カード (飲食物)
5分	<p>[Let's Read and Write] p.16 書く文例: We have (<i>kabuki</i>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word from the word box and write it down.</p>	ワークシート (Unit 2-6)
5分	<p>OSounds and Letters (g)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /g/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に g の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat the word.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /g/. Now, say the words.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は教師と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に g の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 'g'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 2-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、カードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 7 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 7/8時間
目 標 紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書く。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 2-1~2-6)、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由</p> <p>S1: What Japanese traditional arts do you want to see?</p> <p>S2: I like <i>kabuki</i>. It's fun.</p> <p>S1: You like <i>kabuki</i>. Good.</p> <p>S2: How about you? What traditional Japanese arts do you want to see?</p> <p>S1: I want to see <i>rakugo</i>.</p> <p>S2: Me, too!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が自分の好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。 ・1回目活動→指導→2回目活動(1回目とは違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84-85を参照。</p>	
14分	<p>【Let's Watch and Think 6】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、指導者の質問に答える。 	<p>あおい : We have <i>hanami</i> in spring. You can enjoy it in spring. It's beautiful.</p> <p>外国人男性 : That sounds great! I want to enjoy it. What food do you have in Japan?</p> <p>あおい : We have <i>soba</i>. You can eat it in restaurants. It's delicious.</p> <p>外国人男性 : I want to try it! Thank you. What games do you have in Japan?</p> <p>あおい : We have <i>fukuwarai</i>. You can play it on New Year's Day. It's fun.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が日本について外国人に説明をしている様子を視聴させた後、日本のよさについて児童に質問をし、児童の答えやつぶやきを拾いながら、児童とやり取りをする。 	
	<p>やり取りの例</p> <p>T: We have <i>hanami, soba, fukuwarai, ...</i>, nice festivals, delicious foods, nice traditional events in Japan. I like <i>matcha</i> and <i>wagashi</i>. Do you like <i>wagashi</i>? What Japanese food do we have in Japan?</p> <p>S: <i>Mitarashi-dango</i>?</p> <p>T: Yes, we have <i>mitarashi-dango</i>. Do you like it? It's ...? Delicious. Sweet. That's right. I like it, too.</p>		
20分	<p>【Activity】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、何を紹介するのかを考える。児童用テキストやワークシートなどにある今まで学習した表現を理解し、ポスター作成に役立てる。 ・ポスターは、これまで書きためたワークシートや誌面などを参考に、紹介する際の掲示資料にふさわしく見やすく単語を書いたりしてオリジナルのものを作成する。 ・ポスターを使いながら日本を紹介す 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで日本のことについて聞いたり話したりしてきたことをもとに、日本紹介の英語のポスターを作って、日本のことを紹介しようと呼びかける。 ・今までの活動をもとに、ペアで何を紹介するのかを決めるよう言い、ペアで日本紹介ポスターを作成させる。 ・ポスターを使いながら日本を紹介する練習をさせる。 ・ここでのポスターとは、次時で互いの好きな行事を紹介し合う際の掲示資料として用いるものであるため、英語の単語レベルで例を参考に書くことと 	児童用テキスト ワークシート (Unit 2-1~2-6)

	<p>る練習をする。</p>	<p>し、英文を書くことはしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ペアで作成したポスターを集めてガイドブックを作るという単元終末のゴールについて再度確認する。「ガイドブック」という性質上、読み手が多様な事物について知ることができるよう、「行事」「食べ物」「遊び」について、ある程度均等に紹介できるよう（つまり「寿司の紹介ばかり」「けん玉の紹介ばかり」などと偏らないよう、この段階で分担することも考えられる。 ・活動に目的をもたせるため、例えば、「ツアーガイドになって、外国人観光客に日本を紹介する」という場面を設定することも考えられる。 ・1人で行うか2人1組で行うかは、児童の実態に応じて適切に判断する。 <p>◎紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 8 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 8/8時間
目 標 日本の行事, 食べ物, 遊びなどを紹介したり, 例を参考に紹介する文を書いたりする。 日本の行事, 食べ物, 遊びなどを紹介したり, 例を参考に紹介文を書いたりしようとする。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (または日本紹介ガイドブック用の紙), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>【Activity】 p.16</p> <p>・作成したポスターを使い, 日本紹介を行う。</p> <p>・1人で, または2人1組で行う。</p> <p>S1: Let's talk about Japan. S2: OK. S1: My turn. (ポスターを見せながら) I like <u>sushi</u>. We have <u>sushi in Japan</u>. You can enjoy many kinds of <u>sushi</u>. It's delicious and healthy. Do you like <u>sushi</u>? S2: Yes, I do. S1: What <u>sushi</u> do you like? S2: I like tuna. S1: You like tuna. I see. S2: My turn. I like <u>hanami</u>. We have <u>hanami in Japan</u>. You can enjoy <u>sakura in spring</u>. It's beautiful. Do you like <u>hanami</u>? S1: Yes, I do. It's beautiful, but I don't like spring. S2: Why not? S1: I have 花粉症. S2: Oh, that's too bad. ...</p>	<p>・1人で, またはペアで取り組ませる。</p> <p>・まず, ポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。</p> <p>・左記対話例の下線部分については, 何について, どのような英語表現を用いて話すか, 前時にある程度準備や練習をさせておく。</p> <p>・やり取りを行うごとに, 必要に応じて, 以下の指導を行う。</p> <p>①伝えたい内容について, どのように言えばよいか分からないことはないかを尋ね, 日本の行事や食べ物, 遊びなどについてより詳しく伝えるのに必要な英語表現を全体で確認する。</p> <p>②児童の分からなかったことが既習表現で言えそうな場合は, 指導者がすぐに教えるのではなく, 学級全体に問いかけ, 一旦児童同士で考えさせてから全体で確かめるなどして, 既習表現を想起させる場をつくる。</p> <p>③自分が紹介したものについて好きかどうかを相手に尋ねるだけでなく, さらに質問をするなど, 学級全体で共有したい発表のポイントについては, 指導者が全体の場でその児童に問いかけてやり取りし, やり取りを聞かせることで気付かせる。</p> <p>④相手の話した内容を繰り返しているか, 一言感想を伝えているか, 相手の好みなどについてさらに詳しく尋ねる質問をしているかなど, やり取りのポイントを確認する。</p> <p>※児童が伝えたい内容が複雑すぎて, 既習表現や簡単な語句で表現するのが難しい場合は, 日本語を用いてもよいこととするが, 日本語ばかりになってしまわないよう, まずは伝えたい内容を簡潔にして, 既習表現を使って表現できないかを考えるよう促す。</p> <p>◎他者に配慮しながら, 紹介したい日本の行事, 食べ物, 遊びなどについて話している。<行動観察・振り返りカード点検></p>	前時に作成したポスター
15分	<p>OLet's Write</p> <p>・ワークシートやポスターを参考に, 前</p>	・ポスターを集めて, 日本について紹介するガイドブックを作成するという目的を再確認する。	ワークシート (またはガイド

	活動で日本について紹介したことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に来ている ALT など、読み手を具体的に設定することで、「丁寧に書くことで、相手に分かりやすく読んでもらえる」という相手意識をもたせるようにする。 ◎紹介した日本の行事, 食べ物, 遊びなどについて, 語順を意識しながら例を参考に書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 	ブック用の紙)
10分	<p>【STORY TIME】 p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 ・ライム (押韻) している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし, ライム (押韻) を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム (押韻) は /-en/。 <p>T: Listen to the rhyme. Repeat after that. Repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>外国人観光客: Oh, this is a nice <i>kabuki</i> pen! I love <i>kabuki</i>. How much is it? 店員 : Ninety yen. 外国人観光客: May I have ten? 店員 : Sure.</p> <p>Nine hundred yen for ten pens.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年－Unit 3 単元名 He is famous. She is great. 人物紹介

1. 単元目標

- ・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He / She] is [famous / great].
- famous, nut, old, 身の回りの物 (racket), jungle
[既出] he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態・気持ち

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 ([], ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆自分や友達について、好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。</p> <p>○Who am I? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の紹介を聞いて、それが学級の中の誰かを考えて、答える。 ・推測した友達について、その児童や指導者とやり取りをする。 <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、好きなものやこと、欲しいもの、できることなど、自分の特徴などを伝え合う。相手を替えて何度も繰り返し伝え合う。 <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	◎自分や友達の好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	<p>◆自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.18, 19 を見て、英語で言えるものや読めるものを発表する。 ・デジタル教材で音声を聞いて、それが誰のことかを考えて、誌面□に番号を記入する。 ・4線に丁寧に文字を書いて、ポスターを完成させる。 <p>【Let's Play 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティング・ゲームをする。 	

	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、日頃していることや趣味など、自分の特徴を話す。 <p>○Sounds and Letters (h)</p>	<p>◎自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆動作を表す語を読んで分かり、好きなもの、欲しいもの、日頃することの表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付く。</p> <p>○Small Talk : 好きなキャラクター</p> <p>【Let's Listen 1】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それがどんなキャラクターかを考えて、誌面に答えを記入する。 <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 の点線囲みにどのような言葉を入れるかを考え、発表する。次に、ペアになり 4 文を言い合う。 ・デジタル教材で音声を聞いて、内容に合うようにペアで点線囲みにカードを置く。 ・ペアで、誌面 p.22 の点線囲みにカードを自由に置いて、意味が通る文をできるだけたくさん作る。 	<p>◎動作を表す語を読んで分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>
4	<p>◆好きなものやこと、欲しいもの、日頃することの表現について、語順が分かり、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。</p> <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード・ゲームをする。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞いて分かったことを発表する。 ・次に、ワークシートの点線囲みに児童用カードを置いて、聞き取った文を再現する。 ・代表児童がデジタル教材の画面を操作し、文を作る。全員でそれを読む。 <p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、児童用カード、p.20, 21 の絵カードを並べて、できるだけたくさん文を作る。 ・作った文の内 1 つをワークシートに書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書く。 <p>○Sounds and Letters (j)</p>	<p>◎絵カードを並べて、好きなものや、欲しいもの、日頃することについての文を作っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。 	<p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。</p>

	<p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなものやこと，できることなど特徴を考え，前活動と同じ要領で児童用カードを並べて，文を作る。 ・できたら，ペアで読み合う。 ・作った文を，ワークシートに書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して書く。 	<p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，文を書き写している。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
6	<p>◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに，ある人物になりきってその人物を説明したり，説明を聞いて理解したりする。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え，表に答えを書く。 <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を作る。 <p>○Sounds and Letters (k)</p>	<p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し，聞き取ったことを書いている。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎ある人物になりきってその人物について説明したり，説明を聞いて理解したりする。<行動観察・振り返りカード点検></p>
7	<p>◆ある人物について伝え合い，単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，例を参考に紹介文を書く。</p> <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を完成させる。 ・クイズのキーワードやイラストなどをメモする。 ・ペアでクイズを出し合い，相手からアドバイスをもらい，自分のクイズに改良を加える。 ・クイズの文を，例を参考に書く。 	<p>◎ある人物について伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p> <p>◎ある人物になりきってその人を説明したり，説明を聞いて理解したりしている<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，例を参考に紹介文を書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
8	<p>◆他者に配慮しながら，ある人物になりきって，第3者について伝え合おうとする。</p> <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Who is this? Quiz の準備をする。 ・グループで1人が作成したクイズを言い，ほかの児童が聞いてそれが誰かを考えて答える。 ・代表児童数名が全員の前でクイズを出す。 <p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎他者に配慮しながら，ある人物になりきって，その特徴やできることなどを話し，その人物について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

6年 Unit 3—Lesson 1 He is famous. She is great. 人物紹介 1/8時間
目 標 自分や友達について、好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。
準 備 教師用カード(単語カード:食べ物 12種類), 児童用テキスト, Unit 1 で児童が作成した自己紹介シート, デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>○Who am I? クイズ</p> <p>・指導者の紹介を聞いて、それが学級の中の誰かを考えて、答える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>紹介例</p> <p>Hello, I'm</p> <p>I like cats.</p> <p>I have a cat.</p> <p>It's cute.</p> <p>I like music, too.</p> <p>I can play the piano.</p> <p>My birthday is August 23rd.</p> </div> <p>・推測した友達について、その児童や指導者とやり取りをする。</p>	<p>・Unit 1 で児童が作成した自己紹介シートから、ある児童になりきって紹介をし、それが誰のことかを尋ねる。数名の児童の紹介を行い、紹介した内容について児童とやり取りをする。既習の語彙や表現を繰り返し聞かせることがねらいである。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>T : Who am I? I like cats. I can play the piano.</p> <p>S1: S2 <i>san</i>?</p> <p>T : Really? OK, let's ask S2 <i>san</i>. Do you have ...?</p> <p>Ss: Do you have a cat?</p> <p>S2: Yes, I do.</p> <p>T : One more question. Can ...?</p> <p>Ss: Can you play the piano?</p> <p>S2: No, I can't.</p> <p>T : Sorry, not S2 <i>san</i>. Who am I?</p> </div>	Unit 1 で児童が作成した自己紹介シート
10分	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ミッシング・ゲームの進め方</p> <p>・黒板に食べ物の教師用カード 12 枚を掲示し、その言い方を確認する。児童に目を閉じさせ、その間に単語カードを 1～4 枚隠す。児童に目を開けさせ、なくなったカードが何かを考えて発表させる。隠す数は 1 枚から始め 4 枚程度 (実態に応じて) までとする。</p> </div>	<p>・誌面 p.20 にある絵の単語カード 12 種類で行う。 apples, bananas, carrots, nuts, peaches, cake, spaghetti, pizza, <i>sushi</i>, ice cream, chocolate, fish</p>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(単語カード:食べ物 12種類)
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※単語カードは、デジタル教材→両サイド▶ボタン→教材どうぐばこ→ツール絵辞書→Word List カテゴリーから単語を選ぶ→Card Property 英語 ON, 5種類のカードの中で、絵が1番小さいカードを作成するとよい。</p> </div>	

13分	<p>○Let's Talk</p> <p>・ペアになり, 好きなものやこと, 欲しいもの, できることなど, 自分の特徴などを伝え合う。相手を替えて何度も繰り返し伝え合う。</p> <p>自己紹介の例 Hello. I like badminton. I can play badminton well. I sometimes play badminton with my friends. I want a new racket. I'm good at sports.</p>	<p>・指導者がまず例を示した上で, Unit 1 で行った自己紹介を思い出し, 自身について話すよう言う。</p> <p>・1人目のペアと話した後, 分からなかった表現等を出させ, ほかの児童に既習表現などを使ってどのように言ったらよいかを考えさせる。全員でその表現を共有してから, 相手を替えて, 再度自分の特徴などを話させる。相手を替えて数回繰り返させる。</p> <p>◎自分や友達の好きなものやこと, 欲しいもの, できることなどの特徴を話したり聞いたりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
2分	<p>○単元の終末の活動を知る。</p> <p>・単元の終末では, ある人物になりきって, その特徴やできることなどを話したり書いたりして, クイズを作って出題するチャレンジ Who is this? Quiz をすることを確認する。</p>	<p>・指導者は, 自身が作成した Who is this? Quiz をし, 単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。クイズのヒントのうち, I like / play / have / want ~. 等の文は, 口頭で言わず, 紙に書いて示す。</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 2 He is famous. She is great. 人物紹介 2/8 時間

目 標 自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。

準 備 教師用カード (単語カード8種類), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 3-2), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・誌面 p.18, 19 を見て、英語で言えるものや読めるものを発表する。</p> <p>予想される児童の発言：violin, fish, carrot(s), piano, recorder, banana(s), drum(s), rabbit, cat, music, happy など。</p> <p>・デジタル教材で音声を聞いて、それが誰のことかを考えて、誌面□に番号を記入する。</p>	<p>・視聴する前に、誌面を見て分かるもので、英語で言ったり読めたりする語があれば発表させる。</p> <p>・この誌面は、Happy Music Quartet という4人バンドの Happy Music Concert のポスターであり、まず、4人それぞれの自己紹介が書かれていることを説明した上で、映像資料 Q パターン1を視聴させ、1問ずつ回答させる。</p> <p>・全員が回答を書いたのを確かめ、映像資料 Q パターン2で回答を確かめさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1: Hi, I'm Carrotina. C-A-R-R-O-T-I-N-A, Carrotina. Nice to meet you. I play the recorder. My recorder is very old. I want a new recorder. I like carrots. Do you like carrots? I want nice carrots.</p> <p>No.2: Hello, my name is Bananat. B-A-N-A-N-A-T, Bananat. Nice to meet you. I play the piano. I like playing the piano. I want a nice piano. What fruit do you like? I like bananas. Do you like bananas? I want sweet bananas.</p> <p>No.3: Hello, I'm Fishelle. F-I-S-H-E-L-L-E, Fishelle. Nice to meet you. Look. This is my violin. I play the violin. I want a good violin and I want fresh fish. I like fish very much. Do you like fish?</p> <p>No.4: Hello, I'm Nuttony. N-U-T-T-O-N-Y, Nuttony. I play the drum. I'm a good drummer. I want a new drum. Do you like nuts? I like nuts. I want delicious nuts.</p>		
	・4線に丁寧に文字を書いて、ポスターを完成させる。	・再度視聴させ、それぞれのキャラクターの名前の文字を聞き取って、4線に書かせる。	
10分	<p>【Let's Play 1】 p.18, 19</p> <p>・ポインティング・ゲームをする。指導者が言う語の絵を、誌面から選んでさし示す。前半はペアで行い、後半は個人で行う。</p> <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p>	<p>・誌面 p.18, 19 にある英文を言う。デジタル教材で音声を聞かせてもよい。音声で聞いたり言ったりしている文に見慣れることがねらいである。</p> <p>・前時と同じ要領で、誌面 p.20, 21 にある絵カードの単語8種類で行う。扱う単語：dog, cat, ball, bat, racket, book, computer, watch</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (単語カード:8種類)
	<p>※単語カードは、デジタル教材から「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index カテゴリー」と進み、単語を選択後、Card Property 英語 ON にて5種類のカードの中で、絵が1番小さいカードを作成するとよい。</p>		
10分	<p>○Let's Talk</p> <p>・ペアになり、好きなものやこと、欲しいもの、できること、日頃していることや趣味など、自分の特徴を話す。</p>	・前時と同じ要領で、欲しいものや持っているもの、自分の特徴などを話す。まず、指導者が例を示し、参考にさせる。	

	<p>・相手を替えて何度も繰り返し行う。</p> <p>例 Hello. I like <i>natto</i>. Do you like it? I eat <i>natto</i> every day. It's delicious and healthy. I usually drink <i>tonyu</i> for breakfast. Do you drink it? I like <i>tonyu</i>. It's delicious and healthy, too.</p>	<p>・1人目のペアと話した後、分からなかった表現等を出させ、ほかの児童に既習表現などを使ってどのように言ったらよいかを考えさせる。全員でその表現を共有してから、相手を替えて、再度自分の特徴などを話させる。相手を替えて数回繰り返させる。 ◎自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○Sounds and Letters (h)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /h/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの4線上に h の文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 (※1)</p> <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle.</p> <p>・サウンド・テニス (※2) をすることを告げる。</p> <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /h/. Now, say the words within five seconds.</p> <p>・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。</p> <p>・ワークシートの4線上に h の文字を書くよう指示する。</p> <p>T: Please write the letter 'h'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 3-2)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音（ここでは/h/）への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音（ここでは/h/）から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音（/h/）から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。（Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。）
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 3-Lesson 3 He is famous. She is great. 人物紹介 3/8 時間
目 標 動作を表す語を読んで分かり, 好きなもの, 欲しいもの, 日頃することの表現について, 「主語+動詞+目的語」の語順に気付く。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(単語カード:動作6種類), 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<p>・挨拶をする。</p> <p>OSmall Talk : 好きなキャラクター S1: I like Doraemon. S2: You like Doraemon. Why? S1: He is kind and great. He can fly. His miracle pocket is nice. Do you like Doraemon? S2: Yes, I do. I like Minnie Mouse, too. S1: I see. Why? S2: She is cute. She can dance and sing.</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・本単元の題材との関連を意図し, 好きなキャラクターについて話させる。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p. 84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.24</p> <p>・音声を聞いて, それがどんなキャラクターかを考えて, 誌面に答えを記入する。</p>	<p>・あるキャラクターについての Who am I?クイズに答えるよう言う。</p> <p>No.1: Who am I? I have a bell. I like <i>dorayaki</i>. I can fly. I have a miracle pocket. I'm a robot. (ドラえもん) No.2: Who am I? I have big ears. I have red pants. I can dance and sing well. I'm a mouse. (ミッキーマウス) No.3: Who am I? I have a brown cape. I have yellow shoes and gloves. I can fly. I'm a hero. (アンパンマン)</p> <p>・単なる聞き取りの練習にならないように, 聞き取ったことや, 答えのキャラクターについて児童とやり取りをする。このことが単元終末のチャレンジ Who is this? Quiz につながる。</p> <p>やり取りの例 T : Do you like Doraemon? Ss: Yes, I do. T : What character do you like in Doraemon animation? S1: I like Dorami <i>chan</i>. T : Why? S1: She is cute. T : I see. How about Shizuka <i>chan</i>? S2: She is kind. I like Shizuka <i>chan</i>.</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
5分	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p>	<p>・前時と同じ要領で, 動作を表す語彙 6 種類で行う。 扱う語彙 : like, want, have, eat, play, study</p> <p>※単語カードは, デジタル教材から「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index カテゴリー」と進み, 単語を選択後, Card Property 英語 ON にて 5 種類のカードの中で, 絵が 1 番小さいカードを作成するとよい。</p>	<p>教師用カード (単語カード:動作6種類)</p>

20分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 の点線囲みにどのような言葉を入れるかを考え、発表する。次に、ペアになり4文を言い合う。 ・デジタル教材で音声を聞いて、内容に合うようにペアで点線囲みにカードを置く。 ・ペアで、誌面 p.22 の点線囲みにカードを自由に置いて、意味が通る文をできるだけたくさん作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 を見せ、自分なら点線囲みにどのような言葉を入れるかを考えさせた上で、発表させる。 ・デジタル教材で音声を聞かせ、児童用カードを点線囲みに置かせる。 ※児童用カードは、本単元指導案の巻末をコピーして切り離れたものを使う。 ・どのような文ができたかを発表させる。発表させた文を聞いて、ほかの児童に同じようにカードを置かせ、その文を言わせる。 	児童用カード (本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

・ Hi, I'm Fishelle. I eat fish. It's yummy. I like fish. I like chocolate, too.
I want fish and I want a soccer ball. I study math. It's fun.

・ Hi, I'm Carrotina. I like carrots. I eat carrots. I eat apples, too. I want carrots.
I want a watch. I like music. I study science.

・ Hello, I'm Bananat. I want bananas. I eat bananas. I like bananas. I like pizza, too.
I study Japanese.

・ Hi, my name is Nuttony. I study English. I like English. I want a computer.
I eat nuts and honey.

We are good band members!

◎動作を表す語を読んで分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

◎表現について、「主語+動詞+目的語」の語順に気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉

6年 Unit 3-Lesson 4 He is famous. She is great. 人物紹介 4/8 時間
目 標 好きなものやこと, 欲しいもの, 日頃することの表現について, 語順が分かり, 単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して, 文を書き写すことができる。
準 備 児童用テキスト, 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成), ワークシート(Unit 3-3, 4線), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Play 3】 p.20, 21 ・キーワード・ゲームをする。	・誌面 p.20,21 にある語を言う。デジタル教材で音声を開かせてもよい。	デジタル教材
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> キーワード・ゲームの進め方 ・指導者は語を言い, 児童は繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワードを指導者が行ったら, 児童は繰り返さず, 2人の間においてある消しゴムを取る。早く取った方が勝ち。 </div>			
8分	【Let's Watch and Think 3】 p.23 ・デジタル教材の音声を聞いて分かったことを発表する。 ・次に, ワークシートの点線囲みに児童用カードを置いて, 聞き取った文を再現する。 ・代表児童がデジタル教材の画面を操作し, 文を作る。みんなでそれを読む。	・デジタル教材「Q前半」を視聴させ, 登場人物の自己紹介を聞かせ, 分かったことを発表させる。 ・次に, デジタル教材「Q後半」を視聴させる。 ・デジタル教材「A」で答えを確認する。 ・デジタル教材の画面を見せ, 画面にある絵カードを使って, 音声の話した以外にどんな文が作ることができるかを尋ねる。	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>Hello. I'm Fishelle. I play the violin. Look. My violin is old. I want a new violin. I sometimes eat fish. I like fish very much. Fish is delicious. I usually eat cat food. I like cat food, too. I want to eat fish every day. I want fresh fish.</p> <p>I play the violin. My violin is old. I want a new violin. I eat fish. I like fish. I want fresh fish.</p> </div>			
22分	○文を作ろう。 ・ペアで, カードを並べて, できるだけたくさん文を作る。 ・絵カードを並べて作成した文の内 1つを選んで, ワークシート(4線)に書き写す。その際には, 単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して書き写す。	・児童用カードを多数作成して, ペアに配布する。 ・できた文を発表させる。発表させた文のいくつかを黒板に教師用カードで掲示し, 全員で読ませる。 ◎絵カードを並べて, 好きなものや, 欲しいもの, 日頃することについての文を作っている。<行動観察・振り返りカード点検> ◎単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して, 文を書き写している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成) ワークシート(4線)
5分	○Sounds and Letters (j) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある/dʒ/で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にjの文字を書く。	・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat after the jingle. ・サウンド・テニスをするを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with / dʒ/. Now, say the words within five seconds. ・まず, 指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり, 制限時間を短くしていたりするなどするとよい。 ・ワークシートの4線上にjの文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'j'.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 3-3)
3分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 3—Lesson 5 He is famous. She is great. 人物紹介 5/8 時間
目 標 ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート(4線), 教師用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成) 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 好きな有名人 S1: I like Hanyu Yuzuru. S2: Why? S1: I like skating. He can skate very well. He can jump high. He can turn well. He is cool. S2: He is nice. I like Suzuki Ryohei. S1: Why? S2: He is cool. He can speak English well. He is Saigo in the TV program. I like Saigo Takamori. Do you like Suzuki Ryohei? S1: Yes, I do. He is cool.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・本単元の題材との関連を意図し、好きな有名人について話させる。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。</p>	
10 分	<p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>No.1: I have big ears. I have a red ribbon and yellow shoes. I can dance and sing well. I have a good friend. He can dance and sing well, too. He is famous and popular. He is nice to me. Who am I? Who is he?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・3問のうち、第1問のみの音声を数回聞かせ、それが誰かを考えて誌面表に記入させる。聞かせる前に、音声では2人のキャラクターが紹介されることを伝える。 ・答え合わせの際には、どのような紹介文があったかを発表させる。このことが、単元終末の Who is this? Quizにつながる。 <p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
22 分	<p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなものやこと、できることなど特徴を考え、前活動と同じ要領で児童用カードを並べて、文を作る。 ・できたら、ペアで読み合う。 ・作った文を、ワークシート(4線)に書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen や、誌面の英文を参考に自分の好きなものやこと、できることなど特徴を考えて、児童用カードで文を作るよう告げる。 ・できた文を発表させる。発表させた文のいくつかを黒板に教師用カードで掲示し、全員で読ませる。 ・個別支援をする。 ・ワークシートに文を書き写させる際に、単語と単語の間にスペースを置くよう、どのような語の順になっているかを考えながら書くよう促す。 <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	児童用カード 教師用カード ワークシート(4線)
3 分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 6 He is famous. She is great. 人物紹介 6/8 時間
目 標 ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに、ある人物になりきってその人物を説明したり、説明を聞いて理解したりする。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 3-1, 3-4, これまで書いたもの, 4線), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10 分	【Let's Listen 2】 p.24 ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。	・前時に触れなかった第2問及び第3問の音声を数回聞かせ、それが誰かを考えて誌面表に記入させる。聞かせる前に、音声では2人のキャラクターが紹介されることを伝える。 ・答え合わせの際には、どのような紹介文があったかを発表させる。このことが、単元終末の Who is this? Quizにつながる。	デジタル教材 児童用テキスト
	No.2: I always have a white cap on my head. I always have a white apron. I can bake bread. I have a good friend. He can fly. He is great. He is a hero. Who am I? Who is he? No.3: I like playing cat's cradle. I'm good at playing cat's cradle. But I'm not good at sports. I have a good friend. He can fly. He is famous and popular. He is very nice to me. Who am I? Who is he?		
		◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	
25 分	【Activity】 p.24 ・ある人物について Who is this? Quiz を作る。 ・これまでワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に、その人になったつもりで、好きなものや欲しいもの、できることや日頃していることを文にする。その際、前時の要領で児童用カードを並べて、文を作ってもよい。 ・クイズのキーワードやイラストをワークシート (Unit 3-1) にメモしてもよい。	・これまでに聞いたり言ったりしてきた文やワークシートに書いた文を参考に、ある人物について Who is this? Quiz を作るよう言う。ヒントの文は、その人になりきって作らせる。 ・個別支援をする。 ◎ある人物になりきってその人物について説明したり、説明を聞いて理解したりする。<行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート (これまで書いたもの, Unit 3-1, 4線)
5 分	○Sounds and Letters (k) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある/k/で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にkの文字を書く。	・(時間に余裕があれば)ジングルを1通り聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat after the jingle. ・サウンド・テニスをするを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with /k/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしたりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上にkの文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'k'.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 3-4)
3 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 7 He is famous. She is great. 人物紹介 7/8時間

目 標 ある人物について伝え合い、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書く。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 3-1, これまで書いたもの, 4線), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
40分	<p>【Activity】 p.24</p> <p>・前時の続きで、これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を完成させる。</p> <p>・ペアやグループで Who is this? Quiz を出し合い、相手からアドバイスをもらい、自分のクイズに改良を加える。</p> <p>・クイズのヒントのうち、I like / have / play / want / eat ~. の表現の文は、児童用テキスト p.22 の誌面やこれまでワークシートに書いたものを参考に、ワークシート (4線) に書き写す。</p>	<p>・前時の続きで、これまでに聞いたり言ったりしてきた文やワークシートに書いた文を参考に、ある人物について Who is this? Quiz を完成させる。ヒントの文は、自身がその人になりきって作らせる。</p> <p>・この活動は、ヒントの一部を無理なく書かせることにつなげるためのものである。音声で十分に言わせたり聞かせたりしておくことが大切である。</p> <p>・できたら、ペアでクイズを出し合わせる。</p> <p>・個別支援をする。</p> <p>◎ある人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>・クイズのヒントのうち、I like / have / play / want / eat ~. の表現の文は、児童用テキスト p.22 の誌面を参考に、ワークシート (4線) に書き写す。これは、次時「チャレンジ Who is this? Quiz」で使用する。</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (これまで書いたもの, Unit 3-1, 4線) 児童用テキスト
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 8 He is famous. She is great. 人物紹介 8/8時間

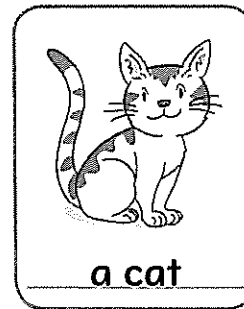
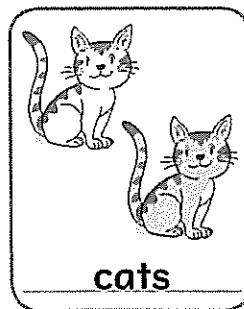
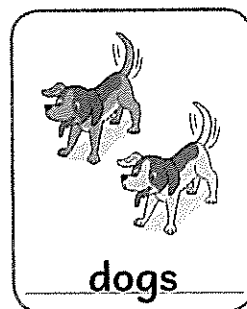
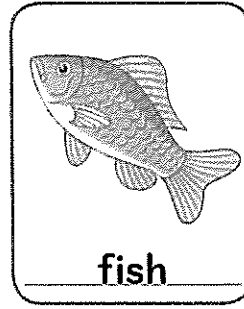
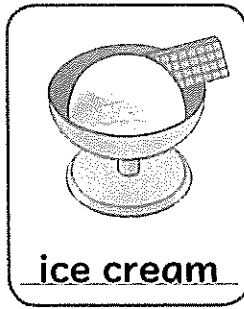
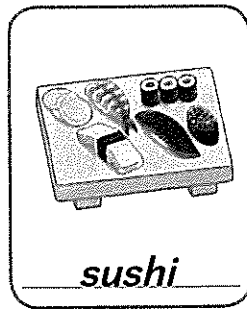
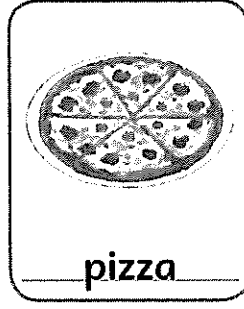
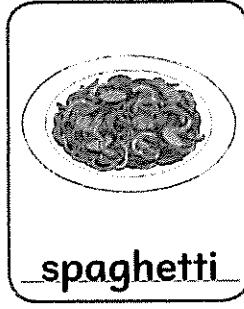
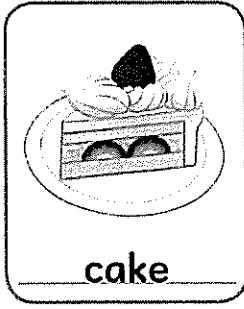
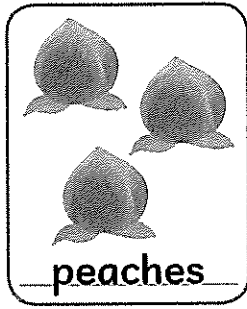
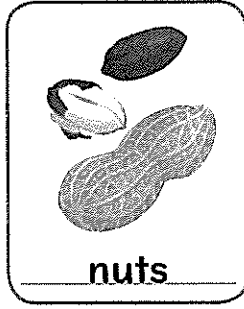
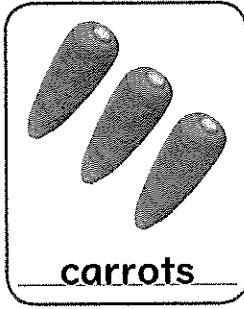
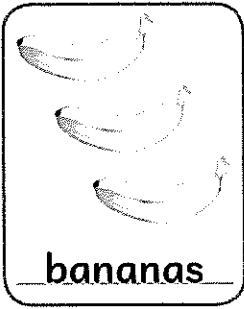
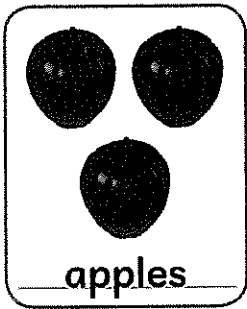
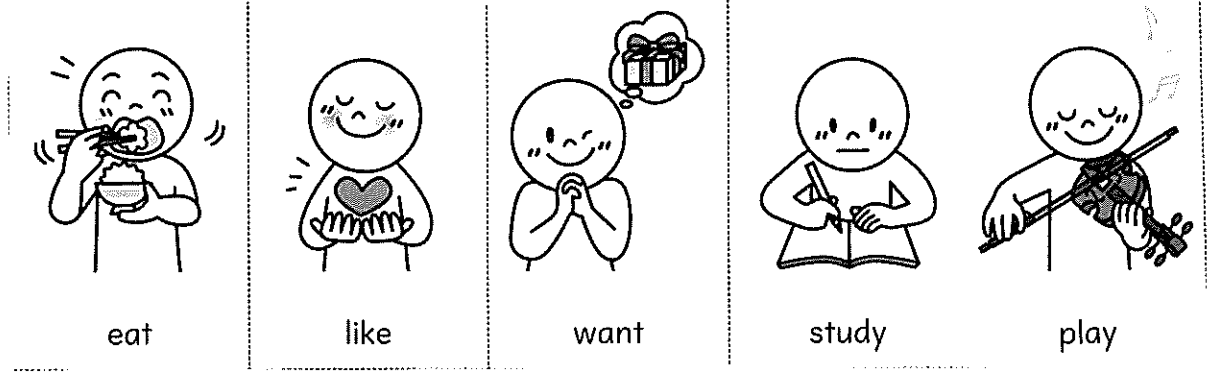
目 標 他者に配慮しながら、ある人物になりきって、第3者について伝え合おうとする。

準 備 ワークシート (Unit 3-1, 4線), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード


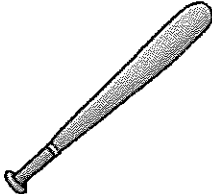



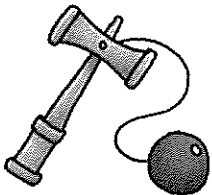
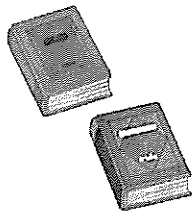
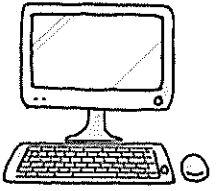
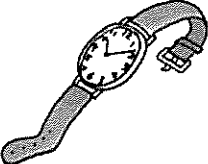
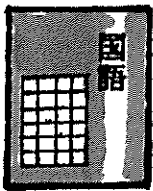
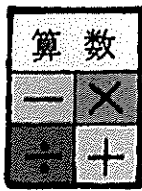








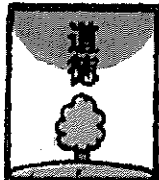
時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時の流れを児童と確認する。	
30分	<p>【Activity】 p.24</p> <p>・「チャレンジ Who is this? Quiz」をする。</p> <p>・前時とは違うメンバーでグループになり、1人が作成したクイズを出題し、ほかの児童がそれを聞いてそれが誰かを考えて答える。ただし、その際、例に示すように下線の文は言わずに、前時にワークシート(4線)に書いたものを示すようにする。下線の文は、この単元で語順の気付きで扱った文である。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>クイズの例</p> <p>I'm from Ehime. <u>I can play soccer well.</u> I'm a professional soccer player. <u>I can speak Italian.</u> (Nagatomo Yuto)</p> <p>I'm from Hokkaido. I can ski well. I can jump high and long. <u>I have many medals.</u> (Takanashi Sara)</p> <p>I'm a teacher. I'm from Aomori. <u>I can play rugby.</u> I can cook well. <u>I like music.</u> (○○ sensei)</p> </div> <p>・クイズに答え終わったら、出題者と回答者で、その人物について簡単なやり取りをする。</p> <p>・代表児童数名が全員の前でクイズを出す。</p>	<p>・前時に作成したクイズのヒントを確かめたり、書いたヒントを見直したりして、「チャレンジ Who is this? Quiz」をする。</p> <p>・「チャレンジ Who is this? Quiz」は、本単元での目標である語順への気付きを生かした活動として行う。本単元では、児童がこれまでに音声で十分に慣れ親しんできた表現を視覚化することで語順に気付かせるようにした。そこで、これまでに何度も行ってきた Who is this?クイズをあえて音声ではなく、読んだり書いたりすることで行うことで、語順への気付きをより確かなものにする。ただし、全文を読んだり書いたりするクイズにすることは児童が負担感を感じることも考えられるため、本単元で語順への気付きとして扱った文のみ紙に書いて表示するのみとする。児童の実態に応じて、全文紙に書いて表示することも考えられる。</p> <p>・グループ内で、クイズを出したり答えたりするよう言う。クイズの後、その人物をどう思うかについてやり取りをするよう言う。</p> <p>◎他者に配慮しながら、ある人物になりきって、その特徴やできることなどを話し、その人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>S1: It's ○○ sensei. S2: That's right. S1: Do you like ○○ sensei? S2: Yes, I do. S1: Why? S2: He is kind. He is a nice teacher.</p> </div> <p>・代表児童数名に全員の前でクイズを出させる。</p>	ワークシート (Unit 3-1, 4線)

10分	<p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。 音声の後に続いて言う。 ライム(押韻)している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム(押韻)を通して子音の復習と母音への気づきを高める。 ここで取り扱うライム(押韻)は /-ʌn/。 <p>T: Listen to the rhyme and repeat. Then repeat the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>I like to watch rugby. It's fun. I like Kenji. He can run fast. He can jump high. He can play in the sun and the rain. Run, jump and have fun in the sun.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び単元を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

巻末絵カード (1)



巻末絵カード (2)

 a soccer ball	 a baseball bat	 a badminton racket	 a table tennis racket
 a tennis racket	 a kendama	 books	 a computer
 a watch	 Japanese	 math	 social studies
 science	 English	 P.E.	 music
 home economics	 arts and crafts	 calligraphy	 moral education

6年—Unit 4 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域

1. 単元目標

- ・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
 - ・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。(学びに向う力、人間性等)
- ※波線は、「指導編」記載の単元目標に追記した部分。

2. 言語材料

- We have / don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping / swimming]. I want a [library / park]. (Sakura) is nice.
- town, 施設・建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel), nature, 動作 (fishing, dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking), nest
[既出] 施設・建物 (library, school, park), 状態・気持ち, 飲食物, 動作, スポーツ, enjoy, have, want, buy, see, eat, play

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆地域にある施設, ない施設, また欲しい施設について聞いて分かる。</p> <p>○Small Talk : 校内の好きな場所とその理由</p> <p>【Let's Listen 1】 p.26, 27</p> <p>・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び、番号を記入する。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.28</p> <p>・3人の話を聞いて、その地域にあるものを探し、誌面の表に○を記入する。</p> <p>【Let's Play 2】 Pointing Game p.28</p> <p>・指導者が言う施設名を聞いて、誌面にある施設の絵 (単語付) を指さす。</p>	<p>◎地域にあるもの, ないものについて聞き, 番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎地域にあるもの, ないものについて聞き, 表に記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆地域にはどのような施設があるか, ないかについてやり取りすることができる。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.26, 27</p> <p>・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び、番号を記入する。</p> <p>○集中カゲーム</p> <p>・指導者が言う複数の施設名を聞き終わったら、グループ (ペア) で言わ</p>	

	<p>れた順にそのカードを順番に並べる。</p> <p>【Let's Play 1】 p.26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を聞いて、相手が選んだ町がどれかを考えて答える。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士で、自分たちの町にあるといいと思う施設について交流するよう言う。 <p>【Let's Read and Write】 ① p.32</p> <p>書く文例：We have (a park).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから自分の町に合う施設を書き写す。 <p>○Sounds and Letters (1)</p>	<p>◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆自分が住んでいる地域のよさについて、理由を付けて言ったり、聞いたりできる。</p> <p>○Small Talk：自分の町のどんなところが好きか</p> <p>【Let's Listen 3】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が自分たちの住んでいる地域について話しているのを聞き、誌面に聞き取った必要な情報を記入し、表を完成する。地域のよさを表現する方法を理解する。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のモデルや、指導者とのやり取りを聞いたことを参考に、ペアで地域のよさを伝え合う。 <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>【Let's Read and Write】 ② p.32</p> <p>書く文例：We don't have (a library).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎地域のよさについて、理由を付けて話す英語を聞いて、内容に合うよう表を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎自分が住んでいる地域のよさについて、理由を付けて話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆地域にあって欲しい施設とその理由について聞いたり言ったりできるとともに、地域に施設があるかないかについて伝え合う。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物がそれぞれの地域について説明し、欲しい施設について話す映像を視聴し、分かったことを記入する。 <p>【Activity 1】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の町にある施設とない施設について発表する。 <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>【Let's Play 3】 Pointing Game p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティング・ゲームをする。 ・選んだ施設名と、選んだ理由を言う。 <p>○Sounds and Letters (m)</p>	<p>◎登場人物が欲しいと思う施設を聞き取り、表を完成している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎地域に施設があるかないかについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎欲しい施設とその理由を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆地域について話される英語を聞いて、その内容とそれについての意見が分かる。</p> <p>◆地域について書かれている英文を推測しながら読む。</p> <p>○Small Talk：町にあって欲しいもの</p> <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p>	

	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を視聴し、登場人物たちがどのように自分たちの地域を紹介しているかを聞き、それについての登場人物の感想をまとめる。 <p>【Let's Read and Write】 ③ p.32</p> <p>書く文例：(自分の町) is nice. I want a (nice library).</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら読んだ(言った)後、自分の町の名前及び、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が自分の町を紹介する音声を聞く。 ペアになり、パンフレットやワークシートの文を参考にどのような内容の地域紹介にするのかを考える。 	<p>◎感想を聞いて理解し、表にまとめている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎地域について書かれている英文を推測しながら読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆自分たちが住む地域について話したことを、目的意識をもって書く。</p> <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に視聴した動画を再度見る。 <p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり前時に話したことを踏まえて、オリジナルパンフレットを作成する。 <p>○Sounds and Letters (n)</p>	<p>◎読み手に伝わるように読みやすい字で、単語と単語の間にスペースを適切に置いて書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の考えを話す。</p> <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 2～3組のペアで、互いに発表し合い、アドバイスをし合う。 交流後、よい発表だと思うペアに投票する。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の考えを発表している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ語を推測しながら読む。</p> <p>◆短い話を聞いて内容を理解し、英文を繰り返して言い、英語の音を意識し、文字の読み方が分かる。</p> <p>○Small Talk：私たちの町</p> <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したオリジナルパンフレットから、指導者が言う語を探す。 <p>【STORY TIME】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で絵本の読み聞かせを複数回聞く。 音声の後に続いて言う。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ語を推測しながら読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎短い話を聞いておおまかな内容を理解し、英語の音を意識し、文字の読み方が分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 4-Lesson 1 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 1/8時間

目 標 地域にある施設, ない施設, また欲しい施設について聞いて分かる。

準 備 教師用カード (施設), 児童用テキスト, 児童用カード (施設), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 校内の好きな場所とその理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童と挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が自分の好きな校内の場所とその理由を簡単に紹介し, ペアで対話をさせる。1回目活動→指導→2回目活動 (1回目とは違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p. 84, 85 を参照。</p>	
<p>Small Talk の例</p> <p>T: What is your favorite place at this school? My favorite place is the library. Do you like the library? I like the library. I like books. How about you? Please talk about your favorite place at this school.</p> <p>S1: My favorite place (at this school) is the library. S2: The library. Really? Why? S1: I like books. S2: What book do you like? S1: I like Harry Potter series. How about you? S2: My favorite place is my classroom. S1: Why? S2: I like my friends. S1: Me, too. I like my friends, too. Nice talking to you. S2: Thank you.</p>			
12分	<p>【Let's Listen 1】 p.26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の住む地域について説明している音声を聞いて, 誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び, 誌面の□に1, 2と記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせる前に, 誌面にある6つの町について児童とやり取りをする。それぞれの町にあるものを発表させたり, I like this town. Do you like this town? What's this? Oh, this is a library. などと質問をして児童の答えやつぶやきを拾ったりしながら, あらかじめ町の様子をつかませておき, 音声を聞かせるようにする。そうすることで, どの児童も安心して, 意欲的に音声を聞けるようにする。 6つの内, E, F を選択したのは, 中でも児童がこれまでに出会っている語彙や表現で町が紹介されており, 児童に分かったという達成感をもたせやすいからである。 <p>T: Let's listen. Please find which town (each person lives in). Please write 1 or 2 in the box.</p>	デジタル教材 児童用冊子
<p>No.1 : I like my town. We have a nice cafe and nice buildings. We don't have a library. I like reading. I want a library. (解答 F)</p> <p>No.2 : I like my town. We live near the sea. We enjoy swimming in summer. We enjoy fishing, too. We don't have an amusement park. I want an amusement park. (解答 E)</p>			
		<p>T: Now, let's check the answers. No.1 is ...? That's right. F is No.1.</p> <ul style="list-style-type: none"> 答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活 	

		動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like swimming? Is this a nice town? などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a library in our / ○○ town? Do you want a library? などの質問もし、単元の見通しがもてるようにすることも考えられる。 ◎地域にあるもの、ないものについて聞き、番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
12分	【Let's Listen 2】 p.28 ・3人の話を聞いて、その地域にあるものを探し、誌面の表に○を記入する。	T: Now, listen to No.1 town, No. 2 town, and No.3 town. A library is in No.1 town? Yes? Please put a circle in this box. (デジタル教材で Let's Listen 2 を画面に出し、library のイラスト横にある3つの箱のうちの「1」の□に○を描くジェスチャーをする。) ※本来、この活動の説明を英語で行う場合、以下のような説明が考えられるが、児童が理解するには難しいと考えられることから、上記のようなジェスチャーを付けた説明の仕方の例を記載している。児童の実態に応じて、説明の仕方を工夫したい。 T: Now, listen and put a circle in the box if the place has the facility.	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (施設)
No.1: We have a station, two parks, a convenience store and a bookstore in our town. No.2: We have a department store, a hospital, a library and a station in our town. No.3: We have an amusement park, a swimming pool and an aquarium. We don't have a convenience store.			
		T: Let's check the answers. What are in No.1 town? A station? A library? ・単に答えの確認に終わらず、児童とやり取りをしながら何度も施設名を言い、児童にも言うよう促しながら確認をする。そうすることで、自然と施設名に慣れ親しませるようにする。 ◎地域にあるもの、ないものについて聞き、表に記入している。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
8分	【Let's Play 2】 Pointing Game p.28 ・指導者が言う施設名を聞いて、誌面にある施設の絵(単語付)を指さす。 施設: station, library, swimming pool, department store, amusement park, convenience store, aquarium, hospital, bookstore, park	・ポインティング・ゲームをすることを告げる。 ・指導者が、誌面にある施設名を言う。あるいは、ALT等に発音してもらったり、デジタル教材の「ランダム再生」をクリックして、デジタル教材の音声を聞かせたりしてもよい。 T: Let's play the Pointing Game! Look at the board / your textbook. I say a word, for example, a park. Then please point at the picture 'park'. ・全体で単語の確認をしたのち、児童用カードを使い、カルタ取りをしてもよい。 T: Let's play <i>Karutatori</i> Game! Spread the cards. I say a word. Please touch the picture card.	児童用テキスト 教師用カード (施設) 児童用カード (施設) デジタル教材
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 4-Lesson 2 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 2/8 時間

目 標 地域にはどのような施設があるか、ないかについてやり取りすることができる。

準 備 教師用カード (施設), 児童用テキスト, 児童用カード (施設), ワークシート (Unit 4-1, 4-5), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
8分	<p>【Let's Listen 1】 p.26, 27</p> <p>・自分の住む地域について説明している音声聞いて、誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び、誌面の□に3, 4と記入する。</p>	<p>・前時と同様に、Let's Listen 1 をすることを告げる。</p> <p>T: Let's listen. Please find which town (each person lives in). Please write 3 or 4 in the box.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.3: I like my town. We have a nice amusement park. In spring, we can see many flowers. We don't have a department store. I like shopping. I want a big department store. (解答 A)</p> <p>No.4: This is my town. We have a nice library. I like reading books there. I also like the park next to it. We need a convenience store. (解答 D)</p>		
		<p>T: Now, let's check the answers.</p> <p>No.3 is ...? That's right. A is No.3.</p> <p>・答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like the amusement park? Is this a nice town? などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a department store in our / ○○ town? Do we have a library? Do you want a department store / library? などの質問もし、児童に We have / don't have ~. の表現を使って自身の町にあるもの、ないものを言うよう促す。</p>	
5分	<p>○集中力ゲーム</p> <p>・指導者が言う複数の施設名を聞き終わったら、グループ (ペア) で言われた順にそのカードを順番に並べる。</p>	<p>・グループ (ペア) で集中力ゲームをすることを告げる。</p> <p>T: Please spread your cards on your desk. Listen to me carefully. Place the cards in the right order.</p> <p>Library, swimming pool, aquarium</p> <p>・ゲームが終わったらカードの順を確認するが、単に答え合わせにならないよう、児童と町にある施設についてやり取りをする。</p>	教師用カード (施設) 児童用カード (施設)
10分	<p>【Let's Play 1】 p.26, 27</p>	<p>・ペアで活動をすることを告げる。代表児童とやり取りをして進め方を理解させるようにする。</p>	児童用テキスト
	<p>やり取りの例</p> <p>T : We have a library. We have a big park, too. Which town?</p> <p>S1: It's 'D'.</p> <p>T : That's right. We have a nice library and a big park. 'D' town.</p>		
		◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	

7分	○Let's Talk	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士で、自分たちの町にあるとよいと思う施設について交流するよう言う。少しゲーム的な要素を入れることで、児童が楽しんで取り組めると思われる。 ・代表児童とデモンストレーションを見せ、進め方を理解させるようにする。 	児童用カード (施設)
進め方 ・ペアで、10種類の児童用カード(施設)から自分たちの町にあるとよいと思うものを6種類選ぶ。ペア対ペアで、一方のペアが、 Do you have ~? と、相手の町についてその施設があるかどうかを尋ね、もう一方があれば、 Yes, we do. と言ってそのカードを出す。なければ、 No, we don't. と言う。手持ちのカードが早くなくなったペアが勝ち。			
		◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	【Let's Read and Write】 ① p.32 書く文例：We have (a park). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから自分の町に合う施設を書き写す。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で音声を聞かせる。 T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word(s) from the word box and complete the sentence.	デジタル教材 ワークシート (Unit 4-1)
5分	○Sounds and Letters (1) ・(時間があれば) ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /l/ で始まる単語を見て、発音する。 ・/l/ の音 (l の文字) で Sound Tennis をする。 ・ワークシートの4線上に l の文字を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・(時間があれば) ジングル (※1) を聞かせる。 T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat the jingle. ・サウンド・テニス (※2) をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /l/. Say the word within five seconds. ・ワークシートの4線上に l の文字を書かせる。 T: Please write the letter 'l'.	デジタル教材 ワークシート (Unit 4-5)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは /l/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは /l/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/l/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! など指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

<p>6年 Unit 4-Lesson 3 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 3/8 時間</p> <p>目 標 自分が住んでいる地域のよさについて、理由を付けて言ったり、聞いたりできる。</p> <p>準 備 教師用カード (施設), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 4-2), 指導者の町の写真など, デジタル教材, 振り返りカード</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk: 自分の町のどんなところが好きか</p> <p>S1: I like my town. We have a big supermarket.</p> <p>S2: I like my town. We have a nice library</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 前時の復習のために、自分の町のどのようなところが好きかについて話させる。 指導者が自分の町にどんな施設があるかを簡単に紹介し、続いてペアで対話をさせる。 <p>T: I like my town. We have a supermarket. I can get delicious vegetables. We have a big park. I enjoy beautiful flowers. I like my town. Do you like your town? Why?</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目活動→指導→2回目活動 (1回目とは違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 3】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が自分たちの住んでいる地域について話しているのを聞き、誌面に聞き取った必要な情報を記入し、表を完成する。地域のよさを表現する方法を理解する。 2回程度繰り返して聞いた後に答えを確認する。 	<p>T: Let's listen to the talk.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ラクシュ : Hello, Hana. はな : Hello, Laksh. ラクシュ : Where do you live? はな : I live in Midori City. Midori City is nice. We have beautiful mountains. We can go hiking! ラクシュ : That's nice.</p> <p>ラクシュ : Hello, Kenta. けんた : Hello, Laksh. ラクシュ : Where do you live? けんた : I live in Nakashima City. Nakashima City is nice. We have a zoo. We can see many animals! ラクシュ : Sounds nice.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 答えを確認する。 <p>T: Let's check your answers. Who is No.1? Hana lives in? What city? What is in Hana's town? Beautiful ...? What does she enjoy in her city?</p>	デジタル教材 児童用テキスト

		<p>She enjoys ...?</p> <p>・単なる答えの確認にならないよう, Do you like hiking? Do you have a zoo in your town? Do you want a zoo in your town? などと尋ね, 児童とやり取りをするようにする。</p> <p>◎地域のよさについて, 理由を付けて話す英語を聞いて, 内容に合うよう表を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
12分	<p>OLet's Talk</p> <p>・指導者のモデルや, 指導者とのやり取りを聞いたことを参考に, ペアで地域のよさを伝え合う。</p>	<p>・指導者はモデルを示したり, 児童とやり取りしたりして, 前活動に続き地域のよさのアピールの仕方に注目させる。</p> <p>・その際, 指導者の町の様子の写真等を見せるとより効果的である。指導者は, あらかじめ自身の町の様子の写真を撮っておき, デジタル教材(データを, 教材道具箱→画像読み込み)で画面に映し出すとよい。</p>	<p>デジタル教材 教師用カード (施設) 指導者の町の写真など</p>
	<p>※写真は, 「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	<p>T : I live in ○○. ○○ is a nice city. We have a big park. I can enjoy walking. What do you think? Your city is good? S1: Yes. Nice city. T : Why? S1: We have a big supermarket. T : Yes. You have a big supermarket. Do you like shopping? S1: Yes.</p>	
		<p>・このように, 以下に相当する部分に児童の意識が向くよう, 数人の児童と対話する。</p> <p>○○ is a nice city. We have ~. I like / can enjoy ~.</p> <p>◎自分が住んでいる地域のよさについて, 理由を付けて話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>・言えるところから言う。</p>	<p>・まずチャンツを聞かせ, どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから, 一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。</p>	デジタル教材
5分	<p>【Let's Read and Write】 ② p.32</p> <p>書く文例: We don't have (a library).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>・デジタル教材で音声を聞かせる。</p> <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 4-2)
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 4-Lesson 4 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 4/8時間
目 標 地域にあって欲しい施設とその理由について聞いたり言ったりできるとともに、地域に施設があるかないかについて伝え合う。
準 備 児童用テキスト, 児童用カード (施設), ワークシート (Unit 4-6), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・先生と挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.29</p> <p>・登場人物がそれぞれの地域について説明し、欲しい施設について話す映像をデジタル教材で視聴する。</p>	<p>・児童の実態に応じて、3種類の映像を1度に視聴させるのではなく、1つ1つ答えを確認してから次の映像資料を視聴させてもよい。</p> <p>・複数回視聴させ、どの児童もが分かったという達成感もてるようにする。また、全てを理解せずとも、ポイントを聞き取るよう声かけをするとよい。</p> <p>T: Please listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>エマ : Hello, Satoshi. さとし : Hello, Emma. エマ : Where do you live? さとし : I live in Kawada City. We have a nice swimming pool. We enjoy swimming. We don't have an amusement park. I like roller coasters. I want a big amusement park!</p> <p>ジョン : Hello, Saki. さき : Hello, John. ジョン : Where do you live? さき : I live in Yamanaka City. We have a new library. It's good. We don't have a convenience store. I want a convenience store in my town.</p> <p>エマ : Hello, Kenta. けんた : Hello. エマ : Where do you live? けんた : I live in Nakashima City. We have a big park. I can play baseball. We don't have a baseball stadium. I want to watch baseball games. I want a big baseball stadium.</p>		
	<p>・分かったことを誌面表に記入する。 ・数回視聴した後に答え合わせをする。</p>	<p>・答えの確認をする。 T: Let's check your answers. Satoshi lives in ...? What is in ○○? Satoshi wants ...? ◎登場人物が欲しいと思う施設を聞き取り、表を完成している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	
10分	<p>【Activity 1】 p.31</p> <p>・Yuta の紹介例を聞く。 ・自分の町にある施設とない施設について発表する。 ・ペアで発表し合う。 ・異なる相手と同じ活動を繰り返す。</p>	<p>・デジタル教材で Yuta の例を聞く</p> <p>Hello. I'm Yuta. Sakura is nice. We have a big station. We don't have a park.</p> <p>・Yuta の例を参考に、自分の町にある施設とない施設について考え、ペアで発表し合う。 ・ペアの相手を替え、発表を繰り返すよう言う。 ◎地域に施設があるかないかについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材

5分	【Let's Chant】 I like my town. p.29	<ul style="list-style-type: none"> まず聞かせて、聞こえた語を児童と確認してから、一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; padding: 5px;"> What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much. </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much. </td> </tr> </table>				What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much.	What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much.
What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much.	What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much.				
10分	【Let's Play 3】 Pointing Game p.30 <ul style="list-style-type: none"> ポインティング・ゲーム(個人)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを始める前に、誌面にある 10 種類のことやものについて、Do you like reading books? のように好きかどうかを尋ね、10 種類のことやものについてやり取りをし、それらを確認させる。 	児童用テキスト 児童用カード (施設)		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Pointing Game (個人)の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者は reading, playing, jogging, shopping, swimming, books, sea animals, animals, roller coaster, Ferris wheel と言い、児童は誌面にあるその絵を指さす。指導者に続いて繰り返し言わせてもよい。 あるいは、児童用カードを使い、カルタ取りのような活動を行ってもよい。 </div>					
<ul style="list-style-type: none"> 選んだ施設名と、誌面 p.30 Let's Play 3 のイラストを参考に、選んだ理由を言う練習をする。 ペアになり、選んだ施設名と選んだ理由を言うよう指示する。代表児童とデモンストレーションをして、理解させる。既習表現も活用しながら理由を言う練習をすることがねらいである。 					
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Pointing Game (ペア) の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで児童カード(施設)から、library, park, department store, swimming pool, aquarium, book store, stadium, amusement park のカードを用意し、次のやり取りをする。 <p>S1: I want a park. S2: Why? S1: I like flowers. I can play dodgeball. S2: I see. I want a stadium. S1: Why? S2: I like playing baseball. I can watch baseball games. S1: I see.</p> </div>					
<ul style="list-style-type: none"> ◎欲しい施設とその理由を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 					
5分	○Sounds and Letters (m) <ul style="list-style-type: none"> (時間があれば) ジングルを1通り聞く。 誌面にある /m/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ワークシートの4線上にmの文字を書く。 	T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat the jingle. <ul style="list-style-type: none"> サウンド・テニスをすることを告げる T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /m/. Say the word within five seconds. T: Please write the letter 'm'.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 4-6)		
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード		

6年 Unit 4-Lesson 5 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 5/8時間
目 標 地域について話される英語を聞いて、その内容とそれについての意見が分かる。 地域について書かれている英文を推測しながら読む。
準 備 教師用カード (施設), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 4-3, 4-4), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ⑤評価方法	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 先生と挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 町にあって欲しいもの S1: What do you want for your town? S2: I want ~. S1: Why? S2: I like ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 前時の復習のために、地域にあって欲しい施設について話させる。 指導者が地域にあって欲しい施設について簡単に紹介し、続いてペアで対話をさせる。 <p>T: What do you want for your town? I want a department store. I like shopping.</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目活動→指導→2回目活動 (1回目とは違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。ここでは前時の復習を意図し地域にあって欲しいものとその理由を言う。</p>	教師用カード (施設)
2分	【Let's Chant】 I like my town. p.29	<ul style="list-style-type: none"> リズムに気を付け児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much.</p>	<p>What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much.</p>	
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を視聴し、登場人物たちがどのように自分たちの地域を紹介しているかを聞き、それについての登場人物の感想を表にまとめる。 まず、2人の地域紹介の映像を複数回視聴しおおよその内容を理解する。次に、2人の友達の感想を言っている映像を視聴し、その感想を表にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で登場人物が自分たちの町を紹介している様子を視聴し、紹介の仕方のイメージをもたせる。 2人の地域紹介のみを複数回聞かせ、おおよその内容をつかませてから、別の登場人物が感想を述べている様子の映像を見せるとよい。感想の発表の様子を視聴することで、どのように感想を言うかというイメージをもたせることがねらいである。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ジョン : Hello, I'm John. I like my city, Springfield. Springfield is a nice city. We have beautiful mountains and a lake. We don't have a library. I like reading books. I want a big library.</p> <p>エマ : Hello, I'm Emma. I like my city, Herbst. Herbst is a nice city. We have nice castles. We don't have a skating rink. I like skating. I want a skating rink.</p> <p>【感想】 児童1 : Thank you, John and Emma. John, your idea is nice! I like reading books, too. I want a big library in my town, too. 児童2 : Thank you, John and Emma. Emma, you have a great idea! I like winter sports, too. I want to enjoy skating. I want a nice skating rink in my town, too.</p>		

		◎感想を聞いて理解し、表にまとめている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
17分	<p>【Let's Read and Write】 ③ p.32</p> <p>書く文例：(Sakura) is nice.</p> <p>I want a (nice library).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、自分の町の名前及び、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. What do you want in your town? Choose the word(s) from the word box and complete the sentences.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 4-3)
	<p>【Activity 2】 p.32</p> <p>・まず、誌面を見ずに、登場人物が自分の町を紹介する音声を聞く。</p> <p>・2回目は、誌面を見ながら音声を聞く。3回目は、デジタル教材でアンダーライン表示を見ながら音声を聞く。</p> <p>・ペアになり、ミニポスターやワークシートの文を参考にどのような内容の地域紹介にするのかを考える。</p>	<p>・デジタル教材で、登場人物の町紹介の音声を聞いたり視聴したりさせる。</p> <p>・映像資料で「テキスト非表示」をクリックして、音声のみを聞かせる。</p> <p>・2回目は誌面を見ながら音声を聞かせる。</p> <p>・3回目は「▶アンダーライン表示」をクリックして、文字とともに音声を聞かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>This is my town! Sakura is nice. We have a big station. We don't have a park. I like soccer. I want a big park.</p> </div> <p>・誌面にあるような町紹介のミニポスターを作成することを伝える。</p> <p>・ミニポスターはワークシート (Unit 4-4) を使用して作成してもよいし、新たな紙で作成することも考えられる。</p> <p>・今までワークシートに例として書いた文を見る。</p> <p>・それらの例文が読まれる音声を、1回目は聞き、2回目から後について英文を読むよう指示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① We have a park. ② We don't have a library. ③ Sakura is nice. ④ I want a nice library.</p> </div> <p>◎地域について書かれている英文を推測しながら読んでいく。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 4-4)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 4-Lesson 6 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 6/8時間

目 標 自分たちが住む地域について話したことを、目的意識をもって書く。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 4-4, 4-7), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 先生と挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p> <p>What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much.</p> <p>What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 リズムに気を付けて児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
5分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に視聴した動画を再度見る。 <p>ジョン : Hello, I'm John. I like my city, Springfield. Springfield is a nice city. We have beautiful mountains and a lake. We don't have a library. I like reading books. I want a big library. エマ : Hello, I'm Emma. I like my city, Herbst. Herbst is a nice city. We have nice castles. We don't have a skating rink. I like skating. I want a skating rink.</p> <p>【感想】 児童1 : Thank you, John and Emma. John, your idea is nice! I like reading books, too. I want a big library in my town, too. 児童2 : Thank you, John and Emma. Emma, you have a great idea! I like winter sports, too. I want to enjoy skating. I want a nice skating rink in my town, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に視聴した動画を再度見て、紹介と感想の言い方のイメージを再度持つ。 	デジタル教材 児童用テキスト
27分	<p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表の準備をする。 ペアになり前時に話したことを踏まえて、ミニポスターを作成する。 <p>This is my town! Sakura is nice. We have a big station. We don't have a park. I like soccer. I want a big park.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に引き続き、誌面 p.32 のミニポスターにある文やワークシートの例文を見ながら、それらが読まれるのを聞いて後に続いて英文を読むよう指示する。 ワークシート (Unit 4-4) にはイラストや写真を含めてもよい。読み手に内容を十分に伝えることができるようにパンフレットを作成するように助言する。個別支援をする。 <p>◎読み手に伝わるように読みやすい字で、単語と単語の間にスペースを適切に置いて書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 4-4)
5分	<p>○Sounds and Letters (n)</p> <ul style="list-style-type: none"> (時間があれば) ジングルを1通り聞く。 誌面にある /n/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ワークシートの4線上に n の文字を書く。 	<p>T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the CD.</p> <ul style="list-style-type: none"> サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /n/. Say the word within five seconds.</p> <p>T: Please write the letter 'n'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 4-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 4-Lesson 7 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 7/8時間

目 標 他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の考えを話す。

準 備 児童が作成したミニポスター、デジタル教材、ワークシート (Unit 4-4) 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 リズムに気を付けて児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>What do you like about your town? (2回)</p> <p>I like our library. (Student 1)</p> <p>I like our pool. (Student 2)</p> <p>I like our park. (Student 3)</p> <p>I like our stadium. (Student 4)</p> <p>We like our town very much.</p>	<p>What's missing in your town? (2回)</p> <p>We don't have a department store. (Student 1)</p> <p>We don't have an amusement park. (Student 2)</p> <p>We don't have a station. (Student 3)</p> <p>We don't have a museum, (Student 4)</p> <p>but we like our town very much.</p>	
35分	<p>【Activity 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したミニポスターを使い、ペアで発表内容を確認めたり練習したりする。 2～3組のペアで、互いに発表し合い、アドバイスをし合う。他のペアから学び、ミニポスターに語句や絵を足してもよい。 聞き手のペアから感想を書いてもらう。 交流後、よい発表だと思うペアに投票する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に引き続き、誌面 p.32 のミニポスターにある文やワークシートの例文を見ながら、それらが読まれるのを聞いて後について英文を読むよう指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>This is my town!</p> <p>Sakura is nice.</p> <p>We have a big station.</p> <p>We don't have a park.</p> <p>I like soccer.</p> <p>I want a big park.</p> </div> <p>◎他者に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の意見を発表している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	児童が作成したミニポスター ワークシート (Unit 4-4)
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 4-Lesson 8 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 8/8 時間
目 標 音声で十分に慣れ親しんだ語を推測しながら読む。 短い話を聞いて内容を理解し、英文を繰り返して言い、英語の音を意識し、文字の読み方が分かる。
準 備 児童用テキスト、児童が作成したミニポスター、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 私たちの町 S1: Do you like our town? S2: Yes. We have a big bookstore. I like books. We don't have a big department store. I can't enjoy shopping.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 Do you like our town? と投げかける。数名の児童と簡単なやり取りで例を示し、ペアで取り組ませる。 1回目活動→指導→2回目活動（1回目とは違う相手） <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 I like my town. p.29</p>	<ul style="list-style-type: none"> リズムに気を付けて児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>What do you like about your town? (2回) I like our library. (Student 1) I like our pool. (Student 2) I like our park. (Student 3) I like our stadium. (Student 4) We like our town very much.</p>	<p>What's missing in your town? (2回) We don't have a department store. (Student 1) We don't have an amusement park. (Student 2) We don't have a station. (Student 3) We don't have a museum, (Student 4) but we like our town very much.</p>	
15分	<p>【Activity 2】 p.32</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に投票数が多かった数組のペアが、全体の前で発表させた後、作成したミニポスターを使って活動をさせる。 	児童が作成したミニポスター
	<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者は、前活動で発表しなかったペアのミニポスターの1つを全員に見せ（実物投影機などで）、指導者がその中の単語を言い、児童がそれをミニポスターの中から見つける。ミニポスターから、自分たちの町のどんなところが良く、欲しい施設が何かを読み取る。 時間に余裕があれば、2つのペア同士（4人）で、ミニポスターを交換し、相手のものを読む。それに対して感想を述べるような活動をすることもできる。 	◎音声で十分に慣れ親しんだ語を推測しながら読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
10分	<p>【STORY TIME】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、絵本の読み聞かせを複数回聞く 音声の後に続いて言う。 ライム（押韻）している単語だけを読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者や ALT 等が絵本を読むのを聞かせたり、デジタル教材の音声を聞かせたりする。ライム（押韻）を通して子音の復習と母音の気付きを高めることがねらいである。 英語のリズムや韻を踏む楽しさを味わわせたい。ここで取り扱うライム（押韻）は /-og/ である。 <p>T: Listen to the story. Let's repeat after the story. Finally let's repeat after the rhyming words.</p> <p>◎短い話を聞いておおまかな内容を理解し、英語の音を意識し、文字の読み方が分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>We have a pond in our town. Frogs live in the pond. I can see a big frog on a log. I usually jog with my dog around the pond. A big frog on a log and a jogging dog.</p>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元全体のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年—Unit 5 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出

1. 単元目標

- ・夏休みに行った場所や食べた物，楽しんだこと，感想などを聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・夏休みに行った場所や食べた物，楽しんだこと，感想などについて伝え合う。また，夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり，例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力，判断力，表現力等)
- ・他者に配慮しながら，夏休みの思い出について伝え合おうとする。(学びに向かう力，人間性等)

2. 言語材料

- I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].
- grandparent, vacation, shaved ice, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), 自然 (beach, mountain, lake, river), 動作 (hiking, camping)
[既出] my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物, 季節, 動作, 身の回りの物, 状態・気持ち

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目 標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆夏休みに行った場所を言ったり聞いたりできる。</p> <p>○Small Talk : 夏の食べ物 【Let's Listen 1】 p.36 ・登場人物が夏休みの思い出について話している映像を視聴し，行った場所，そこでしたこと，食べた物を話の内容に合うように，誌面上の登場人物と絵を線で結ぶ。 【Let's Play】 Pointing Game p.34, 35 ・指導者が言う，施設・場所名，動作，飲食物の絵を指さす。</p> <p>○Let's Talk ・夏休みに行った場所をペアで伝え合う。</p> <p>【Let's Read and Write】 ① p.40 書く文例 : I went to (the sea). ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ (言った) 後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	◎夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆夏休みの思い出についての話を聞いて，行った場所や感想などが分かる。</p> <p>◆過去の表現の仕方が分かり，夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Play】 Pointing Game p.34, 35 【Let's Watch and Think 1】 p.36 ・世界の国々の子供たちが夏休みの思い出について話している映像資料を視</p>	◎夏休みの思い出についての話を聞いて，行った場所やしたことを書き

	<p>聴し、誰が何をしたか等を誌面の表に記入する。また、日本の夏休みとどのように違うのか比べながら聞く。</p> <p>○Let's Play フェイント・リピート・ゲーム</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation p.35</p> <p>○Let's Talk</p> <p>・夏休みに行った場所とその感想についてペアで伝え合う。</p> <p>【Let's Read and Write】 ② p.40</p> <p>書く文例：It was (fun).</p> <p>・音声を聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (p)</p>	<p>ている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk：夏休みの思い出（行った場所・感想）</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation p.35</p> <p>○Let's Play</p> <p>・夏休みに行った場所や感想を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Pointing Game</p> <p>【Let's Read and Write】 ③ p.40</p> <p>書く文例：I went to the (sea). It was (fun).</p> <p>・音声を聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆夏休みに行った場所と食べた物、その感想を聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation p.35</p> <p>【Let's Listen 2】 p.37</p> <p>・音声を数回聞いて、誌面にある登場人物と絵を線で結ぶ。</p> <p>○Let's Play</p> <p>・指導者の話を聞いて、I ate～. の表現を繰り返し何度も聞く。</p> <p>○Let's Talk</p> <p>・夏休みに行った場所と食べた物、その感想について、ペアで話す。</p> <p>【Let's Read and Write】 ④ p.40</p> <p>書く文例：I ate (<i>yakisoba</i>). It was (delicious).</p> <p>・音声を聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (r)</p>	<p>◎夏休みに行った場所と食べた物、その感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆夏休みに楽しんだこととその感想を聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk：夏休みの思い出（行った場所・食べた物・感想）</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.38</p> <p>・映像資料を視聴し、登場する人たちが夏休みにどこへ行き、何をしたかを理解する。</p> <p>○マッチング・ゲーム</p> <p>○Let's Talk</p> <p>・夏休みに行った場所とそこでしたこと、その感想についてペアで話す。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑤ p.40</p> <p>書く文：I enjoyed (fishing). It was (exciting).</p>	<p>◎夏休みに楽しんだこととその感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

	・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	
6	<p>◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所、楽しんだこと、食べた物、感想が分かる。</p> <p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物、その感想について伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation p.35 【Let's Listen 3】 p.38 ・英語の音声を聞き、登場人物が夏休みの思い出について話しているのを見て、どこへ行ったかを考えて、誌面の絵から選んで線で結ぶ。</p> <p>○デスティニー・ゲーム。 ○Let's Talk ・ペアになり、夏休みの思い出に関して、「行った場所」「楽しんだこと」「食べた物」のいずれかについて、「感想」を加えて話す。 ○Sounds and Letters (s)</p>	<p>◎夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所やしたことなどが分かり、内容に合う絵を選んで線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎夏休みに楽しんだことや食べた物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆夏休みの思い出について書かれた文を推測して読むとともに、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとする。</p> <p>○Small Talk：夏休みの思い出、週末の思い出（行った場所・楽しんだこと・感想） 【Let's Read and Watch】 p.39 ・夏休みの思い出について書かれた英文について、映像資料を視聴して内容を確認したり、音声に合わせて読んだりする。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑥ p.40 ・夏休みの思い出について、行った場所、食べた物、したことなど、前時までにワークシートに書き写した文を読む。 【Activity】 p.40 ・ペアで夏休みの思い出について伝え合う。</p>	<p>◎夏休みの思い出について書かれた英文を読んで内容を理解し、内容に合う絵を選んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書く。</p> <p>◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書こうとする。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑦ p.40 ・夏休みの思い出について、前時までに書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を、思い出アルバム用シートに清書する。</p> <p>○だれの思い出アルバムかを考えよう。 ・指導者が読む思い出アルバム用シートを見て、それが誰かを考えて発表する。 ・ペアで自分たち以外の誰かが書いた夏休みの思い出を推測しながら読み、誰が書いたものかを考えて発表する。 【STORY TIME】 p.41 ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後について言う。</p>	<p>◎夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 5-Lesson 1 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 1/8 時間

目 標 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりできる。

準 備 教師用カード(施設・場所, 動作, 飲食物), 児童用カード(施設・場所, 動作, 飲食物), 夏休みを紹介する写真や実物など, 指導者が自分の夏休みの思い出について書いたもの, デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-1), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
9分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 夏の食べ物 S1: What food do you like in summer? S2: I like watermelon. S1: Me, too. Why? S2: It's sweet. How about you? ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・Small Talk をすることを告げ, 本単元の題材との関連を意図し, 夏の食べ物について話させる。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が夏休みの思い出について話している映像を視聴し, 行った場所, そこでしたこと, 食べた物を話の内容に合うように, 誌面上の登場人物と絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に, 答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を始める前に, まず指導者が自身の夏休みについて話す。その際には写真や実物などを見せながら, 児童の理解を助けるようにする。また, それが過去の話であることが分かるように, カレンダーで, 今日の日付を確認してから, いつの話かをカレンダーの日付を示して話すようにする。 <p>T: Today is September (date). In summer vacation, I went to the sea with my family. I enjoyed swimming. It was fun. I ate watermelon. It was delicious. How about your summer vacation? Good time? T: Now, let's listen to the talk.</p>	夏休みを紹介する写真や実物など デジタル教材, 児童用テキスト
	<p>① Hi, I'm Kosei. I went to the mountains. I enjoyed camping. It was fun. ② Hi, I'm Hana. I went to the zoo. I saw a panda. It was cute. ③ Hi, my name is Aoi. I went to the sea. I enjoyed fishing. I ate <i>obento</i>. It was delicious.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを確認した後, 夏休み中に行った場所について児童とやり取りする。 <p>T: I went to the sea in the summer vacation. How about you, S1? S1: Sea. T: You went to the sea. Good. How about you? (他の児童を指名して) S2: Mountain. T: Oh, you went to the mountain. That sounds nice. S2, I went to...? S2: I went to the mountain. T: OK. How about you, S3?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは, 映像資料で出会った I went to ~. を繰り返し聞かせることがねらいであるため, 無理に言わせることはせず, 促す程度に留めるとよい。 	<p>※写真は, 「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>

8分	<p>【Let's Play】 Pointing Game p.34, 35</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う, 施設・場所名, 動作, 飲食物の絵を指さす。 (施設・場所) mountain, sea, amusement park, grandparents' house, (動作) hiking, swimming, fishing, shopping (飲食物) ice cream, watermelon, curry and rice, shaved ice ・指導者の後に続いて I went to ~. 等を繰り返しながらゲームに取り組む。 	<p>T: Let's play Pointing Game. I say a word. Please touch the picture.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は, 以下の表現を言う。 (施設・場所名の場合) I went to... (動作の場合) I enjoyed... (飲食物の場合) I ate... ・まず①個人で行い, 慣れてきたら②ペアで行う。 ・飲食物のカードは, 前単元と重なるものについては同じカードを使うとよい。 ・この活動は, 前活動で繰り返し聞いた I went to ~. を含め, I ate ~. I enjoyed ~. を, 繰り返し聞いたり言ったりすることがねらいであるため, 児童にしっかりと知らせるようにする。 	<p>児童用テキスト 教師用カード (施設・場所, 動作, 飲食物) 児童用カード(施設・場所, 動作, 飲食物)</p>
8分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所をペアで伝え合う。ペアを替えて繰り返す。 S1: I went to the sea. How about you? S2: I went to the mountain. S1: I see. Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで夏休みに行った場所について伝え合うよう指示する。両隣や前後, 斜めと時間内に相手を替えて行う。 ・何度も聞いたり言ったりした I went to ~. を使って自分のことを知らせることがねらいである。海や山などの特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し, 学校や近くの公園, 買い物等も含めて伝え合うよう指示する。 ◎夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	<p>【Let's Read and Write】 ① p.40</p> <p>書く文例: I went to (the sea).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Where did you go? Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	<p>デジタル教材, ワークシート (Unit 5-1)</p>
2分	<p>○単元の終末の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では, クラスの仲間の夏休みの思い出アルバムを作ることを確認し, 単元の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は, 自分自身の夏休みの思い出について書いたものを提示するなどして, 単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 	<p>指導者が自分の夏休みの思い出について書いたもの</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

6年 Unit 5-Lesson 2 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 2/8 時間
目 標 夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所や感想などが分かる。 過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。
準 備 教師用カード(施設・場所、動作、飲食物、状態・気持ち)、デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 5-2, 5-7)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Play】 Pointing Game p.34, 35 ・前時と同様に取り組む。(個人→ペア)	・前時と同じ要領で行う。	教師用カード (施設・場所、動作、飲食物)
8分	【Let's Watch and Think 1】 p.36 ・世界の国々の子供たちが夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、誰が何をしたか等を誌面の表に記入する。また、日本の夏休みとどのように違うのか比べながら聞く。 ・2回程度繰り返して聞いた後、答えを確認する。	T: Let's listen to the talk. マーク : Hello, everyone! I'm Mark. I'm in America. We have a long summer vacation from June to August. I went to the mountains this summer vacation. It was beautiful. I enjoyed camping. It was fun. I ate a hot dog. It was delicious. ジョン : Hello, everyone. I'm John. I'm in Australia. It's winter in Australia now. I went to the park this summer vacation. It was nice. I enjoyed playing soccer with my friends. It was exciting. I ate sandwiches. They were good. ◎夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所やしたことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	デジタル教材、 児童用テキスト
5分	○Let's Play フェイント・リポート・ゲーム ・感想を表す形容詞で行う。 fun, exciting, cool, delicious, beautiful, good, nice, great, wonderful	・児童と言い方を確認しながら状態や気持ち(形容詞)の教師用カードを掲示する。 ・指導者がさすものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者はさしたものと違う語を言う。児童はそれに惑わされずさされたものの語を言う。	教師用カード (状態・気持ち)
5分	【Let's Chant】 Summer Vacation p.35 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">My summer vacation, very nice. I went to the mountains. I went to the sea. I enjoyed hiking. I enjoyed swimming. I ate ice cream. I ate watermelon. Ummm, nice vacation.</div>	・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
8分	○Let's Talk ・夏休みに行った場所とその感想についてペアで伝え合う。	T: Now, let's talk about your summer vacation memories. ・前時の Let's Talk で伝え合ったことに感想を加え	

	<p>S1: I went to the sea. It was beautiful. How about you? S2: I went to the mountain. It was nice. S1: I see. Thank you.</p>	<p>る形で児童に言わせるとよい。また、海や山などの特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し、学校や近くの公園、買い物等も含めて伝え合うよう指示する。 ◎夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write】 ② p.40 書く文例：It was (fun). ・音声を聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. How was it? Please choose the word from the word box and write it down.</p>	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 5-2)</p>
5分	<p>○Sounds and Letters (p) ・時間があれば、ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /p/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に p の文字を書く。</p>	<p>・(時間があれば) ジングル (※1) を聞かせる。 T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle. ・サウンド・テニス (※2) をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with /p/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりするとよい。 ・ワークシートの4線上に p の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'p'.</p>	<p>デジタル教材 テキスト ワークシート (Unit 5-7)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音（ここでは/p/）への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音（ここでは/p/）から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音（/p/）から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。（Five, four, three, two, one, time is up! など指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。）
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 5-Lesson 3 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 3/8 時間

目 標 過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりできる。

準 備 教師用カード (状態・気持ち), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-3), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	○Small Talk : 夏休みの思い出 (行った場所・感想) S1: I went to the amusement park. It was fun! S2: You went to the amusement park. That's nice! S1: How about you? S2: I went to Okinawa. It was beautiful! S1: You went to Okinawa. That's great. ...	・Small Talk をすることを告げ、本単元の題材との関連を意図し、夏休みの思い出について話させる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。	
5分	【Let's Chant】 Summer Vacation p.35 My summer vacation, very nice. I went to the mountains. I went to the sea. I enjoyed hiking. I enjoyed swimming. I ate ice cream. I ate watermelon. Ummm, nice vacation.	・児童と一緒にチャンツを言う。	デジタル教材 児童用テキスト
11分	○Let's Play ・夏休みに行った場所や感想を言い合う。 S1: I went to the sea. S2: You went to the sea and I went to the swimming pool. S3: You went to the swimming pool and I went to the amusement park.	T: Let's talk in a group. 進め方 ・5～6人でグループを作る。 ・グループで円になり、それぞれ言う「夏休みに行った場所」を決める。 ・最初の児童が自分の「夏休みに行った場所」を言う。 ・次の児童は、前の児童が言ったことを You と繰り返して言った後、自分の「場所」を付け足す。 ・その順番で最後の人まで、場所を付け足しながら、文を言っていく。 ・どのグループが最初に全員が言い終わるかを競うことも考えられる。 ・次に、行った場所に感想を付け加えて言い、同様の活動を行う。 ◎夏休みに行った場所とその感想を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
10分	○Pointing Game ・感想を表す形容詞を使ってポインティング・ゲームを行う。 fun, good, exciting, nice, great, delicious, nice, great, cool, beautiful, wonderful	・ポインティング・ゲームをすることを告げる。 ・指導者が言う It was ～. を繰り返し、誌面にある感想を表す絵を指さす。児童が慣れてきたら、指導者は感想だけでなく、I went to / ate / enjoyed ～. It was ～. と言い、児童に You went to / ate / enjoyed ～. It was ～. と繰り返して言わせるようにする。	教師用カード (状態・気持ち)
5分	【Let's Read and Write】 ③ p.40 書く文例: I went to the (sea). It was (fun). ・音声を聞いて繰り返し読んだ (言った) 後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. Where did you go? How was it? Please choose the words from the worksheets (Unit 5-1, 5-2) and complete the sentences.	デジタル教材, ワークシート (Unit 5-3)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 5-Lesson 4 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 4/8時間

目 標 夏休みに行った場所と食べた物, その感想を聞いたり言ったりできる。

準 備 教師用カード (飲食物), 飲食物の写真等, デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-4, 5-8), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Chant】 Summer Vacation p.35 My summer vacation, very nice. I went to the mountains. I went to the sea. I enjoyed hiking. I enjoyed swimming. I ate ice cream. I ate watermelon. Ummm, nice vacation.	・児童と一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10分	【Let's Listen 2】 p.37 ・音声を数回聞いて, 内容に合うように誌面にある登場人物と絵などを線で結ぶ。その後, 解答を確認する。	・3人の登場人物が夏休みに行った場所, したこと, 食べた物, その感想を話している英語の音声を聞かせ, 誌面上の登場人物と絵などを線で結ばせる。	デジタル教材, 児童用テキスト
	さき : Hi, I'm Saki. I went to the sea with my family. I enjoyed swimming. I ate watermelon. It was fun. さとし : Hi, I'm Satoshi. I went to the countryside. I enjoyed fishing. I ate <i>obento</i> . It was exciting. けんた : Hi, I'm Kenta. I went to the city. I enjoyed shopping. I ate ice cream. It was delicious.		
7分	○Let's Play ・指導者の話を聞いて, I ate~. の表現を繰り返し何度も聞く。 *写真は, 「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。	・指導者は, 昨夜と今朝食べた物を, 教師用カードまたは写真等を見せながら紹介する。一方的に言うのではなく, 児童にそれを食べたか, 好きかなど尋ねながら紹介する。この活動を通して I ate~. の言い方を何度も聞かせ, 次のペア活動につなげる。 T: I ate ~ last night. I liked it! How about you? Do you like ~? ...	教師用カード (飲食物) 飲食物の写真等
8分	○Let's Talk ・夏休みに行った場所と食べた物, その感想について, ペアで話す。 S1: I went to the sea. I ate <i>yakisoba</i> . It was delicious. How about you? S2: I went to the department store. I ate pizza. It was great. S1: I see. Thank you. ・ペアを替えて, 複数回対話をする。	・指導者はまず, 自分が夏休みに行った場所や食べた物などを紹介し, 1人の児童 (S1) に How about you? と問いかける。S1 の発話を助ける。これを数名と繰り返し, 児童にやり方を理解させた上で, ペアで活動させる。 T : I went to the sea. I ate ice cream. It was delicious. How about you? S1: I went to the amusement park. I ate a hamburger. It was good. T : That's nice. Now, let's talk in pairs. ◎夏休みに行った場所と食べた物, その感想を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	
5分	【Let's Read and Write】 ④ p.40 書く文例 : I ate (<i>yakisoba</i>). It was (<i>delicious</i>). ・音声を聞いて画面にある文を読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉	T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. What did you eat? How was it? Please choose the words from the word box and complete the sentences.	デジタル教材, ワークシート (Unit 5-4)

	を選んで書き写す。	※ワークシート (Unit 5-4) では, 例文が <i>I ate yakisoba.</i> となっているが, デジタル教材では <i>I ate pizza.</i> となっている。デジタル教材の音声を聞いて <i>I ate pizza.</i> と言った後, 児童にワークシートを読むことに挑戦させる。	
5分	<p>○Sounds and Letters (r)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /r/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に r の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (時間に余裕があれば) ジングルを1通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet. Repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think any words starting with /r/.</p> <p>Now, say the words within five seconds.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず, 指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり, 制限時間を短くしたりしていくなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に r の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 'r'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-8)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 5-Lesson 5 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 5/8 時間

目 標 夏休みに楽しんだこととその感想を聞いたり言ったりできる。

準 備 教師用カード（動作、飲食物、場所、状態・気持ち）、デジタル教材、児童用テキスト、児童用カード（動作、飲食物、場所、状態・気持ち）、ワークシート（Unit 5-5）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	○Small Talk : 夏休みの思い出 (行った場所・食べた物・感想) S1: I went to Okinawa. I ate <i>mimiga!</i> It was OK. S2: <i>Mimiga?</i> S1: Pig's ear. S2: Pig's ear!? S1: Yes. How about you? S2: I went to Yokohama. I ate <i>shuma!</i> It was delicious. S1: That's nice.	・Small Talk をすることを告げ、前時の復習を意図し、夏休みの思い出について話させる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。	
8分	【Let's Watch and Think 2】 p.38 ・映像資料を視聴し、登場する人たちが夏休みにどこへ行き、何をしたかを理解する。	T: Let's watch and listen to the conversations. エマ : Hi, Mark. You look happy. Did you have a good time during summer vacation? マーク : Yes. I went to the White Mountains. I enjoyed hiking with my family. It was great. How about you? How was your summer? エマ : I went to the baseball stadium. I enjoyed a baseball game. It was very exciting. エマ : How about you, Kosei? Did you enjoy your summer vacation? こうせい : Well, we went camping to the river. Then it rained a little. エマ : Oh, that's too bad. こうせい : I enjoyed the food there. The fish was specially fresh and good. ※Did you ~? など未習語も一部含まれるが、ここでは、やり取りの様子を聞かせることを優先させている。未習語は、聞き取る情報（したこと、感想）をつかませる上で支障がない。	デジタル教材 児童用テキスト
10分	○マッチング・ゲーム S1: I enjoyed [hiking / camping / swimming / shopping / fishing / playing baseball]. S2: It was [fun / exciting / cool / great / wonderful / beautiful].	T: Let's play the Matching Game. One volunteer, please. (前に出た児童に状態・気持ちのカードを渡す。指導者は場所や飲食物のカードを持つ。) Choose one card. Don't show it to me. I'm going to take one card. Look! My card is "I ate <i>sushi</i> ." What's your card? (児童が答える) "It was beautiful." Oh, they don't match. Now, it's your turn.	教師用カード (動作、飲食物、場所、状態・気持ち) 児童用カード (動作、飲食物、場所、状態・気持ち)

	<p>マッチング・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア (A, B) になり, A が場所や食べ物, 動作のカードを持つ。B が感想を表す形容詞 (状態・気持ち) のカードを持つ。 ・相手に見えないように1枚ずつカードを選び, 発話する。A: I enjoyed hiking. B: It was exciting. のように意味が合えば, 「マッチ」したものとしてカードを除く。A: I enjoyed hiking. B: It was delicious. のように意味が合わない組み合わせの場合は, カードを元に戻す。 ・時間内にたくさん「マッチ」させることができたペアの勝ち。 		
8分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所とそこでしたこと, その感想についてペアで話す。 <p>S1: I went to the mountain. I enjoyed hiking. It was nice. How about you?</p> <p>S2: I went to the sea. I enjoyed fishing. It was exciting.</p> <p>S1: I see. Thank you.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを替えて, 複数回対話をする。 	<p>T : I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. It was delicious. How about you?</p> <p>S1: ...</p> <p>T : That's nice. Now, let's talk in pairs.</p> <p>◎夏休みに楽しんだこととその感想を聞いたり言ったり聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○【Let's Read and Write】⑤ p.40</p> <p>書く文章 : I enjoyed (fishing).</p> <p>It was (exciting).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. What did you enjoy? How was it? Please choose the words from the word box and complete the sentences.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 5-5)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 5-Lesson 6 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 6/8 時間
目 標 夏休みの思い出についての話を聞き, 行った場所, 楽しんだこと, 食べた物, 感想が分かる。 過去の表現の仕方が分かり, 夏休みに行った場所, 楽しんだこと, 食べた物, その感想について伝え合う。
準 備 教師用カード (施設・場所, 動作, 飲食物, 状態・気持ち), デジタル教材, 児童用テキスト, 児童用カード (動作, 飲食物, 状態・気持ち), ワークシート (Unit 5-9), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
4分	【Let's Chant】 Summer Vacation p.35	・一緒にチャンツを言う。 My summer vacation, very nice. I went to the mountains. I went to the sea. I enjoyed hiking. I enjoyed swimming. I ate ice cream. I ate watermelon. Ummm, nice vacation.	デジタル教材
10分	【Let's Listen 3】 p.38 ・英語の音声を聞き, 登場人物が夏休みの思い出について話しているのを聞いて, どこへ行ったかを考えて, 誌面の絵から選んで線で結ぶ。	・登場人物4人が, ある場所に行ったこと, その感想を話し, 最後に Guess where I went. クイズを出している英語の音声を聞かせる。 (クイズが出された時, 画面には山, ショッピング・モール, 川, 遊園地, 祭り, 古い町並み, プールのイラストが表示されている) T: Let's listen to the talk. 1 I'm John. I went to xxx. It was beautiful. I enjoyed swimming. It was fun. I ate shaved ice. It was cold. 2 Hello, I'm Christina. I went to xxx. It was wonderful. I enjoyed shopping. It was fun. I ate pizza. It was nice. 3 Hi, I'm Satoshi. I went to xxx. It was beautiful. I enjoyed fishing. It was exciting. I ate <i>obento</i> . It was delicious. 4 Hi, I'm Aoi. I went to xxx. It was great. I enjoyed riding a roller coaster. It was exciting. I ate a hamburger. It was good.	デジタル教材
		◎夏休みの思い出についての話を聞き, 行った場所やしたことなどが分かり, 内容に合う絵を選んで線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
10分	○デスティニー・ゲーム ・ペア対抗で, デスティニー・ゲームをする。 やり取りの例 T: I went to ~. S1: I enjoyed ~. It was ~. I ate ~. It was ~.	T: Let's play the Destiny Game. デスティニー・ゲームの進め方 ・児童は, ペアで1組の児童用カード (動作, 飲食物, 状態・気持ち) (単語付) を使う。 ・児童は, 児童用カードを同数ずつに分けて持ち, それぞれ机の上に並べる。 ・指導者が I went to (施設・場所) . と言うのを聞いて, それに関連するカードがある方が, その絵カードを出しながら, 後に文を続ける。 ①動作, ②感想, ③飲食物, ④感想の順。 ・早く絵カードがなくなったペアが勝ち。	教師用カード (施設・場所, 動作, 飲食物, 状態・気持ち) 児童用カード (動作, 飲食物, 状態・気持ち)

11分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり，児童用テキスト p.37 のイラストを参考にしながら，夏休みの思い出に関して，「行った場所」「楽しんだこと」「食べた物」のいずれかについて，「感想」を加えて話す。 <p>S1: I went to the department store. I enjoyed shopping. It was wonderful.</p> <p>S2: That's good. I went to the mountain. It was beautiful.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで対話をしたことがない人と対話する。 ・ペアを替えて複数回対話をする。 	<p>T: Please talk about your summer vacation with your partner. You can talk about the place you went to, the food you ate, and the things you enjoyed.</p> <p>◎夏休みに楽しんだことや食べた物について伝えて合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>OSounds and Letters (s)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /s/ で始まる単語を見て，発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線の上に /s/ の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（時間に余裕があれば）ジングルを1通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with /s/. Now, say the words within five seconds.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず，指導者と児童全員で行い，児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり，制限時間を短くしていったりするなどするとよい。 ・ワークシートの4線の上に s の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 's'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 5-Lesson 7 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 7/8 時間
目 標 夏休みの思い出について書かれた文を推測して読むとともに、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとする。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-1~5-6: 前時までに書き写したもの), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
8分	○Small Talk: 夏休みの思い出, あるいは週末の思い出 (行った場所・楽しんだこと・感想) S1: I went to the shopping mall. I enjoyed watching a movie! It was fun. S2: That's nice. What movie? S1: Godzilla! How about you? S2: I went to the stadium. I enjoyed baseball. It was OK.	・Small Talk をすることを告げ, 今回は週末の思い出について話させる。話題を「夏休みの思い出」から「週末の思い出」とし, 似た話題について繰り返し対話することで過去形の表現の仕方が十分に分かり, 聞いたり言ったりできるようにすることがねらいである。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p. 84, 85 を参照。	
10分	【Let's Read and Watch】 p.39 ・児童用テキスト p.39にある夏休みの思い出について書かれた英文を各自で読んでみる。 ・その英文が話されている映像資料を視聴して内容を確認する。 ・映像資料の音声に合わせて, 英文を読む。内容に合う絵を選ぶ。 ・映像資料の音声を消して, 英文を再度自分で読む。	・児童が抵抗感なく取り組むことができるように段階をおって活動を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">My summer vacation. Date: August 12th. I went to the sea. I enjoyed swimming. I ate fresh fish. It was fun.</div> ◎夏休みの思い出について書かれた英文を読んで内容を理解し, 内容に合う絵を選んでみる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
8分	【Let's Read and Write】 ⑥ p.40 ・夏休みの思い出について, 行った場所, 食べた物, したことなど, 前時までにワークシートに書き写した文を読む。 ・デジタル教材で音声を聞いて, 画面の文を読む (言う)。その後, ワークシート (Unit 5-6) を見て, 読む。	T: Look at your worksheet. Let's read the sentences you wrote. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">① I went to the sea. ② I went to the sea. It was fun. ③ I went to the park. It was nice. ④ I ate pizza. It was delicious. ⑤ I enjoyed fishing. It was exciting.</div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 5-1~5-6: 前時までに書き写したもの)
15分	【Activity】 p.40 ・ペアで夏休みの思い出について伝え合う。相手を替えて繰り返す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">りこ: How was your summer vacation? ゆみ: I went to a new ice cream parlor. I ate banana chocolate ice cream. It was great. Do you like ice cream? りこ: Yes. I like ice cream very much. ゆみ: Good! Let's go to the ice cream parlor together next summer vacation! Let's enjoy delicious ice cream! OK? りこ: OK! ゆみ: Thank you!</div>	・これまでにワークシートに書き写した文を参考にしながら, 夏休みの思い出についてペアで伝え合うように言う。その際に, 自分の思い出を伝え, 相手が来年一緒に夏休みを過ごしたいと思ってもらえるよう工夫して伝えるよう言う。 ◎他者に配慮しながら, 夏休みの思い出について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
3分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 5-Lesson 8 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 8/8時間
目 標 自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書く。 自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書くようにする。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート（4線：清書用）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
14分	【Let's Read and Write】 ⑦ p.40 ・夏休みの思い出について、前時までに書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を清書して思い出アルバムにする。	・ワークシート4線を清書用として配布する。文を書き終えたら、空いているスペースに絵やイラストを描き加えさせる。 ・書き終えたら全員分を回収する。 ・後日、『6年〇組夏休みの思い出アルバム』にして全員に配布することもできる。また、教室掲示として使うこともできる。 ◎夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書いている。 <行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	ワークシート（4線：清書用）
15分	〇だれの思い出アルバムかを考えよう。 ・指導者が読む思い出の内容を聞いて、それが誰かを考えて発表する。 ・ペアで自分たち以外の児童が書いた夏休みの思い出を推測しながら読み、誰が書いたものかを考えて発表する。	・児童が前活動で書いた思い出アルバム用シートから2つほど選んで、それを児童に見せながら読む。それが誰のものかを尋ねる。 ・ペアに、そのペアの児童のものではない思い出アルバム用シートを配り、ペアで推測しながら読ませる。それが誰のものかを考えて発表させる。 ・支援が必要な場合は、児童のそばに行き、一緒に読んだり、絵やイラストを指さしたりしながら読んだりする。	ワークシート（4線：前活動で児童が書いたもの）
10分	【STORY TIME】 p.41 ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 ・ライム（押韻）している単語だけを読む。	・本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム（押韻）を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム（押韻）は /ɪf/。 T: Listen to the rhyme and repeat. Then repeat the rhyming words. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">My family went to the sea this summer. I saw some seashells, starfish, and jellyfish. We had a nice dish of fish. It was delicious. A delicious dish of fish.</div>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	・本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時及び単元全体のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年—Unit 6 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック

1. 単元目標

- ・国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。(知識及び技能)
- ・オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at (basketball)? Yes, I am. / No, I'm not.
- Olympic Games, Paralympic Games, スポーツ・競技 (wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming, athletics, gymnastics, football など), 国 (Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam), evening, window
[既出] スポーツ, 国, 曜日, morning, afternoon

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

4. 単元計画 (6時間) *指導書の「指導の流れ」では全7時間となっているが、6時間で構成している。

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きなスポーツとその理由 【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43 ・誌面のさまざまなスポーツのイラスト, スポーツの公式マークを見ながら, それがどんなスポーツかを考えて発表する。 【Let's Play 1】 p.42, 43 ・得意な競技やスポーツについて, 児童同士で相手を替えてやり取りする。</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ① p.48 書く文例 : I'm good at (tennis). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	◎互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆国名を言ったり読んだりすることができる。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.44 ・映像資料を視聴し, オリンピック・パラリンピックについて分かったことを誌面に記入する。</p> <p>○国旗クイズ</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ② p.48 書く文例 : I like (Japan). ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	◎国名を言ったり読んだりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

	○Sounds and Letters (t)	
3	◆見たい競技について尋ねたり答えたりできるとともに、見たい競技と理由についてまとまった話を聞いて分かる。	
	○Small Talk : 好きなスポーツとその理由 【Let's Watch and Think 3】 p.45 ・登場人物が自分のしたいことについて対話しているのを聞いて、誰が何をしたいのかを考えて、誌面に記入する。 【Let's Chant】 Do you want to watch baseball? p.45 【Let's Talk】 p.45 ・友達の見たい競技を予想して尋ね合い、□に名前を書く。 【Let's Read and Write 2】 ③ p.48 書く文例 : Do you want to watch (table tennis)? ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	◎登場人物の話聞いて、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由を書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 ◎見たい競技について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合う。	
	【Let's Watch and Think 4】 p.46 ・映像資料を視聴し、当てはまる競技の絵に○を付ける。 ○カルタ取り 【Let's Play 2】 p.46 ・インタビューをしてクラスで人気の競技調べをする。 【Let's Read and Write 2】 ④ p.48 書く文例 : I want to watch (badminton). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ○Sounds and Letters (v)	◎オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
5	◆競技名を読むことができるとともに、何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合ったりする。	
	○Small Talk : オリンピック、パラリンピックで見たいスポーツとその理由 【Let's Read and Write 1】 p.47 ・新聞のテレビ欄を模したテキストのページを見て、何曜日にどの競技が見られるのかを読み、それぞれの曜日に自分が見たい競技に印を付ける。 【Activity 1】 p.47 ・印を付けたテレビ欄をもとに、オリンピック・パラリンピックで、どの競技が見たいか、その理由とともに話す。 【Let's Read and Write 2】 ⑤ p.48 書く文章 : What sports do you want to (watch)? ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ○Sounds and Letters (w)	◎競技を表す語を読んで、見たい競技に○を付けている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 ◎何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
6	◆他者に配慮しながら、見たい競技名を表す語を例を参考に書いたり、見たい競技とその理由などについて伝え合おうとしたりする。	
	【Let's Watch and Think 5】 p.48 ・見たい競技について話している登場人物の話聞き、「見たい競技」と「そ	

<p>の理由」を聞き取り，表に記入する。</p> <p>OLet's Read</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに書き写した文を読んだりペアで読み合わせしたりする。 <p>【Activity 2】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ欄を見て，オリンピック・パラリンピックで，どの競技が見たいかを決め，観戦計画を作る。 ・ペアになって観戦したい競技について伝え合う。 <p>【STORY TIME】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎他者に配慮しながら，見たい競技名を表す語を，例を参考に書いている。〈活動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎他者に配慮しながら，見たい競技名を伝え合っている。〈活動観察・振り返りカード点検〉</p>
---	--

6年 Unit 6—Lesson 1 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 1/6時間

目 標 お互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりできる。

準 備 教師用カード (スポーツ), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-1), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	○Small Talk : 好きなスポーツとその理由 S1: What sport do you like? S2: I like soccer. S1: You like soccer. That sounds nice. Why? S2: It's fun. How about you? What sport do you like?	・ここでは本単元との関連を意図し、好きなスポーツとその理由について話させる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。	
20分	【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43 ・誌面のさまざまなスポーツのイラスト、スポーツの公式マークを見ながら、それがどんなスポーツかを考えて発表する。	・映像を視聴させる前に、誌面のイラストや、スポーツのマークがどんなスポーツを表しているかについて、 What sport is this? と問いかける。児童の答えやつぶやきを拾いながらやり取りし、さまざまなスポーツの言い方を聞かせるようにする。次に、映像を見てみようと呼びかける。 T: Let's watch and think. What sports do they play? Can you guess?	教師用カード (スポーツ) デジタル教材 児童用テキスト
	先生 : Do you know this mark? 児童 : No, I don't. 先生 : I have some hints. Please guess! Hint 1. We use one ball. Hint 2. We have nine players. Hint 3. We play this sport on the sports ground. 児童 : I got it! It's 先生 : (視聴している児童に向かって) What sport? Can you guess? (解答 : baseball)		
		Ss: Baseball! T : Yes. The answer is baseball. I'm good at baseball. Are you good at baseball, S1? (複数の児童とやり取りする)	
	先生 : Next question. Can you guess? Hint 1. We use one ball. Hint 2. We have five players. Hint 3. We play this sport in the gym. 児童 : I got it! It's (解答 : basketball)		
	先生 : Last question. Can you guess? Hint 1. We don't use any balls. Hint 2. We enjoy this sport on the track. Hint 3. We enjoy the 50 meters race, the 100 meters race, the high jump, the running, the long jump and so on. 児童 : Umm It's difficult. (画面に向かって) Everyone, can you guess? (解答 : athletics)		
	・指導者の質問に答える。	T: (映像資料の問いかけを受けながら) Can you guess? Soccer? Tennis? Now, ask me. What...? What sports ...?	

		<ul style="list-style-type: none"> 教材の映像を引き継ぐ形で指導者自身の答えを言い、児童に質問する。 数人の児童とやり取りをする中で、何が問われているのか、どのように返答すればよいのかに児童が気付くようにする。 児童にも、What sports are you good at? という表現を聞かせ、この質問の音声に慣れるようにする。 	
6分	<p>【Let's Play 1】 p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意な競技やスポーツについて、児童同士で相手を替えてやり取りする。 <p>S1: Are you good at basketball? S2: No. I'm good at tennis.</p>	<ul style="list-style-type: none"> やり取りに必要な表現を言うことができない児童については、活動の最初に自信のない部分を繰り返すなどして個別の支援をする。 スポーツが得意でない児童には、スポーツ以外も含めて何が得意かを答えるよう促す。 <p>T: You are not good at sports.</p> <p>Then, what are you good at?</p> <p>◎互いの得意なスポーツなどを聞いたり言ったりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ① p.48</p> <p>書く文例: I am good at (tennis).</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on your worksheet. Listen to the sentence again and read it. What are you good at? Choose the word from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 6-1)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 単元終末の活動を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者は、自分がオリンピック・パラリンピックで見たい競技のプログラムを提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 6—Lesson 2 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 2/6時間

目 標 国名を言ったり読んだりすることができる。

準 備 教師用カード (国旗), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-2, 6-7), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
12分	【Let's Watch and Think 2】 p.44 ・映像資料を視聴し、オリンピック・パラリンピックについて分かったことを誌面に記入する。	・オリンピック、パラリンピックの歴史や、パラリンピック競技のことについて視聴する。これらのことについて予備知識が少ない児童がいることも考えられるため、聞かせる前に、誌面の絵を使いながら、What's this? This is the Olympic and Paralympic Games in ...? などとやり取りをしておくといよ。 ・音声を聞かせる際は、1回目は全体を通じて、2回目は区切って聞かせるなど、児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 T: Let's listen to the talk.	デジタル教材 児童用テキスト
	父 : We have the Tokyo Olympic and Paralympic Games in 2020. Do you know? 息子 : Yes! I'm excited. 父 : It is the second Olympic Games in Tokyo. 息子 : Really? 父 : Yes. The first time was in 1964. Look at this picture. 父 : Where were the Olympic and Paralympic Games in 2016? 息子 : Rio de Janeiro! 父 : Yes, that's right. In Rio de Janeiro ... 息子 : Japan got a gold medal for the gymnastics and a silver medal for the 400 meters relay. 父 : Look at this picture. Do you know this sport? 息子 : ... Tennis? 父 : Yes, wheelchair tennis. 息子 : Wheelchair tennis! 父 : Yes. How about this? 息子 : Wheelchair marathon? 父 : That's right. We also have wheelchair basketball and fencing ...		
		・全て分かることを求めるのではなく、誌面の写真をヒントに話のおおよその内容を理解し、本単元の題材であるオリンピック、パラリンピックに興味・関心をもたせることがねらいである。	
15分	○国旗クイズ ・カードは、表面はイラストと文字、裏面は文字のみ。1回目はイラスト付き(表面)で行う。2, 3回目は文字のみ(裏面)で行う。	・前活動の話題がオリンピック、パラリンピックだったことから、リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックでの日本のメダル受賞数が65個であったことを話題にし、多く受賞した国はどこかと問いかけ、児童から国名を出させる。 ・児童の答えやつぶやきから国名を拾い、既習の国名を言いながら教師用カード(国旗)を黒板に掲示していく。その際、児童も一緒に言うように促す。 Australia, Brazil, China, America, Germany,	教師用カード (国旗)

		Spain, Korea, Italy, Thailand, Japan など。 ・教師用カード(国旗)は、表面は国旗と文字、裏面は文字のみを使用し、以下のように進める。	
	進め方 ・国旗と文字を表にしてカードを掲示し、児童と国名の言い方を確認する。 ・児童に目を閉じさせ、その間に、国旗カードを1枚裏返しておく。 ・児童に目を開けさせ、国旗をさしながらすべての国名(裏返し1枚も含めて)を言うように促す。 ・裏返すカードの数を増やし、最後にはすべてが裏返して行う。		
		※教師用カード(国旗)は、デジタル教材を活用して、事前に作成しておく。 ◎国名を言ったり読んだりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	【Let's Read and Write 2】 ② p.48 書く文例: I like (Japan). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What country do you like? Please choose the word from the word box and write it down.	デジタル教材 ワークシート (Unit 6-2)
8分	OSounds and Letters (t) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /t/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に t の文字を書く。	・(時間があれば) ジングル(※1)を聞かせる。 T: Listen to the jingle. Next, let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat the jingle. ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /t/. Now, say the words. ・最初は教師と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に t の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 't'.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 6-7)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは/t/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは/t/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/t/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 6-Lesson 3 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 3/6時間

目 標 見たい競技について尋ねたり答えたりできるとともに、見たい競技と理由についてまとまった話を聞いて分かる。

準 備 教師用カード (スポーツ), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-3), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
8分	○Small Talk:好きなスポーツとその理由 S1: What sport do you like? S2: I like soccer. S1: You like soccer. That sounds nice. Why? S2: It's fun. How about you? What sport do you like?	・ここでは本単元との関連を意図し、好きなスポーツとその理由について話させる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。	教師用カード (スポーツ)
10分	【Let's Watch and Think 3】 p.45 ・登場人物が自分のしたいことについて対話しているのを聞いて、誰が何をしたいのかを考えて、紙面に記入する。	・Emma と Satoshi が見たい競技について話している場面であることを伝える。まずは通して視聴させ、2回目以降は、児童の様子を見ながら途中で止めて聞こえてきた語などを確認しながら視聴する。児童が分かったという達成感がもてるように工夫する。 T: Let's watch and think. Emma and Satoshi are talking about sports. What sport do Emma and Satoshi want to watch? Soccer? Tennis? Let's watch the video.	デジタル教材 児童用テキスト
	さとし : Hi, Emma. We have the Tokyo Olympic and Paralympic Games in 2020. エマ : Yes, Satoshi. It's exciting! さとし : Emma, what sport do you want to watch? エマ : I want to watch tennis. I like Nishikori Kei. さとし : Nishikori Kei! He is an excellent tennis player. エマ : How about you, Satoshi? What sport do you want to watch? さとし : Let's see, I want to watch wheelchair basketball. エマ : You want to watch wheelchair basketball. Really? Why? さとし : It's cool!		
		・児童と英語でやり取りしながら答え合わせをする。 T: OK, let's check! Satoshi wants to watch? How about Emma? Emma wants to watch? ◎登場人物の話聞いて、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由を書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 ・答えを確認した後、自然な形で児童との対話につなげる。そのやり取りの中で、Do you want to watch ~? I want to watch ~. の表現に慣れるようにする。 T : I like Nishikori Kei, too, so I want to watch tennis. How about you, S1? Do you want to watch tennis? S1: Yes.	

		<p>T : Oh, you want to watch tennis, too!</p> <p>How about you, S2? Do you want to watch tennis?</p> <p>S2: Um...No. I, I, ... wrestling.</p> <p>T : Oh, you want to watch wrestling.</p> <p>S2: Yes.</p> <p>T : OK I want to watch?</p> <p>S2: I want to watch wrestling.</p> <p>T : Good! Why? Why do you want to watch wrestling?</p> <p>S2: I like Yoshida Saori.</p> <p>T : I see! She is strong!</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 Do you want to watch baseball? p.45</p>	<p>・リズムに合わせて児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
	<p>Saturday night, a baseball night. Come and join me at a baseball game. I want to watch a baseball game. Do you want to watch a baseball game? Saturday night, a baseball night. Come and join me at a baseball game.</p>		
12分	<p>【Let's Talk】 p.45</p> <p>・ペアで、見たい競技について尋ねたり答えたりする。相手を替えて繰り返す。</p> <p>S1: Do you want to watch tennis? S2: Yes, I do. How about you? Do you want to watch tennis? S1: Yes, I do. Do you want to watch wheelchair basketball? S2: Yes, I do. How about you? Do you want to watch wheelchair basketball? S1: ...</p>	<p>T: OK. Now, let's ask in pairs, "Do you want to watch tennis?" "Do you want to watch wheelchair basketball?" ...</p> <p>◎見たい競技について尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ③ p.48</p> <p>書く文例 : Do you want to watch (table tennis)?</p> <p>・音声を聞きながら画面にある文を読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What sport do you want to watch? Please choose the sport from the word box and complete the sentence.</p> <p>※ワークシート(Unit 6-3)では、例文が Do you want to watch table tennis? となっているが、デジタル教材では、wheelchair basketball. となっている。デジタル教材の音声を聞いた後、児童にワークシートの文を読むことに挑戦させる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 6-3)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 6-Lesson 4 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 4/6時間

目 標 オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 教師用カード (スポーツ), デジタル教材, 児童用テキスト, 児童用カード (スポーツ: 絵と単語, 単語のみ2種), ワークシート (Unit 6-4, 6-8), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
7分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.46</p> <p>・映像資料を視聴し, 当てはまる競技の絵に○を付ける。</p>	<p>・音声を聞かせる前に, 誌面にある競技とその英語での言い方を確認する。 ・昔オリンピックで行われていた競技を予想させた上で聞かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>さとし: In 2020, we have the Tokyo Olympic and Paralympic Games in Japan. It's really exciting!</p> <p>エマ: Right. I studied about the Olympics. They had some interesting games in the Olympics in the old days.</p> <p>さとし: Really? What were they?</p> <p>エマ: One was the tug-of-war. They pulled a big rope. We do that on sports day, too.</p> <p>さとし: Interesting!</p> <p>エマ: Well, we have some new games in the Tokyo Olympics in 2020.</p> <p>さとし: Really? What are they?</p> <p>エマ: One of them is sports climbing.</p> <p>さとし: Oh, I know sports climbing! That's great!</p> </div> <p>・本活動は, 昔オリンピックで行われていた競技名を聞き取ることだが, 音声では, 2020年の東京オリンピックで新たに加わる競技のことも話しているため, そのことについても問うとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
8分	<p>○カルタ取り</p> <p>・児童は4人ほどでグループになり, 机に児童用カード (スポーツ: 文字付き) を1セット並べ, 周りに座る。指導者はスポーツ名を言う。それを聞いて児童は当てはまるカードを取る。取ったら, 文字を見ながら単語を読む。</p> <p>・カードは, 表面はイラストと文字, 裏面は文字のみ。1回目はイラスト付き (表面) で行う。2, 3回目は文字のみ (裏面) で行う。</p>	<p>・カルタ取りをすることを告げる。1回目はイラストと文字がある面を上にし, 2回目以降は文字のみの面を上にして行うことを告げる。 ・児童に質問させ, 指導者が答えたスポーツのカードを取らせる。</p> <p>Ss: What sports do you want to watch?</p> <p>T: I want to watch... BASEBALL!</p> <p>S1: カードを取る。スポーツ名の単語を読む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※児童用カードは, 児童用テキスト巻末のカード (スポーツ) をコピーし, その裏面に単語のみを書いたものを, グループ数分用意する。</p> </div>	教師用カード (スポーツ) 児童用カード (スポーツ: 絵と単語, 単語のみ2種)
15分	<p>【Let's Play 2】 p.46</p> <p>・クラスで人気の競技調べをする。 ・各グループでどのスポーツについて尋ねるかを定める。 ・インタビューする。</p>	<p>・グループで以下のような分担を決めさせる。 ・決めるのに時間がかかることが予想される場合は, 指導者が「この6つの中から」とスポーツの種類を限定して提示してもよい。</p>	児童用テキスト デジタル教材

	<p>S1: Hello. S2: Hi. S1: Do you want to watch <i>judo</i>? S2: Um, yes, I do. S1: (名簿に○を付ける.) Thank you. S2: Now it's my turn. Do you want to watch table tennis? S1: Umm, no, I don't. S2: (名簿に×を付ける.) Thank you.</p> <p>・班で集計し、結果を発表する。</p>	<p>例</p> <p>1班: tennis 2班: wheelchair basketball 3班: wrestling, 4班: table tennis 5班: <i>judo</i> 6班: 400 meters relay 班員①: 出席番号 1～6 の児童に聞く 班員②: 出席番号 7～12 の児童に聞くなど T: Let's interview!</p> <p>◎オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ④ p.48 書く文例: I want to watch (badminton). ・音声を聞きながら画面にある文を読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What sport do you want to watch? Please choose the sport from the word box and complete the sentence.</p> <p>※ワークシート(Unit 6-4)では、例文が I want to watch badminton. となっているが、デジタル教材では、I want to watch soccer. となっている。デジタル教材の音声を聞いて I want to watch soccer. とした後、児童にワークシートの文を読むことに挑戦させる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 6-4)
5分	<p>OSounds and Letters (v) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /v/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの4線上に v の文字を書く。</p>	<p>・(時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat the jingle. ・サウンド・テニスをするを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /v/. Now, say the words. ・最初は指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていたりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に v の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'v'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 6-8)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 6—Lesson 5 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 5/6時間
目 標 競技名を読むことができるとともに、何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合ったりする。
準 備 児童用テキスト、デジタル教材、児童用カード（スポーツ）、ワークシート（Unit 6-5, 6-9）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
8分	OSmall Talk : オリンピック, パラリンピックで見たいスポーツとその理由 S1: What sport do you want to watch? S2: I want to watch soccer. S1: You want to watch soccer. Sounds nice. Why? S2: I like soccer. How about you? What sport do you want to watch?	・ここでは本単元との関連を意図し, オリンピック, パラリンピックで見たいスポーツについて話させる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。	
10分	【Let's Read and Write 1】 p.47 ・新聞のテレビ欄を模した児童用テキストのページを見て, 何曜日にどの競技が見られるのかを読み, それぞれの曜日に自分が見たい競技に印を付ける。	・児童用誌面にある競技名のうち, 見たい競技名を選んで○を付けるよう言う。 ◎競技を表す語を読んで, 見たい競技に○を付けている。<行動観察・記述観察・振り返りカード点検>	児童用テキスト
10分	【Activity 1】 p.47 ・印を付けたテレビ欄をもとに, オリンピック・パラリンピックで, どの競技が見たいか, その理由とともに伝え合い, 一緒に競技を見る相手を見つける。 S1: What sports do you want to watch on Monday afternoon? S2: I want to watch wrestling. S1: Why? S2: It's exciting. S2: How about you, S3? S3: I can only watch the morning program. I want to watch baseball games.	T: I want to watch sailing on Monday morning. It seems fun. (おもしろそう) I want to watch wrestling on Monday afternoon. It seems exciting. (わくわくしそう) How about you? What sports do you want to watch on Monday morning? ・児童とやり取りしながら自然な形で児童同士のやり取りにつなげる。 ・活動前に, 理由を含めて発表することを伝えることで, 理由についてやり取りできるようにする。理由を言う際に多くの児童が使用しそうな英語表現 (例えば, It seems ~.) は, 指導者がまず使用し, 何人かの児童とやり取りする中で児童にも使用させるなどする。 ・児童用テキストを互いに見せず, 口頭でのやり取りで活動に取り組むように指示する。 ◎何の競技をいつ見たいかとその理由について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト 児童用カード (スポーツ)
5分	【Let's Read and Write 2】 ⑤ p.48 <u>書く文章</u> : What sports do you want to (watch)? ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Please trace the sentences and fill in the gaps.	デジタル教材 ワークシート (Unit 6-5)

5分	<p>OSounds and Letters (w)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /w/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 <p>・ワークシートの4線上に w の文字を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Let's say the jingle together.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Repeat the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /w/.</p> <p>Now, say the words.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に w の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 'w'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 6-9)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 6—Lesson 6 単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 6/6時間

目 標 他者に配慮しながら、見たい競技名を表す語を例を参考に書いたり、見たい競技とその理由などについて伝え合おうとしたりする。

準 備 教師用カード (スポーツ), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-1~6-6), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10分	<p>【Let's Watch and Think 5】 p.48</p> <p>・見たい競技について話している登場人物の話の聞き、「見たい競技」と「その理由」を聞き取り、表に記入する。</p>	<p>・映像を視聴させる前に、スポーツのカードを見せながら、まず指導者が見たいスポーツについて言い、児童にもそれが見たいか、またどんなスポーツを見たいかなどやり取りをする。</p> <p>・登場人物であるこうせいほどんなスポーツが見たいと思うかと問いかけ、これまでのこうせいについて知っていることから推測させる。その答えを確認するために視聴したいと意欲を高めてから視聴させるとよい。</p> <p>T: What sport do you want to watch? I want to watch volleyball. I like volleyball. I'm good at volleyball. Do you want to watch volleyball? Look, this is Kosei. He wants to watch ... What sport? Please guess. Soccer? Really? Let's check. Let's watch the video.</p>	教師用カード (スポーツ) デジタル教材 児童用テキスト
	<p>エマ : What sport do you want to watch, Kosei? こうせい : I want to watch athletics. I want to watch the 100 meters race. It's so exciting. エマ : Yes. I think so, too. こうせい : I want to watch <i>judo</i>, too. エマ : Oh, <i>judo</i>. I like it. Why do you want to watch <i>judo</i>? こうせい : <i>Judo</i> is a traditional Japanese sport. エマ : I see. How about wheelchair basketball? こうせい : Oh, yes! I'm in the basketball team, too. I want to watch that, too!</p>		
		・見終わって単に答え合わせをするのではなく、こうせいが見たいと言った <i>athletics</i> , <i>judo</i> , <i>wheelchair basketball</i> をみんなも見てみたいかなどと質問したり、どんなスポーツを見てみたいかなどと質問したりして、最後の活動につなげる。	
5分	<p>○Let's Read</p> <p>・前時までに書き写した文を読む。 ・ペアで読み合わせる。</p>	<p>・これまでに書きためた文を読むように指示する。</p> <p>例 I'm good at (tennis). I like (Japan). Do you want to watch (para swimming)? I want to watch (soccer). What sports do you want to (watch)?</p>	ワークシート (Unit 6-1~6-6)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで交換して読み合わせたり，読んだ内容についてやり取りさせたりしてもよい。 	
20分	<p>【Activity 2】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ欄を見て，オリンピック・パラリンピックで，どの競技が見たいかを決め，観戦計画を作る。 ・ペアになって観戦したい競技について伝え合う。 <p>A: On Monday, I want to watch ~.</p> <p>B: Me, too! And on Tuesday, I want to watch ~. ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本活動は，競技名（スポーツ名）の単語を書き写す「書くこと」の言語活動である。 ・観戦計画作成後は，作成した計画について互いに伝え合う「話すこと [やり取り]」の言語活動を行う。または，互いに見せ合って読み合う「読むこと」の言語活動を行う。 <p>◎他者に配慮しながら，見たい競技名を表す語を，例を参考に書いている。〈活動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎他者に配慮しながら，見たい競技名を伝え合っている。〈活動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【STORY TIME】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 ・ライム（押韻）している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし，ライム（押韻）を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム（押韻）は /u:ʌ/。 <p>T: Listen to the rhyme. Repeat after that. Repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I want to watch a swimming race. It's exciting! Look! I can see my favorite high school swimmer. He is near the pool. He is so cool! The cool high school swimmer is near the pool.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元全体のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年－Unit 7

単元名

My Best Memory

小学校生活・思い出

1. 単元目標

- ・学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What's your best memory? My best memory is (sports day). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].
- best, memory, 行事 (school trip, field trip, volunteer day, drama festival, graduation ceremony), shrine
[既出] school, we, 季節, 教科, 状態・気持ち, 施設・建物, 飲食物, 動作, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) ※ (=誌面化されている活動)	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆学校行事についての話を聞いて内容が分かる。</p> <p>○Small Talk : 冬休みの思い出</p> <p>○Let's Chant Summer Vacation (Unit 5)</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の話す学校行事の内容について分かったことを誌面に記入する。 ・自分たちの学校で行われている行事について英語での言い方を知る。 <p>【Let's Play】 Pointing Game p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う英語を聞いて、その英語が表す行事の絵を誌面から選んで指さす。 <p>【Let's Listen 1】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物がどんな行事について話しているかを考える。 <p>【Let's Read and Write】 ① p.56</p> <p>書く文例 : My best memory is (Mochi Making Festival).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	◎学校行事についての話を聞いて分かり、番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
2	<p>◆思い出に残る学校行事とその理由を理解したり、思い出の行事について尋ねたり、答えたりできる。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p> <p>○集中力ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループあるいはペアで、先生の言う行事を聞き終えたら、言われた順にカードを並べる。 <p>【Let's Listen 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人が話す学校行事について聞き、誌面に番号を記入する。 	◎思い出に残る学校行事についての簡単な話を聞いて理解し、誌面に番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>

	<p>【Let's Talk】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの友達に好きな学校行事を聞き、名前を誌面に記入する。 <p>【Let's Read and Write】 ② p.56</p> <p>書く文例：I enjoyed (dancing).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (y)</p>	<p>◎好きな学校行事について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆学校行事についての話を聞いて内容が分かり、感想を伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p> <p>○Small Talk：冬休みの思い出</p> <p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の学校行事について分かったことを線で結ぶ。 ・指導者の質問に答えたりやり取りしたりしながら、答えを確認する。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える形で、各行事に合う感想を言う。 ・思い出の学校行事とその時の気持ちを伝え合う。 <p>【Let's Read and Write】 ③ p.56</p> <p>書く文例：Was it (fun)? Was it (nice)?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎映像を視聴し、世界の学校行事について情報を聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎学校行事について感想を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解するとともに、運動会について感想などを伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダからのALTが、小学校時代に経験した行事について話している映像を視聴し、分かったことを発表する。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで写真を見て、その行事の名前やその時の気持ちを英語で話す。 <p>【Let's Read and Write】 ④ p.56</p> <p>書く文例：I enjoyed (reading books).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (z)</p>	<p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎運動会について、感想を含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、野外学習について感想などを伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p> <p>○Small Talk：心に残る運動会の思い出とその理由</p> <p>【Let's Watch and Think 3】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスの男の子が、小学校での思い出を話している映像を視聴し、分かったことを発表する。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで写真を見て、どこへ行ったか、そこで何を見たか、そのときの気持ちを英語で話す。 <p>【Let's Read and Write】 ⑤ p.56</p> <p>書く文例：We went to the (zoo). We saw (animals).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎野外学習について、その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6	<p>◆外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、宿泊研修について感想などを伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51 【Let's Watch and Think 4】 p.55 ・アメリカの男の子がサマーキャンプについて話している映像を視聴し分かったことを発表する。</p> <p>○Let's Talk ・宿泊行事や学習について振り返り、指導者による質問に答える。</p> <p>○Sounds and Letters (ch)</p>	<p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎宿泊研修について、その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51 ○Small Talk : 小学校の思い出 ○Let's Talk ・これまでの活動を生かし、ペアで実際に思い出に関する文を言い合ったりアドバイスをし合ったりする。</p> <p>【Let's Read and Write】 ⑦ p.56 ・ワークシートを見ながら、ワークシートにある英文が読まれる音声を聞いて、後について言う。 ・ペアで文字を指で追いながら読む。</p> <p>【Activity】 p.56 ・誌面 p.56 のポスターや、これまでのワークシートに書き写した文等を参考に思い出アルバムを作成する。</p>	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎人に伝えるという目的をもって、自分の思い出について書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆小学校6年間の学校生活で1番心に残っている思い出を、理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。</p> <p>◆短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51 【Activity】 p.56 ・登場人物 Yumi の思い出を聞いて理解し、自分の発表内容の参考にする。 ・前時に書いた思い出アルバムを自分で読んでみたり、友達に見せながら伝え合ったりする。 ・思い出を清書用の用紙に書く。</p> <p>【STORY TIME】 p.57 ・デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。</p>	<p>◎人に伝えるという目的をもち、自分の思い出について発表している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎人に伝えるという目的をもち、自分の思い出を清書している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎短い話を聞いて内容を理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎英語の音を意識して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 7-Lesson 1 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 1/8 時間

目 標 学校行事についての話を聞いて内容が分かる。

準 備 教師用カード (行事), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-1), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 冬休みの思い出 S1: I enjoyed <i>osechi</i> in <i>Fuyuyasumi</i>. S2: You enjoyed <i>osechi</i> Me, too. S1: How about you? S2: I enjoyed the Christmas party.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が質問をして, ペアで対話をさせる。ここでは本単元に関連した題材を意図して, 冬休みの思い出が話題である。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
2分	OLet's Chant Summer Vacation (Unit 5)	<ul style="list-style-type: none"> 既習のチャンツであるので, 最初から一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材
12分	<p>[Let's Watch and Think 1] p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT の話す学校行事の内容について分かったことを誌面に記入する。 	<p>T: Let's watch the video about school events in Japan. What's your favorite event? (What event do you like?) I like sports day very much. How about you? You, too? Now let's watch.</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (行事)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello. My name is Sam. I'm an English teacher at Sakura elementary school. I have many wonderful memories. This is a picture of sports day. We tried tug-of-war. It was a lot of fun. This is a picture of the music festival. My students sang very well. The chorus was wonderful. This is a picture of the volunteer day. I worked as a volunteer. We cleaned up the park. It was very hard, but the students were happy after cleaning.</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 数回繰り返して視聴した後に, 指導者の質問に過去形を使って答えながら, 答えを確認する。 自分たちの学校で行われている行事について英語での言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせをする。単に答え合わせをするだけでなく, 映像資料の中で ALT が楽しいと言った学校行事を話題にして児童と既習表現を使ってやり取りをするようにする。 <p>T: He talked about ...? Yes, Sports Day. (運動会の教師用カードを提示する。) And ...? (同様に音楽会や地域清掃についても児童から引き出し, 教師用カードを提示する。) And we have? (その他の行事を表す教師用カードを提示する。) School trip, ... festival, Do you like these events? What event do you like? Why? (児童にどの行事が好きかを尋ね, 既習の英語でやり取りをする。)</p>	
5分	<p>[Let's Play] Pointing Game p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う英語を聞いて, その英語が表す行事の絵を誌面から選んで指さす。 	<p>T: Listen to me well and point at the school events I say. 4月 entrance ceremony 5月 field trip</p>	教師用カード (行事) 児童用テキスト

		6月 school trip 7月 swimming meet 8月 summer vacation 9月 music festival 10月 sports day 11月 drama festival 12月 marathon 1月 <i>mochi</i> making festival 2月 farewell party 3月 graduation ceremony	
10分	【Let's Listen 1】 p.52 ・音声を聞いて、登場人物がどんな行事について話しているかを考える。	・登場人物が学校行事について話している音声を聞かせ、誌面に番号を記入するよう言う。 T: Let's listen. Kenta, Hana and Francis are talking about their school events. What events?	デジタル教材 児童用テキスト
	Hi, I'm Kenta. My best memory is my swimming meet. It was exciting. Hello, I'm Hana. My best memory is my school trip. I went to Nara. It was interesting. Hello, I'm Francis. My best memory is my volunteer day. It was very hard, but fun.		
	・指導者の質問に答えながら、答えを確認する。	・答えを確認する。単に答えの確認に終わらず、行事を題材に児童とやり取りをする。質問に答えさせる形で答えを確認する。 T: Let's check the answers. Kenta's best memory is ...? That's right. Swimming meet. Do you like swimming meet? Can you swim fast? Swimming meet is your best memory in this school? ◎学校行事についての話を聞いて分かり、番号を記入している。 <行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	
5分	【Let's Read and Write】 ① p.56 書く文例: My best memory is (<i>Mochi Making Festival</i>). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What is your best memory? Please choose the words from the word box and write them down.	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-1)
3分	・単元終末の活動を知る。 ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・指導者は、自分の小学校時代の思い出を提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲がもてるようにする。 ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 7-Lesson 2 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 2/8時間

目 標 思い出に残る学校行事とその理由を理解したり, 思い出の行事について尋ねたり, 答えたりできる。

準 備 教師用カード (行事), デジタル教材, 児童用テキスト, 児童用カード (行事), 学校行事を紹介する写真やイラスト等, ワークシート (Unit 7-2, 7-9), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いて, 分かる英語を発表する。 言えるところから言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 まずチャンツを聞かせ, どのような英語が聞こえたかを発表させる。単語を児童と確認し, 言えるところから言うように促す。 児童と一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>		
5分	<p>○集中力ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> グループあるいはペアで児童用カード (行事) を1セット用意する。 指導者の言う行事を聞き終えたら, 言われた順にカードを並べる。 	<p>T: Let's play <i>Shuchuryoku</i> Game. Listen to the words and put the picture cards in order.</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う英語を聞いてから, カードを聞いた順に並べるようにする。 初めは sports day, music festival, school trip と3種類程度を聞かせる。慣れてきたら4, 5種類と増やしていく。 教師用カードを使用して答え合わせをする。 児童に何度も行事の言い方を聞かせたり言わせたりするのがねらいである。 	教師用カード (行事) 児童用カード (行事)
13分	<p>【Let's Listen 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*写真を使う場合は, 「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 3人が話す学校行事について聞き, 誌面に番号を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせる前に, 指導者自身の思い出の行事について写真等を見せながら紹介し, 単元終末の活動のイメージをもたせるとともに, 学校行事について尋ねたり, 数名の児童に1番の思い出に残る行事は何かを尋ねたりして, 行事についてやり取りをする。 <p>T: My best memory is sports day. I like sports. Look. This is me. These are my friends. I enjoyed running and dancing with my friends. Our dancing was great. How about you? What is your best memory? School trip? Drama festival? Swimming Meet? Was your school trip fun?</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人が学校行事について話している音声を聞き, どの行事かを考えて□に番号を書くよう指示する。 <p>T: Three children are talking about their school events. What events? Let's listen.</p>	デジタル教材 学校行事を紹介する写真やイラスト等 デジタル教材 児童用テキスト

	<p>No. 1: We enjoyed running and cheering. It was exciting. My best memory is sports day. No. 2: We enjoyed singing and playing the recorder. It was great. My best memory is the music festival. No. 3: We enjoyed walking in the park. It was fun. My best memory is the field trip.</p>		
	<p>・指導者の質問に答えたりやり取りしたりしながら、答えを確認する。</p>	<p>・単に答え合わせをするのではなく、行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。 T: Let's check the answers. No.1 is ...? Sports day, that's right. Is sports day your best memory? What did you do in your sports day? You ran? You danced? Was your dancing great? Was it fun? ◎思い出に残る学校行事についての簡単な話を聞いて理解し、誌面に番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
9分	<p>【Let's Talk】 p.53</p> <p>・先生の質問に答えながら、質問の仕方を知る。 ・周りの友達に好きな学校行事を聞き、名前を誌面に記入する。</p> <p>S1: What's your best memory? S2: My best memory is sports day. How about you? What's your best memory?</p>	<p>・前活動の答え合わせの続きで、行事について児童とやり取りをする。まず、指導者が、好きな学校行事を好きな理由とともに話した上で、数人の児童に尋ねる。 T: You learned about school events. I like the school trip to Nara. We saw the Great Buddha. It was very big. What event do you like? T : What's your best memory? S1: My best memory is sports day. T : What's your best memory? S2: My best memory is the music festival. T : Now it's your turn. Ask your friends about the events and write their names in the box. ・同様に、児童同士で好きな行事を尋ね合って、□に友達の名前を記入するように指示する。 ◎好きな学校行事について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 ② p.56</p> <p>書く文例 : I enjoyed (dancing).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What did you enjoy? Please choose the word from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-2)
5分	<p>○Sounds and Letters (y)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /j/ で始まる単語を見て、発音する。/j/ の音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にyの文字を書く。</p>	<p>・(時間があれば) ジングルを聞かせる。(※1) T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat the jingle. ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /j/. Say the word within five seconds. T: Please write the letter 'y'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-9)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

- ※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。
- ※2 サウンド・テニスとは、学習している音（ここでは/y/）への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音（ここでは /j/）から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音（/j/）から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。（Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。）
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 7-Lesson 3 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 3/8 時間

目 標 学校行事についての話を聞いて内容が分かり、感想を伝え合う。

準 備 教師用カード (行事), 学校行事の写真など, デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-3), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・リズムに気を付けて一緒にチャンツを言う。</p> <p>T: Let's chant together.</p>	デジタル教材
<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>			
8分	<p>OSmall Talk : 冬休みの思い出</p> <p>S1: I enjoyed shopping. S2: You enjoyed shopping. That's good. I enjoyed watching TV. S1: What TV program? S2: I enjoyed <i>Utagassen</i>. S1: Me, too! I like <i>Arashi</i>. How about you? S2: I like</p>	<p>・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは本単元に関連した題材を意図して、冬休みの思い出が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <p>・外国の学校行事について分かったことを線で結ぶ。</p>	<p>T: Listen to Rin, Christina and Mark. They are talking about their school events. Please connect the child, the event and their feeling.</p>	
<p>リン : Hello. I'm Rin from China. My best memory is the basketball match in September. We practiced for it every day. It was very exciting. クリスティーナ : Hello. I'm Christina from the Philippines. My best memory is the English speech contest in December. We study English at school. The contest was great. マーク : Hello. I'm Mark from America. My best memory is the International Festival in June. We danced and played games. It was really fun.</p>			
<p>・指導者の質問に答えたりやり取りしたりしながら、答えを確認する。</p>		<p>・単に答え合わせをするのではなく、行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。</p> <p>T: Now, let's check the answers. Rin is from ...? What country? China? Good. Rin is from China. T: What's her / Rin's best memory? English contest? Basketball match? What event? T: Great. Rin's best memory is the basketball match.</p>	

		<p>Was it fun? Great? Cool? Yes, it was exciting.</p> <p>◎映像を視聴し、世界の学校行事について情報を聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
14分	<p>OLet's Talk</p> <p>・指導者の質問に答える形で、各行事に合う感想を言う。</p> <p>・思い出の学校行事とその時の気持ちを伝え合う。</p> <p>S1: What's your best memory? S2: My best memory is the school trip. It was exciting. What's your best memory?</p>	<p>T: Now look at these cards. (学校行事のカードを見せる) This is a picture of sports day. Was it exciting? Was it fun? This is a picture of the music festival. Was it ...? (続く英語を言うよう促す)</p> <p>T: This is a picture of the school trip. It was ...?</p> <p>Ss: It was fun / exciting / nice.</p> <p>・最初は指導者がそれぞれの行事で感じる気持ちを表す英語を言い、慣れてきたら児童が行事に合う英語を言うようにする。この活動のねらいは、感想の語彙に十分慣れ親しませることである。</p> <p>・ペアになり、それぞれの思い出の学校行事について感想を伝え合うよう言う。</p> <p>◎学校行事について感想を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>教師用カード (行事)</p> <p>学校行事の写真など</p>
5分	<p>【Let's Read and Write】 ③ p.56</p> <p>書く文例: Was it (fun)?</p> <p>Was it (nice)?</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. How was it? Please choose the word from the word box and write it down.</p>	<p>デジタル教材ワークシート (Unit 7-3)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

6年 Unit 7-Lesson 4 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 4/8 時間

目 標 外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解するとともに、運動会について感想などを伝え合う。

準 備 (6年間分の)運動会の写真等, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-4, 7-10), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・リズムに気を付けて一緒にチャンツを言う。</p>	デジタル教材
<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>			
7分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.55</p> <p>・カナダからのALTが、小学校時代に経験した行事について話している映像を視聴し、分かったことを誌面のあいているところにメモをしてもよい。また、指導者の質問に答える形で、分かったことを発表する。</p>	<p>・視聴する前に、誌面にある写真を見て、どのようなことが思い出として語られるかを問いかける。また、デジタル教材で最初の映像を映し、尋ねる。児童に予想させることで視聴したいという意欲を高めるようにする。</p> <p>T: Do you remember this man? Yes, he is Sam. He is from Canada. Let's watch the video and find what school events he enjoyed at his elementary school. Write them in your textbook.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello, I'm Sam. I'm an English teacher now. I went to an elementary school in Canada. Look! At my school we had a book festival. It was fun. We enjoyed reading books. The book festival was fun, so I like books now. Do you like reading books?</p>			
		<p>・単に答え合わせをするのではなく、行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。</p> <p>T: Let's check the answers. This is ...? What's his name? His elementary school is in America? No, in Canada. Good. What event? A book festival. Very good. It was ...? Exciting? Fun? Sam enjoyed? Reading books. Do we have a book festival at our school? Do you like reading books?</p> <p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。<行動観察・振り返りカード点検></p>	

20分	<p>OLet's Talk</p> <p>・写真を見たり指導者の英語を聞いた りして、運動会のことを振り返り、指導 者の質問に答える。この活動を通して、 I enjoyed ~ing. It was ~.という表現に 慣れる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*写真は、「デジタル教材」→ 「教材どうぐばこ」→「ツール」 →「画像読み込み」を活用する とよい。</p> <p>・ペアで、写真を見て、その行事の名前 やその時の気持ちを英語で話す。ペア を替えて何人かと対話する。 S1: I enjoyed Sport Day. I enjoyed ~. It was exciting.</p>	<p>T: Look at these pictures. (児童が過去6年間経験 してきた運動会の時の写真を見せる。)</p> <p>What's this event?</p> <p>Ss: Sports day!</p> <p>T: Yes. This is a picture of dancing. What grade? You were 1年生? Or 2年生?</p> <p>Ss: 何年生? 1年生, 3年生?</p> <p>T: You were the second graders, 2年生. This is S1. You enjoyed Sport Day? It was fun? You enjoyed dancing? It was great? You enjoyed running? It was exciting? You enjoyed cheering? It was wonderful?</p> <p>・運動会の写真を何枚か見せて、学年、写っている 児童の様子、楽しかったか、などについて児童とや り取りをする。そのやり取りの中で、I enjoyed ~. It was fun / exciting 等の言い方を想起できるように する。</p> <p>・なお、学年や種目名については、日本語で言っ てもよいことにする。</p> <p>・同様に、ペア同士でやり取りをするように指示す る。</p> <p>T: Now let's talk in pairs about Sport Day. ◎運動会について、感想を含めて伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>	(6年間分の) 運動会の写真等
5分	<p>[Let's Read and Write] ④ p.56</p> <p>書く文例: I enjoyed (reading books).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、 ワードボックスから言葉を選んで書き 写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What did you enjoy? Please choose the word from the word box and write it down.</p>	ワークシート (Unit 7-4) デジタル教材
5分	<p>OSounds and Letters (z)</p> <p>・(時間があれば) ジングルを1通り聞 く。</p> <p>・誌面にある /z/ で始まる単語を見て、 発音する。その音で始まる単語を制限 時間内に発表しあう。</p> <p>・ワークシートの4線上に z の文字を 書く。</p>	<p>T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle.</p> <p>・サウンド・テニスをすることを告げる</p> <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /z/. Say the word within five seconds.</p> <p>T: Please write the letter 'z'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-10)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカー ドに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 7-Lesson 5 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 5/8時間

目 標 外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、野外学習について感想などを伝え合う。

準 備 行事の写真等、デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit7-5, 7-6)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>		
7分	<p>○Small Talk: 心に残る運動会の思い出とその理由</p> <p>S1: What is your best memory from Sports Day? S2: My best memory is <i>mukade-kyoso</i>. I enjoyed <i>mukade-kyoso</i>. It was fun. S1: <i>Mukadekyoso</i>. Me, too. My best memory is ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは本単元に関連した題材を意図して、運動会が話題である。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。 	
10分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> フランスの男の子が、小学校での思い出を話している映像資料を視聴し、分かったことを誌面の空いているところにメモをしてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 視聴する前に、誌面にある写真を見て、どのようなことが思い出として語られるかを問いかける。また、デジタル教材で最初の映像を映し出して尋ねる。児童に予想させることで視聴したいという意欲を高めるようにする。 <p>T: This is Francis. What is Francis's / his memory? This is an art mu...? Yes, an art museum. Let's watch the video.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Bonjour. I'm Francis. I'm from France. My best memory is the field trip. We went to an art museum. We saw many of the paintings and drew one of the famous paintings. I was good at drawing it. It was fun.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 何度か視聴させ、児童に分かったという達成感をもたせるようにする。 単に答え合わせをするのではなく、行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。 <p>T: Let's check the answers.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答えたりやり取りしたりしながら、分かったことを発表し、答えを確認する。 		

		<p>Francis is from ...? What's Francis's / his memory? Francis / He went to ...? He saw ...? He was good at ...? It was ...?</p> <p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
15分	<p>OLet's Talk</p> <p>・写真を見たり指導者の英語を聞いたりして、校外に出かけた行事や学習について振り返り、指導者の質問に答える。この活動を通して、We went to～. I saw～. It was～. という表現に慣れる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*写真は、「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> </div> <p>・ペアで写真を見て、どこへ行ったか、そこで何を見たか、そのときの気持ちを英語で話す。ペアを替えて繰り返す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1: I went to ... park. I saw <i>ochiba</i> and <i>donguri</i>. It was nice. S2: I went to</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T: Look at these pictures. (児童が過去6年間経験してきた、野外学習の写真を見せて)</p> <p>What's this picture?</p> <p>Ss: 町探検!</p> <p>T: Yes. This is a picture of 町探検. What grade? You were 1年生? 2年生?</p> <p>Ss: 町探検だから、3年生!</p> <p>T: Yes. You were 3年生.</p> <p>This is S1. You went to ...? You saw ...? Was it fun? Interesting?</p> </div> <p>・このように、校外に出かけた行事や学習の写真を何枚か見せて、学年、写っている児童の様子、見たもの、楽しかったか、などについて児童とやり取りをする。そのやり取りの中で、I went to～. I saw～. It was fun / exciting / interesting の言い方を確認できるようにする。</p> <p>・同様に、ペア同士でやり取りをするように指示する。</p> <p>T: Now let's talk in pairs about 野外学習.</p> <p>・場所や施設の名前は、未習語であれば日本語で言ってもよいことにする。既習語であれば、それを全体の場で取り上げ、想起させる。</p> <p>◎野外学習について、その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	行事の写真等
5分	<p>[Let's Read and Write] ⑤ p.56</p> <p>書く文例: We went to the (zoo). We saw (animals).</p> <p>・音声を聞きながら画面にある文を読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheets. Listen to the sentences again and read them. Where did you go? What did you see? Please choose the words from the word box and complete the sentences.</p> <p>※ワークシート (Unit 7-6) では、例文が We saw many animals. となっているが、デジタル教材では、We saw animals. となっている。デジタル教材の音声を聞いて We saw animals. とした後、児童にワークシートの文を読むことに挑戦させる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-5, 7-6)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 7-Lesson 6 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 6/8時間

目 標 外国の学校行事についての話を聞いて内容を理解し、宿泊研修について感想などを伝え合う。

準 備 宿泊研修や修学旅行の写真等、デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 7-11)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材
<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>			
15分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの男の子がサマーキャンプについて話している映像資料を視聴し分かったことを誌面のあいているところにメモをしてもよい。また、指導者の質問に答える形で、分かったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴する前に、誌面にある写真を見て、どのようなことが思い出として語られるかを問いかける。また、デジタル教材で最初の映像を映して、尋ねる。児童に予想させることで視聴したいという意欲を高めるようにする。 <p>T: This is a lake. His name is Mark. What's Mark's memory? Let's watch the video.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello, I'm Mark. My best memory is the summer camp. My brother and I went to an island with other boys and girls. We had a wonderful time. We enjoyed swimming, singing, and dancing together. It was exciting and fun.</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答えたりやり取りしたりしながら、分かったことを発表し、答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何度か視聴させ、児童に分かったという達成感をもたせるようにする。 ・単に答え合わせをするのではなく、行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。 <p>T: Let's check the answers. Mark is from ...? What's Mark's / his memory? Mark / He went to ...? With ...? He enjoyed swi...? It was ...?</p> <p>◎映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取り、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>*写真は、「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>
17分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見たり指導者の英語を聞いたりして、宿泊行事や学習について振り返り、指導者による質問に答える。この活 	<p>T: Look at these pictures. (児童が過去に経験してきた、宿泊研修等の写真を見せて) What's this event? Ss: School trip!</p>	宿泊研修や修学旅行の写真等

	<p>動を通して, I went to ~. I saw ~. It was ~. という表現に慣れ親しむ。</p> <p>・写真を見て, どこへ行ったか, そこで何を見たか, そのときの気持ちを英語で話す。</p> <p>S1: We went to ... <i>shima</i>. I saw the beautiful sea. I enjoyed the camp fire. It was fun.</p> <p>S2: I enjoyed the camp fire, too. It was fun. We went to</p>	<p>T : Yes. This is a picture of the school trip. What grade? You were 5年生? 6年生? Ss: 5年生!</p> <p>T : Yes. You were 5年生. This is S1. You went to ...? You saw ...? It was fun? Interesting?</p> <p>・このように, 宿泊研修の写真は何枚か見せて, 学年, 写っている児童の様子, 見たこと, 楽しかったか, などについて児童とやり取りをする。そのやり取りの中で, I went to ~. I saw ~. I enjoyed ~. It was fun / exciting / interesting. の言い方を確認できるようにする。</p> <p>T : Now let's talk in pairs about 宿泊研修. ・場所や施設の名前は, 未習語であれば日本語で言ってもよいことにする。既習語であれば, それを全体の場で取り上げ, 想起させる。 ◎宿泊研修について, その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>OSounds and Letters (ch)</p> <p>・(時間があれば) ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /tʃ/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの4線の上に ch の文字を書く。</p>	<p>T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle.</p> <p>・サウンド・テニスをすることを告げる</p> <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /tʃ/. Say the word within five seconds.</p> <p>T: Please write the letters 'ch'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-11)
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 7-Lesson 7 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 7/8 時間

目 標 小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-1~7-8), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
3分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。</p>	デジタル教材
	<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends.</p> <p>Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends.</p> <p>Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends.</p> <p>Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends.</p> <p>I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>		
6分	<p>OSmall Talk : 小学校の思い出</p> <p>S1: What is your best memory in 5年生 and 6年生? S2: My best memory is the school trip. S1: School trip. Sounds nice. Why? S2: It was fun. How about you? What is your best memory in 5年生 and 6年生?</p>	<p>・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは本単元に関連した題材を意図して、小学校の思い出が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>OLet's Talk</p> <p>・これまでの活動を生かし、ペアで実際に思い出に関する文を言い合い、どのような内容を伝えるか、どのように伝えるか(順番)についてアドバイスをし合う。</p>	<p>・みんなに伝えたい小学校生活でいちばん思い出に残ることを決め、その後ペア同士で伝え合うように言う。</p> <p>T: Choose the best memory from your school events. Talk with your partner about your best memory.</p>	
8分	<p>【Let's Read and Write】 ⑦ p.56</p> <p>・ワークシートを見ながら、ワークシートにある英文が読まれる音声を聞いて、後について言う。</p> <p>① My best memory is my school trip. ② I enjoyed dancing. It was nice. ③ Was it fun? Was it nice? ④ I enjoyed reading books. ⑤ We went to the zoo. We saw animals. ⑥ We went to Nara. We saw shrines.</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheets. Listen to the sentences again and read them. Where did you go? What did you see? Please choose the words from the word box and complete the sentences.</p> <p>※ワークシート (Unit 7-7) では、We saw many animals. となっていること、また、We went to Nara. We saw shrines. は記載されていないことに留意する。児童の実態に応じて、many を入れたままにしてもよいし、We went to Nara. We saw shrines. まで扱ってもよい。</p> <p>・音声の後について、ワークシートの文字を指で追</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-7)
	<p>・ペアで文字を指で追いつながら読む。</p>		

		<p>いながら文を読む（言う）ように指示する。音声なしで、ペアで文字を指で追いながら読むよう指示する。</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
15分	<p>【Activity】 p.56</p> <p>・誌面 p.56 のポスターや、これまでのワークシートに書き写した文等を参考に思い出のアルバムを作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Hi, I'm Yumi. My best memory is my school trip. We went to the mountains. We enjoyed hiking. It was fun.</p> </div>	<p>・ワークシートの文を参考に思い出のアルバムを作成することを告げる。自分の思い出として伝えたい内容を考え、ワークシート（Unit 7-8）に書くように言う。その際、ワークシート（Unit 7-1~7-7）にある語を参考にさせる。</p> <p>T: Let's make our own albums. Look at your worksheets and the textbook. They are good hints for you.</p> <p>◎人に伝えるという目的をもって、自分の思い出について書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用テキスト ワークシート （Unit 7-1~7-8）</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

6年 Unit 7-Lesson 8 単元名 My Best Memory 小学校生活・思い出 8/8 時間

目 標 小学校6年間の学校生活で1番心に残っている思い出を、理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。
短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-1~7-8, 4線:清書用), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What's your best memory? p.51</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 	デジタル教材
	<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, School Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory. I enjoyed playing and singing with my friends. Tell me the best memory from your school life. Sports Day, Sports Day, that's my best memory. I enjoyed running and jumping with my friends. Tell me the best memory from your school life. Drama Festival, Drama Festival, that's my best memory. I enjoyed doing a drama with my friends. I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>		
30分	<p>【Activity】 p.56</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物 Yumi の思い出を聞いて理解し、自分の発表内容の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> Activity で登場人物の Yumi が自分の思い出を話している音声を聞かせ、思い出アルバムの参考にするよう言う。 <p>T: Let's listen to Yumi. This is a good hint for your album.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Hi, I'm Yumi. My best memory is my school trip. We went to the mountains. We enjoyed hiking. It was fun.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 前時の続きで、ワークシートの文を参考に思い出アルバムを完成するように指示する。 <p>T: Let's make our own albums. Look at your worksheets and the textbook. They are good hints.</p> <p>◎人に伝えるという目的をもち、自分の思い出について発表している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <ul style="list-style-type: none"> 清書用の紙を配り、それらを集めてアルバムにすることを伝える。 <p>◎人に伝えるという目的をもち、自分の思い出を清書している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-1~7-8)
	<ul style="list-style-type: none"> 前時に書いた思い出アルバムを自分で読んでみる。 前時に書いた思い出アルバムを見せながら、ペアで伝え合う。 前時に書いた思い出アルバムを見せながら、グループで伝え合う。 最初のペアにもどり、相手の思い出アルバムに感想を書く。 思い出を清書用の用紙に書く。 		ワークシート (4線)
10分	<p>【STORY TIME】 p.57</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材からライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読みながら、ライム(押韻)を通して子音の復習と母音の気付きを高める。ここで取り扱うライム(押韻)は /-ám/。 	デジタル教材 児童用テキスト

	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の後に続いて言う。 ・ライム（押韻）している単語だけを読み出す。 	<p>T: Listen to the story. Next repeat after the story. Finally repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かず : Wow, a long line! 女の子 : People want to see the nine pines at the shrine. かず : The famous nine pines? 女の子 : Yes. We have time. Let's get in the line. The famous nine pines at the shrine.</p> </div> <p>◎短い話を聞いて内容を理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎英語の音を意識して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年—Unit 8 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業

1. 単元目標

- ・将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○ What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.

○ be, luck, future, 職業 (artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper), chalk

[既出] 職業, 動作, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ, 動物, 飲食物, 状態・気持ち, 身の回りの物, 教科

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆職業を表す語を聞いて分かる。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面を見て、知っている職業名を発表し、職業の言い方を知る。 ・映像を見て、分かったことを誌面の□に書く。 <p>【Let's Play】 Pointing Game p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアでさし示す。 ・指導者のヒントを聞いたりジェスチャーを見たりして、それがどんな職業かを言う。 <p>【Let's Read and Write 2】 ① p.64</p> <p>書く文例 : I want to be (a pilot).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ (言った) 後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	◎職業を表す語を聞いて、それに合う絵をさし示している。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	<p>◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、分かったことを誌面に記入する。 	◎職業についてまとまった話を聞いて理解し、分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

	<p>○先生の夢を知ろう。 ・指導者の紹介を聞いたり、指導者の質問に答えたりする。</p> <p>○ペアで伝え合おう。 ・ペアで自分が就きたい職業を言い合う。</p>	<p>◎就きたい職業を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 ◆就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>○Small Talk : 就きたい職業とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58 【Let's Watch and Think 3】 p.60 ・映像を視聴して分かったことを誌面の表に記入する。</p> <p>○Let's Talk ・どんな職業に就きたいか、友達に尋ねたり答えたりする。</p>	<p>◎将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎就きたい職業とその理由について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to be? p.58 【Let's Listen】 p.61 ・音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。</p> <p>○3ヒント・カルタ</p> <p>○Let's Talk ・指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りしたりする。 ・得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、ペアで話す。</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ② p.64 書く文例 : What do you want to be? I am good at (dancing). I am good at (playing soccer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆就きたい職業について、理由を含め伝え合う。 ◆就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。</p> <p>○Small Talk : なりたい職業とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p> <p>○先生の夢をもっと知ろう。 ・将来の夢とその理由について、指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りをしたりする。</p> <p>【Activity】 p.61 ・ペアになって、将来どんな職業に就きたいかを尋ね合う。分かったことを誌面に記入する。</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ③ p.64 書く文例 : I want to be a (singer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (sh)</p>	<p>◎就きたい職業について、理由を含め伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6	<p>◆例を参考にして、自分の夢について書く。</p> <p>【Let's Read and Write 1】 p.62</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読む。 ・前時までに書き写した文も参考にしながら、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどに注意してスピーチ原稿を書く。 <p>○Let's Read</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中でスピーチ原稿を回し読み、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどについて正しく書けているか確認し合う。 <p>○Sounds and Letters (th)</p>	<p>◎例を参考にして、自分の夢について書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。</p> <p>◆例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。</p> <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた思い出を自分で読んでみる。 ・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。 <p>○Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者から配布される清書用の紙に、スピーチ原稿を清書する。 ・スピーチ内容と合う絵も描き入れる。 	<p>◎下書きや例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。</p> <p>○Let's Read</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者から配布されたクラスの中の誰かのスピーチ原稿を読み、本人だと思ふ人へ戻す。 ・内容について、コメントやアドバイスを書く。 <p>【Let's Watch and Think 4】 p.64</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、働く人たちの話から、分かったことや感じたことを発表し合う。 <p>【STORY TIME】 p.65</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎将来の夢について書かれた原稿を読み、書き手を見つけている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 8—Lesson 1 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 1/8 時間

目 標 職業を表す語を聞いて分かる。

準 備 教師用カード (国旗, 職業), デジタル教材, 児童用テキスト, 写真やイラストなどの視覚資料, ワークシート (Unit 8-1), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由</p> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to Hawaii. S1: You want to go to Hawaii. That sounds nice. Why? S2: I like swimming. And I want to see the beautiful sea. How about you? Where do you want to go? …</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童にも挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者が質問して, ペアで対話をさせる。ここでは, これまでの復習を意図して, 行きたい国とその理由が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	教師用カード (国旗)
15分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59</p> <p>・誌面を見て, 知っている職業名を発表し, 職業の言い方を知る。</p> <p>・映像を見て, 分かったことを□に書く。</p>	<p>・映像を視聴させる前に, 誌面を見せながら, 英語で知っている職業名を発表させる。文字を頼りに読んでみようとする児童がいれば称賛し, なぜそのように読もうと思ったのかを聞いてみることで, 文字の音を意識させることにつながる。</p> <p>・児童の答えやつぶやきを拾いながら, 職業の言い方を発音して聞かせたり, デジタル教材を使って聞かせたりして出会わせるようにする。</p> <p>・映像を視聴させる。児童の実態に応じて数回視聴させ, 児童に分かったという達成感をもたせるようにする。</p> <p>・単なる聞き取りの練習にならないようにするために, 音声を聞かせる前に内容を予想させるとよい。例えば, 登場人物の名前 (Anastasia, Muhammad) だけを伝えておき, Where is Anastasia from? Can you guess? What is Anastasia's dream? Can you guess? などと問いかけることができる。</p> <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
<p>Hello. My name is Anastasia. I'm from Russia. I want to be a singer in the future. It's cool! I sometimes go to a concert hall. It's near my house. I enjoy singing songs and listening to music with my friends!</p> <p>Hello. My name is Muhammad. I'm from Egypt. I want to be a pilot. I want to visit many countries around the world! I'm good at speaking English. I want to talk with the people around the world. Thank you.</p>			
	<p>・質問に答える形で話の内容を確認する。また, 質問に答えて, 自分の気持ちや考えを言う。</p>	<p>・単なる答えの確認にならないよう, 児童と職業を題材にやり取りをする。また, 指導者の質問に答える形で答えを確認させる。</p>	
<p>T: Where is she from? Canada? Great. Anastasia is from Russia. What's Anastasia's dream? Yes, she wants to be a singer. What's your dream? What do you want to be? Your dream, a singer? Do you want to be a singer? She enjoys ...? Singing songs? Yes, that's right. Do you like singing songs? Me, too. I like singing songs, too. And one more. She enjoys ...? Good. Listening to music. With...? Yes, with her / Anastasia's friends. Do you like listening to music? Me? Yes, I like listening to music.</p>			

10分	<p>【Let's Play】 Pointing Game p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアでさし示す。 ・指導者のヒントを聞いたリジェスチャーを見たりして、それがどんな職業かを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にポインティング・ゲームをして、進め方を理解させるようにする。 ・指導者が言う職業名を繰り返し、誌面にある絵をさし示すよう指示する。 ・最初は単語だけで言い、次に I want to be a～. と文で言うようにする。デジタル教材で音声を聞かせてもよい。 ・本活動は、第2時にも位置付けられている。児童の実態によっては、第2時で I want to be a～. と文で言わせることも考えられる。 <p>T: I want to be a ...singer!</p> <p>職業名 : singer, vet, teacher, bus driver, florist, cabin attendant, dentist, baker, doctor, cook, soccer player, artist, zoo keeper, comedian, fire fighter, farmer, nurse, pilot, astronaut など</p> <p>◎職業を表す語を聞いて、それに合う絵をさし示している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティング・ゲームの続きで、誌面にある各職業のイラストにあるものやジェスチャーをヒントとして言う。その職業は何かを尋ねる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント例</p> <p>pilot: a blue cap, air plane, in the sky</p> <p>baseball player: No.3, a red cap, a bat</p> <p>comedian: microphone, two persons, a stage</p> <p>artist: many colors, a paint brush, a picture</p> <p>fire fighter: water, fire, a uniform など。</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ① p.64</p> <p>書く文例 : I want to be (a pilot).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do you want to be? Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 8-1)
2分	<p>○単元終末の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、将来の夢や就きたい職業についてスピーチすることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*写真は、「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、自分自身の将来の夢やしたいことについて書いたものを提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 <p>※写真やイラストなど、視覚資料を用意するとよい。</p>	写真やイラスト などの視覚資料
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 2 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 2/8 時間

目 標 職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。

準 備 教師用カード (職業), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 対話例 : (第1時と同様)</p>	<p>・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは、これまでの復習を意図して、行きたい国とその理由が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。</p>	
5分	<p>【Let's Chant】What do you want to be? p.58</p>	<p>・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。</p>	デジタル教材
<p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p>			
10分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.60 1回目 Laksh 2回目 Christina ・映像を見て、分かったことを□に書く。</p>	<p>・Let's Watch and Think 2 は第2時、Let's Watch and Think 3 は第3時に行く。どちらも、外国の子供の夢を聞いて分かったことを書くという活動である。</p> <p>・第1時のLet's Watch and Think 1で行った指導と同様、音声を聞かせる前に内容を予想させる。</p> <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. My name is Laksh. I'm from India. I want to be a movie director in the future. I like comedy movies. Many people in India like movies. Fantastic dream? See you!</p> <p>Hello. My name is Christina. I'm from the Philippines. I want to be a fruit shop owner. Our bananas are so delicious. Please try some! Thank you.</p>			
		◎職業についてまとまった話を聞いて理解し、分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
15分	<p>○先生の夢を知ろう。</p> <p>・指導者の紹介を聞いたり、指導者の質問に答えたりする。</p>	<p>・指導者は、自分自身が6年生の時に就きたかった職業とこれからやってみたい職業を、黒板に年齢などの数字を書きながら紹介する。一方的に紹介をするのではなく、将来の夢を題材に児童とやり取りをするようにする。</p>	デジタル教材 教師用カード (職業)

	<p>○ペアで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自分が就きたい職業を言い合おう。 	<p>T: Listen to me. About my dream.</p> <p>Now I'm ... years old. (黒板に年齢の数字を書く)</p> <p>I'm a teacher. (数字の下に「教師」のカードを掲示)</p> <p>I was 12 years old. (黒板に12と書く)</p> <p>My dream was a singer. (「12」の下に「歌手」のカードを掲示)</p> <p>In the future, I want to be a farmer. (「歌手」カードの隣に「農場主」のカードを掲示)</p> <p>What do you want to be?</p> <p>Do you want to be a singer / teacher / farmer?</p> <p>(黒板に掲示したカードを示しながら)</p> <p>(数名の児童に尋ね、答えさせる)</p> <p>You want to be a teacher! Great.</p> <p>Not a farmer. What do you want to be?</p> <p>(児童の答えやつぶやきを拾いながら)</p> <p>You want to be a I want to be a farmer.</p> <p>You want to be a I want to be a farmer.</p> <p>繰り返しこれらの表現を聞かせ、児童が I want to be ~. と答えられるようにする。</p> <p>I want to be a farmer. Why?</p> <p>I like nature. I like cooking.</p> <p>I want to cook my vegetables.</p> <p>・ペアになり、就きたい職業を言い合うよう伝える。</p> <p>◎就きたい職業を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 3 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 3/8 時間
目 標 将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 就きたい職業とその理由について伝え合う。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10分	OSmall Talk: 就きたい職業とその理由 S1: I want to be a nurse. S2: You want to be a nurse. Good. Why? S1: My mother is a nurse. How about you? …	・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは、本単元との関連を意図して、就きたい職業とその理由が話題である。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。	
5分	[Let's Chant] What do you want to be? p.58	・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
<p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p>			
15分	[Let's Watch and Think 3] p.60 ・映像を視聴して分かったことを口に書く。	・指導の仕方や留意点については、第2時の Let's Watch and Think 2 と同様。 ・映像視聴の流れで、次の児童とのやり取りにつなげる。	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. My name is Rin. I live in China. I want to be a teacher. I like children. I'm good at singing. I want to sing with children. Thank you. What do you want to be, Francis? Bonjour. I'm happy to meet you. My name is Francis. I live in France. I want to be an artist. I love pictures. I'm good at drawing pictures. My father is an artist. His pictures are great. Good dream? Thank you. Everyone, what do you want to be?</p>			
		◎将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉	
10分	OLet's Talk ・どんな職業に就きたいか、友達に尋ねたり答えたりする。 S1: What do you want to be? S2: I want to be a cartoonist.	・映像教材の問いかけに答える形で、児童とやり取りをし、その流れで児童同士でやり取りさせる。 T: Hmm... I'm a teacher now, and I want to be a farmer in the future. I want to live in beautiful nature.	

	<p>S1: Cartoonist. Sounds nice! S1: What do you want to be? S2: I want to be a soccer player. S1: Nice dream!</p>	<p>T: How about you? What do you want to be? S3: I want to be T : Oh, you want to be Nice dream! How about you, S4? S4: I want to be T : Sounds nice! How about you, S5? Class, let's ask S5, "What ...?" "What do you ...?" Ss: What do you want to be? S3: I want to be ... T : Now, let's talk in pairs about your dream. ◎就きたい職業とその理由について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 4 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 4/8時間

目 標 得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。

準 備 教師用カード（職業）、デジタル教材、児童用テキスト、児童用カード（職業）、ワークシート（Unit 8-2, 8-3）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
3分	【Let's Listen】 What do you want to be? p.58	・言えるところを言わせ、児童と一緒に言う。	デジタル教材
<p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p>			
10分	【Let's Listen】 p.61 ・音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。	・登場人物がどんな夢をもっているかを予想させてから聞かせるなど、目的をもって聞くことができるようにする。 ・3人の登場人物が将来の夢とその理由などを話している音声を聞かせ、分かったことを表に書かせる。 T: Let's listen to the talk.	デジタル教材 児童用テキスト
<p>けんた： What do you want to be, Aoi? あおい： I want to be a pianist. けんた： A pianist? Why? あおい： I can play the piano well. I want to have a piano concert in my town. けんた： That's nice! How about you, Satoshi? What do you want to be? さとし： Well, you know I like trains. I want to be a train conductor in the future. あおい： Wow! That sounds interesting. How about you, Kenta? What do you want to be? けんた： I want to be a professional baseball player. あおい： Oh, really? Why? けんた： I like sports. I like Ichiro, too. I want to be a baseball player like him. あおい： Sounds nice! さとし： Good luck, Kenta! けんた： Good luck to you, too!</p>			
		・登場人物が入れ替わり対話を進めているため、誰の話であるかが分かりにくい場合、音声を適宜止めるなどする。	
10分	○3ヒント・カルタ	T : Are you ready for <i>Karuta</i> game? Ss: Yes!	教師用カード（職業） 児童用カード（職業）
<p>3ヒント・カルタの進め方 ・児童4人ほどでグループになり、机に児童用カード（職業）1セットを並べ、周りに座る。 ・全員で指導者に、What do you want to be? と尋ねる。指導者は、ある職業に就きたい理由を、I like～. I can～. I'm good at～. で言う。それを聞いて、児童は該当する職業のカードを取る。「3つ全ての理由を聞いてからカルタを取る」などのルールを設定する。2回目、3回目はカード裏面（英単語だけのもの）を使用し、段階的に文字に慣れていくようにする。</p>			

<p>ヒント例 ①</p> <p>T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like cooking. I can cook curry. I'm good at cooking <i>miso</i> soup, too. Ss: A cook? T : That's right!</p>	<p>ヒント例 ②</p> <p>T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like arts and crafts. I can draw pictures. I am good at painting pictures, too! Ss: An artist? T : That's right!</p>	<p>ヒント例 ③</p> <p>T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like vegetables. I can tell vegetables' names. I am good at cooking salad. I want to sell my vegetables. Ss: A farmer? T : That's right!</p>	
12分	<p>OLet's Talk</p> <p>・指導者の紹介を聞いたり, 指導者とやり取りしたりする。</p> <p>・得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことについて, ペアで話す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S1: I can play tennis. I'm good at tennis. I can't swim. I'm not good at swimming. How about you, S2? S2: I can cook <i>okonomiyaki</i>. I'm good at cooking. I can't play the piano. I'm not good at music. S1: I see. Thank you.</p> </div> <p>・ペアを替えて, 複数回対話をする。</p>	<p>・指導者は, 得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことを, 教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく, 児童がそのことをできるかどうか, 得意かどうかなどを尋ね, やり取りしながら紹介する。</p> <p>・その流れで, 次に児童同士でやり取りさせる。児童同士の対話の合間には, 言いたかったけれど言えなかったことはないか尋ねたり, それをどのように言えばよいかグループで話し合わせたりして, より詳しく伝え合うための表現を全体に広める。</p> <p>T : I can play basketball. I'm good at shooting. How about you, S1? Can you play basketball? S1: Yes, I can. T : That's nice. Are you good at basketball? S1: Yes! T : That's great. Then let's talk in pairs.</p> <p>※対話の前に, 対話する相手の名前をプリントなどに書き, 相手の得意なことやできること, 不得意なことやできないことを予想させるなどすると, 聞き手が目的をもって対話に臨むことができる。その際, 選択肢を与えて○を付けさせるなど, 簡易な方法で予想できるように工夫するとよい。</p> <p>◎得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことについて, 伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	教師用カード (職業)
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ②</p> <p>p.64</p> <p>書く文例 : What do you want to be? I am good at (dancing). I am good at (playing soccer).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheets. Listen to the sentences again and read them. What do you want to be? What are you good at? Please choose the words from the word box and write them down.</p>	デジタル教材, ワークシート (Unit 8-2, 8-3)
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 5 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 5/8 時間
目 標 就きたい職業について, 理由を含め伝え合う。 就きたい職業について, 理由を含め伝え合おうとする。
準 備 教師用カード(職業), 児童用テキスト, デジタル教材, 将来の夢を紹介するのに必要な写真等, ワークシート (Unit 8-4, 8-6), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	OSmall Talk : になりたい職業とその理由 S1: What do you want to be? S2: I want to be a tennis player. S1: You want to be a tennis player. Sounds nice. Why? S2: I like Nishikori Kei. How about you? What do you want to be?	・指導者が質問をして, ペアで対話をさせる。ここでは, 本単元との関連を意図して, 就きたい職業とその理由が話題である。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。	
4分	【Let's Chant】 What do you want to be? p.58 What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.	・リズム気を付けて, 一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
7分	○先生の夢をもっと知ろう。 ・将来の夢とその理由について, 指導者の紹介を聞いたり, 指導者とやり取りしたりする。 *写真は, 「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。	・指導者は, 第2時で少し紹介した将来の夢とその理由をもっと膨らませ, 教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく, 児童にどのような職業に就きたいか, その理由などを尋ねながら紹介する。 T: I want to be a farmer, and I want to live in nature. I like nature. I like cooking. I want to cook my vegetables. How about you, S3? What do you want to be? ... ・児童とのやり取りから, 「理由」に焦点を当て, 児童が伝えたいと思っている表現について, 全体で学び合えるようにする。	教師用カード (職業) 将来の夢を紹介するのに必要な写真等
10分	【Activity】 p.61 ・ペアになって, 将来どんな職業に就きたいかを探ね合う。分かったことを誌面の□に記入する。 S4: Hi, S5! What do you want to be? S5: Hi, S4! I want to be a bus driver. S4: Sounds good. Why? S5: I want to go to many places.	・意欲的に取り組めるように, 学級で人気が高いと思われる職業ベスト3を予想してからインタビューを始めさせたり, 活動後にインタビュー結果を報告させたりするとよい。 ・インタビューではあるが, 就きたい職業だけを尋ね合うのではなく, 理由を聞いたり, 感想を述べたりなど, これまでの対話活動で大切にしてきた「対話を続けること」「対話を楽しむこと」を, 本活動で	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>S4: I see.</p> <p>S5: What do you want to be?</p> <p>S4: I want to be a nurse.</p> <p>S5: Fantastic! Why?</p> <p>S4: I want to help sick people.</p> <p>S5: That's nice! Good luck!</p> <p>S4: Good luck to you, too!</p>	<p>も大切にしよう伝える。</p> <p>◎就きたい職業について、理由を含め伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ③ p.64</p> <p>書く文例 : I want to be a (singer).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do you want to be? Please choose the word(s) from the word box and write a sentence. Please also look at Worksheet Unit 8-1.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 8-4)
5分	<p>OSounds and Letters (sh)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /ʃ/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p> <p>・ワークシートの4線の上に sh の文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。(※1)</p> <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Please repeat after the jingle.</p> <p>・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。</p> <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /ʃ/.</p> <p>Now, say the words.</p> <p>・最初是指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。</p> <p>・ワークシートの4線の上に sh の文字を書くよう指示する。</p> <p>T: Please write the letter 'sh'.</p>	デジタル教材, 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-6)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

- ※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。
- ※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは /ʃ/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは /ʃ/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/ʃ/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! など指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 8—Lesson 6 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 6/8 時間

目 標 例を参考にして、自分の夢について書く。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Uni 8-1~8-5, 8-7)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
20分	<p>【Let's Read and Write 1】 p.62</p> <p>・誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>My dream I want to be an astronaut. I like watching the stars. I study hard. What do you want to be? Thank you.</p> <p style="text-align: right;">Riko</p> </div> <p>・前時までに書き写した文も参考にしながら、次の点に注意してスピーチ原稿を書き進める。</p> <p>* 4線上にていねいに書く。</p> <p>* 大文字と小文字に気を付けて書く。</p> <p>* スペース (単語と単語の間) に気を付けて書く。</p> <p>* ピリオドや符号を忘れずに書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童が書く原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	<p>・デジタル教材で登場人物 Riko のスピーチを聞かせる。次に、誌面 p.62 の文字を指で追いながら聞かせる。</p> <p>・ワークシートに書きためた英文や、誌面に掲載されている職業名を表す語などを参考に、スピーチ原稿を書かせる。</p> <p>T: Look at your worksheets. Write about your dream. You can find good hints on your worksheets.</p> <p>◎例を参考にして、自分の夢について書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-1~8-5)
15分	<p>○Let's Read</p> <p>・班の中でスピーチ原稿を回し読み、次の点について正しく書けているか確認し合う。</p> <p>* 4線上にていねいに書けているか。</p> <p>* 単語の綴りは合っているか。</p> <p>* 大文字と小文字に気を付けて書けているか。</p> <p>* スペース (単語と単語の間) に気を付けて書けているか。</p> <p>* ピリオドや符号を忘れていないか。</p>	<p>T: Look at your worksheet. Let's read the sentences. Let's read your friends' speeches.</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童が清書する原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	ワークシート (Unit 8-5)
5分	<p>○Sounds and Letters (th)</p> <p>・ジングルを1通り聞く。</p> <p>・誌面にある /θ/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。</p>	<p>・ジングルを1通り聞かせる (時間があれば)。</p> <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat the words.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-7)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの4線上に th の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをするを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /θ/.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は指導者と児童全員で行い，児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり，制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に th の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letters, 'th'.</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，カードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 7 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 7/8 時間
目 標 例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。 例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 8-5 : 前時に書いたワークシート, 4線 : 清書用), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
20分	<p>OLet's Talk</p> <p>・前時に書いた将来の夢を自分で読んでみる。</p> <p>・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>児童の原稿例</p> <p>I want to be a vet.</p> <p>I like animals.</p> <p>I want to help sick animals.</p> <p>Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>聞いた後のコメント例</p> <p>S1: You want to be a vet. That's good. What animals do you like?</p> <p>S2: I like dogs.</p> <p>S1: You like dogs. I see. Do you have a dog? ...</p> </div>	<p>・できる限り全員のスピーチが聞けるようにする。</p> <p>・学級の数によっては、グループではなく、学級全体の前で発表させてもよい。</p> <p>・原稿はもってもよいが、話すときは聞き手の方を見るよう指導し、原稿を読む活動にならないようにする。</p> <p>・次時では、クラスメートの原稿を読んで誰の原稿か当てるという活動を行う。そのため、この段階では名前を書かないように指示する。</p>	前時に書いたワークシート (Unit 8-5)
20分	<p>OLet's Write</p> <p>・ワークシート (4線) に、スピーチ原稿を清書する。</p> <p>・スピーチ内容と合う絵も描き入れる。</p>	<p>・次時に行う Let's Read のために、自分の名前は書かないよう指示する。</p> <p>・どの児童も共通して書く部分については、なぞり書きができるようにあらかじめ薄文字で書かれたものも準備するなど、児童の実態に応じて個別の支援をするとよい。</p> <p>・清書したものを回収する。</p> <p>◎下書きや例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (4線 : 清書用)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 8 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 8/8 時間

目 標 将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。

準 備 児童用テキスト、デジタル教材、ワークシート（前時に清書したスピーチ原稿）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
14分	<p>OLet's Read</p> <p>・指導者から配布されたクラスの中の誰かのスピーチ原稿を読む。</p> <p>・内容について、コメントやアドバイスを書く。（英語でも日本語でもよい）</p> <p>・誰のスピーチ原稿なのかを考え、やり取りしながら本人だと思ふ人へ戻す。</p> <p>S1: Hello, S2. Is this your speech (draft)? S2: Yes! (受け取って) Thank you for your comment!</p> <p>S1: Hello, S2. Is this your speech (draft)? S2: No. S1: Oh, sorry.</p>	<p>・清書したスピーチ原稿を集め、本人の手元に自分の原稿が戻らないよう、児童の原稿を無作為に配布する。</p> <p>・配布した原稿を読み、その内容から誰のものかを予想させ、本人だと思ふ人に渡すように指示する。</p> <p>・最終的には、再度全員の原稿を集め、クラスの仲間の夢が詰まった「あこがれガイドブック」をつくり、後日、児童全員に渡すとよい。また、教室掲示として使うこともできる。</p> <p>・本活動が終わったら、名前を書かせてから提出させる。</p> <p>◎将来の夢について書かれた原稿を読み、書き手を見つけている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	ワークシート （前時に清書したスピーチ原稿）またはそのコピー
15分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.64</p> <p>・映像を見て、働く人たちの話から、分かったことや感じたことを発表し合う。</p>	<p>・本活動は単元終末の第8時に位置付けられている。第7時までは、児童自身を含め子供たちの夢を話題にしてきたが、本活動では、大人も夢をもって日々生きていることを子供たちに理解させる。</p> <p>・聞き取らせる英文には未習語も使われているが、6年生の終盤の「聞くこと」の言語活動であるため、児童には「どこまで聞き取れるかな」「ペア（グループ）のみinnで、分かったことを交流し合い、3人の大人の夢を理解しよう」などと呼びかけ、チャレンジする気持ちをもって聞かせるようにする。児童の「なんとなく分かった」という気持ちを大切に、指導者が全文の意味を解説するなどということがないよう留意する。また、難しい語彙等が含まれているので、今は分からなくても、中学校で英語を学び、卒業するときにはすべて分かるようになっていると中学校での外国語学習に期待する気持ちを育てることが大切である。</p> <p>・聞いて理解できたかどうかを確認するだけでなく、働くことの喜びや生きることの目的を考えさせるなど、キャリア教育の一環として本活動を活用することもできる。道徳や特別活動と関連付けて単元計画を立てるとよい。</p> <p>T: What are they? What do you think about them?</p>	デジタル教材

		<p>なかつかさん（浅草仲見世通りのお菓子屋さん） インタビュアー：Oh, Japanese sweets. Beautiful! なかつか：Thank you. Try one, please. インタビュアー：Good. How much? なかつか：370 yen. インタビュアー：Is this OK?（千円札を出して） なかつか：Just a minute. Here you are. インタビュアー：Thank you. I really like this store. なかつか：Thank you. Have a nice time.</p> <p>平恒信さん（人力車「えびす屋」さん） 平：Where would you like to go? インタビュアー：（地図を見ながら）I want to see traditional and modern Japan. 平：OK. Let's go around old streets, riverside and you can also see Tokyo Skytree. インタビュアー：That sounds like fun. 平：Shall we go? インタビュアー：Yes. I want to take a lot of pictures. 平：OK.</p> <p>柳亭こみちさん（落語家） インタビュアー：So, you are a “<i>rakugo-ka</i>”. Why? こみち：I want to see happy faces. インタビュアー：Happy faces! How nice! こみち：Many children come to <i>rakugo</i>. Some do not speak Japanese, but they look carefully, listen carefully and enjoy <i>rakugo</i>. They smile, they laugh. インタビュアー：So, you mean, we can communicate by smiles. こみち：Exactly.</p>	
10分	<p>【STORY TIME】 p.65</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 音声のあとに続いて言う。 ライム（押韻）している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム（押韻）を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム（押韻）は /-ɛɪk/。 <p>T: Listen to the rhyme. Repeat after that.</p> <p>Repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>My father is a baker. I want to be a baker, too. I want to bake bread. I want to make cakes. You can enjoy shakes at my shop, too. Bake bread and make cakes and shakes.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
4分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

1. 単元目標

- ・中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].
 - member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale
- [既出] 動作, 身の回りの物, スポーツ, 職業, 日課, 曜日, 状態・気持ち, 行事, 教科など

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>○Small Talk : (話題は自分たちで選ぶ)</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.66, 67</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、感想や分かったことを発表する。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が、中学校生活 (部活動) について話すのを聞き、「部員数」「練習日」を聞き取って、誌面に記入する。 <p>【Let's Listen 1】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が、中学校で入りたい部活動について、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。 	<p>◎中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎入りたい部活動についての話を聞いて必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
2	<p>◆中学校生活の学校行事についての話を聞いておおよその内容が分かり、入りたい部活動を言うことができる。</p> <p>○どんな部活動があるか知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある部活動を発表し、部活動の言い方を知る。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、中学校で入りたい部活動を伝え合う。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が学校行事について話す映像を見て、聞き取れた語を発表する。 <p>○キーワード・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 2】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が、中学校の行事で楽しみにしているものについて、その理由も 	<p>◎入りたい部活動を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎学校行事についての話を聞いておおよその内容が分かり、誌面に記入して</p>

	<p>含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者とやり取りしながら、答えを確認する。 <p>【Let's Read and Write】① p.72</p> <p>書く文例：I want to join the (chorus).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (wh)</p>	<p>いる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容が分かるとともに、楽しい学校行事を言うことができる。</p> <p>○Small Talk：（話題は自分たちで選ぶ）</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで、楽しい学校行事を伝え合う。 <p>【Let's Watch and Think 4】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の先生について話を聞き、分かったことを誌面に記入する。 <p>【Let's Listen 3】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が、中学校の先生について話している。分かったことを誌面に記入する。 <p>【Let's Read and Write】② p.72</p> <p>書く文例：I want to enjoy (Sports Day).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎楽しい学校行事を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎中学校の先生についてのスピーチを聞いて内容が分かり、記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>【Let's Watch and Think 2~4】 p.68~70</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで視聴してきた中学生のインタビュー（部活動、学校行事、先生に関するもの）を再度内容を確かめながら聞く。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで中学校の学校行事や部活動について尋ねたり、答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 <p>【Let's Read and Write】③ p.72</p> <p>書く文例：He is a(n) (English teacher).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (wh)</p>	<p>◎中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆中学生のスピーチを聞いて小学校との違いが分かる。</p> <p>◆中学校での部活動や学校行事などについて伝え合う。</p> <p>○Small Talk：（話題は自分たちで選ぶ）</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>【Let's Watch and Think 5】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生のスピーチの映像を見て、小学校と中学校の違いについて分かったことを誌面に記入する。 <p>【Let's Listen 4】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入部したい部活動」「楽しい行事」「その理由」を聞き取って、誌面に 	<p>◎中学校のスピーチを聞いて小学校との違いを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

	<p>記入する。</p> <p>【Let's Play】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室を歩いて回り、前活動でペアにならなかった友達とペアになり、入部したい部活動、楽しみな行事、その理由について尋ね合い、分かったことを誌面に記入する。 <p>【Let's Read and Write】 ④ p.72</p> <p>書く文例：What club do you want to join?</p> <p>I want to join the (club).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎中学校での部活動や学校行事などについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチ原稿を読んだり、自分のスピーチ原稿を書いたりする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>【Let's Listen 4】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回到続いて再度聞き、次のスピーチづくりに役立てる。 <p>【Activity】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、内容を理解する。 ・音声が続いて、児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いつながら言う。 ・前時までに書き写した文も参考にして、スピーチ原稿を書く。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている文を推測しながら読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎例を参考にして、中学校生活についての期待を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆中学校生活について入部したい部活動や楽しみな学校行事について読み、自分のスピーチを書く。</p> <p>○Small Talk：(話題は自分たちで選ぶ)</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>【Let's Listen 4】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を確認しながら再度聞き、自身のスピーチの参考となるようにする。 <p>【Activity】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声が続いて、児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いつながら読む。 ・ペアで、スピーチ原稿を見合ってアドバイスし合い、よりよい内容となるようにする。 ・アドバイスを取り入れながら、前時から書き始めたスピーチ原稿を完成させる。 ・原稿ができあがったら読む。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎人に伝えるという目的をもち、中学校生活についての期待を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、中学校生活について、自分が入部したい部活動や楽しみな学校行事とその理由をスピーチしようとする。</p> <p>◆短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p> <p>【Activity】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自スピーチをする。 ・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。 <p>【STORY TIME】 p.73</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎他者に配慮しながら、中学校生活について、入部したい部活動や楽しみな学校行事とその理由を発表している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 9—Lesson 1 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 1/8 時間

目 標 中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	・挨拶をする。 ○Small Talk: (話題は自分たちで選ぶ)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・1年間のまとめの時期であることを踏まえ、今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり、児童たちに話題を決めさせたりする。その上で、指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。	
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.66, 67 ・映像を見て、感想や分かったことを発表する。	・日本の中学校生活の映像を視聴させ、中学校生活への興味を高める。映像内容は、授業や学校行事、部活動の様子である。 ・まず、1度すべてを通して視聴させ、感想を発表させる。映像の説明で使われている英語は、難しい部分があったり、既習表現ではない部分があったりする。説明のすべてを理解しなくてもよいこと、おおよその内容、例えば、どんな授業があって、どのような部活動があるのか、体育祭ではどのようなことをするのかなどが聞き取れればよいことを伝える。今は全てが分からなくても、外国語の学習を継続することで、これらの英語が分かるようになることも伝え、中学校生活への期待感を高めるようにする。そうすることで、本単元最終のスピーチにつながる。	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>Let's take a look at a day of a junior high school students.</p> <p>What are the students doing? They are having lessons. What lesson is this? It's an English lesson. Their English is great, isn't it? They use English very well. That's an English teacher. It's a music lesson. Students sing well. They play the recorder well. That's a music teacher. He can play the piano very well. Like this, in junior high school they have math teachers, English teachers, Japanese teachers, music teachers, P.E. teachers and so on.</p> <p>Look! We can see sports day. Look at the students. They are tall and smart! They can run fast. They can jump high. They can dance well. They are cool.</p> <p>In junior high school, you can enjoy club activities. They have a soccer team, basketball team, baseball team, volleyball team, tennis team, badminton team, arts club, English club, science club and so on.</p> <p>The students and teachers in junior high schools are waiting for you! See you soon.</p>		
	・聞こえた英語を答えたり、中学校生活について指導者とやり取りしたりする。	・再度、視聴させる。その際、児童の実態に合わせて、途中で止めてどんな英語が聞こえたかを尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、中学校生活について児童とやり取りをする。	

		<p>T: In the music class, the junior high school students play ...? The recorder.</p> <p>T: On sports day, the junior high school students ...? Run and dance. Are they cool? Great?</p> <p>T: What club activities do you see? Science club? The students make ...? Robots.</p> <p>T: What do you want to do in your junior high school? What club do you want to join? What do you want to study?</p>	
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.68</p> <p>・中学生が、中学校生活（部活動）について話すのを聞き、「年齢」「部活」「部員数」「練習日」を聞き取って、誌面に記入する。</p>	<p>・続いて、1日入学に訪れた小学生に、中学生が中学校生活について話している様子の映像を視聴することを伝える。まず、通して視聴させる。</p> <p>T: Junior high school students are talking about club activities. Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>女子中学生：Hello! Welcome to Sakura Junior High School! My name is Rika. I'm thirteen years old. We have many teams and clubs in our school: soccer, tennis, baseball and so on. I'm in the soccer team. I like soccer. We have twenty-six players in our team. We practice every day from Monday to Friday.</p> <p>男子中学生：Hi! My name is Seiya. I'm fourteen years old. I'm in the science club. I like science very much. We have seventeen members in our club. We meet every Monday, Wednesday, Thursday and Friday from 4:00 to 5:00. Thank you.</p> <p>女子中学生：We have a volleyball team, too. My friends are in the volleyball team. Thirty-seven players are in that club. They practice every day from Monday to Friday. They sometimes practice on Saturdays, too.</p>		
		<p>・児童の実態に合わせて、サッカークラブ、理科クラブ、バレーボールクラブを分けて視聴させ、どのような語が聞こえたかを尋ねるとよい。児童が分かったという達成感がもてるよう、数回視聴させる。</p> <p>・単に答え合わせとならないよう、中学校の部活動を題材に児童とやり取りをする。</p>	
	<p>T : Rika is in the ..., what team? Soccer! How many members? What day do they play soccer? Monday? What club do you want to join? Me? In my junior high school, I was in the badminton team. I like badminton very much. How about you? What club do you want to join? Soccer team? Basketball? Science?</p> <p>S1: Soccer!</p> <p>T : Oh, you want to join the soccer team. Great. How about you, S2?</p> <p>S2: Baseball.</p> <p>T : I see. You want to join the baseball team. Good. You can play baseball well. How about you, S3?</p> <p>S3: Music.</p> <p>T : Music? Chorus? Or brass band?</p> <p>S3: Chorus.</p> <p>T : I see. You want to join the chorus. Do you like singing?</p> <p>S3: Yes, I do.</p> <p>T : Let's check the answers.</p>		
		◎中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
9分	<p>【Let's Listen 1】 p.68</p> <p>・小学生が、中学校で入りたい部活動について、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。</p>	<p>・前活動の続きから、登場人物のこうせいはいくつなのか部活動に入りたいと思うかと問いかけ、児童に予想させる。その予想を確かめるために、こうせいのスピーチを聞くという目的意識をもたせる。</p> <p>・この活動を通して第7時と第8時のスピーチ活動</p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>・指導者とやり取りしながら、答えを確認する。</p>	<p>へのイメージをもたせるようにする。 T: Let's listen to Kosei's speech.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>こうせい : Hello, everyone. My name is Kosei. I like basketball very much. I want to join the basketball team. I can practice every day. I'm happy about that. I want to play basketball in America! Thank you.</p> </div> <p>・児童の実態に応じて、複数回聞かせ、児童に分かったという達成感をもたせるようにする。まとまった話を聞き、必要な情報を聞き取らせることがねらいである。 ・児童とやり取りして、児童から答えを引き出しながら答えを確認する。 T: Let's check the answer. 映像のこうせいをさし示して（指導者がこうせいの立場になって） T: I'm Kosei. I want to join ...? I like ...? I want to ...? ◎入りたい部活動についての話を聞いて必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 2 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 2/8 時間

目 標 中学校生活の学校行事について話を聞いておおよその内容が分かり、入りたい部活動を言うことができる。

準 備 教師用カード (部活動, 行事, 白, クジラ), ワークシート (Unit 9-1, 9-7), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
6分	○どんな部活動があるか知ろう。 ・誌面にある部活動を発表し、部活動の言い方を知る。	・誌面 p.66, 67 を開けさせ、どのような部活動があるかを発表させる。その際、部活動の言い方をデジタル教材で確かめて聞かせる。それを受けて、部活動について児童とやり取りをしながら、教師用カードを黒板に掲示する。 ・児童に Do you want to join the ~ club / team? What club do you want to join? と尋ね、これらの表現や答え方に慣れ親しませ、次の活動につなげる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> T: What club do you want to join? S1: Soccer. T: You want to join the soccer team? S1: Yes. T: S1, do you like soccer? S1: Yes, I do. T: I see. S2, do you want to join the soccer team? S2: No. T: What club do you want to join? ... </div>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (部活動)
5分	○Let's Talk ・中学校で入りたい部活動をペアで伝え合う。 S3: I want to join the basketball team. How about you? S4: I want to join the brass band.	・前活動の流れで、ペアで入りたい部活動を伝え合わせる。 ・相手を替えて繰り返させる。 ◎入りたい部活動を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材
10分	【Let's Watch and Think 3】 p.69 ・中学生が学校行事について話す映像を見て、聞き取れた語を発表する。	・視聴させる前に、誌面 p.69 にある学校行事の写真を見せ、それらが何の行事か、小学校の行事とどこが違うかを考えさせる。1日入学に訪れた小学生が、中学校行事について話を聞く映像を視聴することを伝える。まず、通して視聴させる。 T: Junior high school students are talking about school events. Let's listen to the talk.	デジタル教材 児童用テキスト
	○キーワード・ゲーム ・行事を表す語で行う。	・聞き取れた語を発表させる。全ての内容を理解するのは難しいため、本時では、聞き取れた語を交流するだけにとどめ、聞き取れたことを褒めるようにする。学校行事の言い方を知ることがねらいである。	教師用カード (行事)
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> キーワード・ゲームの進め方 ・ペアの間に消しゴムを1つ置く。児童は、指導者が言う語を繰り返して言う。指導者があらかじめ決めておいたキーワードを言ったら、繰り返して言わずに消しゴムを取る。取った方が勝ち。 </div>		

10分	<p>【Let's Listen 2】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生が、中学校の行事で楽しみにしているものについて、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。 <p>・指導者とやり取りしながら、答えを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> はなは、どんな行事が楽しみだと思うかと投げかけ、予想させる。その予想を確かめるために、はなのスピーチを聞くという目的意識をもたせる。 この活動を通して第7時と第8時のスピーチ活動へのイメージをもたせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>はな : Hello, everyone. My name is Hana. I want to enjoy sports day. I like running. I'm good at running. Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童とやり取りして、児童から答えを引き出しながら答えを確認する。 <p>T : Let's check the answer. (映像資料のはなをさし示して) (指導者がはなの立場になって)</p> <p>T : My name is Hana. I want to enjoy ...? I like ...? I'm good at ...?</p> <p>T : What event do you want to join? Sports day? Music festival? S1, what event do you want to join?</p> <p>S1: School trip.</p> <p>T : You want to join the school trip. I see.</p> <p>◎学校行事についての話を聞いておおよその内容が分かり、誌面に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 ① p.72</p> <p>書く文例 : I want to join the (chorus).</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら画面の文を読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Please look at the sentence again and read it. Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p> <p>※ワークシート (Unit 9-1) では I want to join the chorus. となっているが、デジタル教材では I want to join the soccer team. となっている。デジタル教材の音声を聞いて、I want to join the soccer team. と言った後、児童にワークシートの文を読むことに挑戦させる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-1)
5分	<p>○Sounds and Letters (wh)</p> <ul style="list-style-type: none"> (時間があれば) ジングルを1通り聞く。 誌面にある /h)w/ で始まる単語を見て、発音する。 ワークシートの4線上に wh の文字を書く。 	<p>T: (Listen to the jingle.)</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Please repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が知っている単語が少ないのでサウンド・テニスを行わない。ワークシートに字を書くように指示する。 <p>T: Please write the two letters 'wh.'</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板に white, whale の教師用カードを掲示し、また、wheel (タイヤ), whistle (笛) は簡単な絵を黒板に描くなどして、それぞれ発音をして、児童に繰り返し言わせる。 <p>T: Look at the pictures. They are white, whale, wheel, whistle. This is ...?</p>	教師用カード (白, クジラ) ワークシート (Unit 9-7)
2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 3 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 3/8時間

目 標 中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容が分かるとともに、楽しい学校行事を言うことができる。

準 備 教師用カード (行事), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-2), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk: (話題は自分たちで選ぶ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 1年間のまとめの時期であることを踏まえ、今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり、児童たちに話題を決めさせたりする。その上で、指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p>	<ul style="list-style-type: none"> まずチャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 <p>T: Let's chant together.</p>	デジタル教材
		<p>What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)</p>	
5分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答える。 ペアで、楽しい中学校の学校行事を伝え合う。 <p>S1: What school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. S1: Great! S2: How about you? S1: I want to enjoy sports day. S2: Nice.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童用テキスト p.69を開けさせ、指導者が言う行事をさし示すよう指示する。行事の言い方を確認したところで、数名の児童と行事についてやり取りをする。 <p>T: S1, what school event do you want to enjoy? S1: Summer vacation. T: Good. You want to enjoy summer vacation. Do you like summer? S1: Yes, I do. T: Me, too. S2, what school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. T: The field trip, I see. Now it's your turn. Please talk about the school events in pairs. <ul style="list-style-type: none"> 次にペアで楽しい中学校行事を伝え合うよう言う。相手を替えて繰り返させる。 <p>◎楽しい中学校行事を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> </p>	教師用カード (行事)
11分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校の先生について話を聞き、分かったことを誌面に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が、1日入学に訪れた小学生に中学校の先生について話をしている様子を視聴することを伝える。 <p>T: Let's listen to the speech.</p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>女子中学生 : Look at this booklet. They are our teachers. The young female teacher is a math teacher. The young male teacher is an English teacher. This is our principal. They are all good teachers.</p> <p>男子中学生 : I like English very much. Mr. Yamada is a great teacher. He speaks English very well. He is also good at playing the guitar. Let's go and talk to him.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が少しでも分かったという達成感がもてるよう複数回視聴させる。 ・児童から答えを引き出しながら答えを確認する。 <p>T: Let's check the answers. The young female teacher is a ...? Science teacher? Japanese teacher? Great, a math teacher.</p> <p>T: Mr. Yamada is ...? Music teacher? That's right, he is an English teacher. He speaks ...? (話すジェスチャーをしながら) Good. English. He speaks English very well. He is good at ...?</p>	
8分	<p>【Let's Listen 3】 p.71</p> <p>・小学生が、中学校の先生について話している。分かったことを誌面に記入する。</p>	<p>・映像資料で、登場人物のさきが、中学校の先生についてスピーチするのを聞くことを告げる。</p> <p>T: Please listen to the speech.</p> <p>Hello, everyone. My name is Saki. Look at this picture. He is an English teacher. He speaks English well. I like English. I want to study English more.</p> <p>・単に答え合わせにならないように、中学校でどのようなことをしたいかを題材に児童とやり取りをする。</p> <p>T : Let's check the answers. (指導者がさきの立場に立って) My name is Saki. I like ...? I want to study ...? Do you like English, S1? S1: Yes, I do. T : Good. Do you want to study English in junior high school? S1: Yes. T : You want to study English. Good. S2, what do you want to do in junior high school? Join the club? Enjoy? What do you want to do? S2: Soccer team. T : You want to join the soccer team. Great. T : S3, how about you? What do you want to do? S3: Enjoy badminton team. T : Sounds nice. You want to enjoy the badminton team.</p> <p>◎中学校の先生についてのスピーチを聞いて内容が分かり、記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 ② p.72</p> <p>書く文例: I want to enjoy (Sports Day).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Please look at the sentence again and read it. What do you want to enjoy? Please choose the words from the word box and complete the sentence..</p> <p>※ワークシート (Unit 9-2) では、Sports Day と記されているが、デジタル教材の画面では、sports day と表記される。児童用テキスト p.69 Let's Watch and Think 同様、見出しのように記す場合は、Sports Day と大文字で始め、文の中で言う場合は小文字で記したりする。ワークシートでは、児童用テキストに合わせて、Sports Day としているが、児童が書く場合には sports day のように記しても構わない。</p>	ワークシート (Unit 9-2)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 4 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 4/8時間

目 標 中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりする。

準 備 教師用カード (部活動, 行事), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-3, 9-8, 9-9), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。</p> <p>T: Let's chant together.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)</p> </div>	デジタル教材
10分	<p>【Let's Watch and Think 2-4】 p.68~70</p> <p>・今まで視聴してきた中学生のインタビュー (部活動, 学校行事, 先生に関するもの) をもう1度内容を確認しながら聞く。</p>	<p>・これまでに視聴した中学生のスピーチを再度視聴させ, 内容を確認めるよう言う。</p> <p>T: Let's watch the video again.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>女子中学生: Hello! Welcome to Sakura Junior High School! My name is Rika. I'm thirteen years old. We have many teams and clubs in our school: soccer, tennis, baseball and so on. I'm in the soccer team. I like soccer. We have twenty-six players in our team. We practice every day from Monday to Friday.</p> <p>男子中学生: Hi! My name is Seiya. I'm fourteen years old. I'm in the science club. I like science very much. We have seventeen members in our club. We meet every Monday, Wednesday, Thursday and Friday from 4:00 to 5:00. Thank you.</p> <p>女子中学生: We have a volleyball team, too. My friends are in the volleyball team. Thirty-seven players are in that club. They practice every day from Monday to Friday. They sometimes practice on Saturdays, too.</p> <p>男子中学生: We have many events in our school: the entrance ceremony, the summer vacation, the school trip, the music festival, sports day and so on. I like sports day. Do you like sports day? Please enjoy your junior high school life from April! Thank you.</p> <p>女子中学生: I like the culture festival. We choose a song and sing it all together. We also have big tests twice a term. We study hard. Please have a great time from April! Thank you.</p> <p>女子中学生: Look at this booklet. They are our teachers. The young female teacher is a math teacher. The young male teacher is an English teacher. This is our principal. They are all good teachers.</p> <p>男子中学生: I like English very much. Mr. Yamada is a great teacher. He speaks English very well. He is also good at playing the guitar. Let's go and talk to him.</p>			

17分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで中学校の学校行事や部活動について尋ねたり、答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 <p>S1: What club do you want to join? S2: I want to join the newspaper club. S1: Great! S2: What school event do you want to enjoy? S1: I want to enjoy the school trip.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名の児童と中学校の部活動や学校行事についてやり取りをする。 <p>T : S1, what club do you want to join? S1: Science club. T : Good. S2, what school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. T : Good. Now it's your turn. Let's talk about clubs and events in junior high school in pairs.</p> <p>◎中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	教師用カード (部活動, 行事)
5分	<p>[Let's Read and Write] ③ p.72</p> <p>書く文例: He is a(n) (English teacher).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Please look at the sentence again and read it. Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-3)
5分	<p>OSounds and Letters (wh)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(時間があればジングルを1通り聞く。) <p>・ワークシートにある /h)w/ で始まる単語を見て, 発音する。</p> <p>・ wh で始まる where, when, what, which を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の Sounds and Letters と異なり, wh の音は2回目の取り扱いとなる。サウンド・テニスを行わず who, what, where, when を題材にする。 <p>T: (Listen to the jingle.) Look at the pictures in the textbook. Please repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ /h)w/ という音でこれまでにどんな言葉があったかを児童に問う。児童から答えが出てきにくい場合は, デジタル教材で次のチャンツなどを聞かせて思い出させるとよい。 <p>“When is your birthday?” “What time do you get up?” “Where do you want to go?”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにある単語を聞かせ, 児童に文字を見ながら一緒に言うよう促す。 <p>T: Listen to me. When, where, what, who. What is this? Where is the treasure? When is your birthday? What time is it?</p>	ワークシート (Unit 9-8, 9-9) デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 5 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 5/8時間

目 標 中学生のスピーチを聞いて小学校との違いが分かる。

中学校での部活動や学校行事などについて伝え合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-4, 9-5), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	・先生と挨拶をする。 ○Small Talk: (話題は自分たちで選ぶ)	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・1年間のまとめの時期であることを踏まえ, 今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり, 児童たちに話題を決めさせたりする。その上で, 指導者が質問をして, ペアで対話をさせる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。	
3分	【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67	・児童と一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 T: Let's chant together.	デジタル教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)</p> </div>			
15分	【Let's Watch and Think 5】 p.70 ・中学生のスピーチの映像を見て, 小学校と中学校の違いについて分かったことを誌面に記入する。	・視聴させる前に, 中学校生活と小学校生活の違いはないかと問いかける。これまで中学校生活を話題にしてきたことに触れながら児童に予想させ, 視聴への意欲をもたせる。 ・中学生2人が中学校生活について話している映像資料を視聴し, 中学校生活と小学校生活の違いを考えるよう伝える。 T: Listen to the speeches. Junior high school students are talking about their school life.	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>女子中学生: Thank you for visiting our school today. Lastly, I want to talk about our uniform. We always wear a school uniform at school. Do you like our school uniform? We have a summer uniform and a winter uniform. I like our uniform very much.</p> <p>男子中学生: I want to say one more thing. Please make good friends here and enjoy your school life. We want to help you and our teachers help you, too. Thank you again for coming to our school. We had a great time with you.</p> </div>			
		・児童の実態に応じて複数回聞かせ, 児童に分かったという達成感をもたせるようにする。 ・これまでと内容が少し異なっているため, 聞き取れた語を発表, 交流させ, どのような内容かを推測させながら複数回視聴させる。	

		<p>T: Let's check the answers. Are there any differences? 違いは何だと言っていましたか。(児童は日本語でも意見を言う)</p> <p>School uniform. You have a school uniform at junior high school. 制服着用ですね。</p> <p>・今まで考えてきた部活動や学校行事, 先生方に見られる小学校と中学校の違いも含めて話題にし, 中学校生活を楽しみに思う心を育むようにする。</p> <p>◎中学校のスピーチを聞いて小学校との違いを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
6分	<p>【Let's Listen 4】 p.71</p> <p>・みんなの前で話している小学生(1, 2, 3)のスピーチを視聴する。</p>	<p>・ここで, 第7時と第8時に向けたスピーチの内容を徐々に決めていくことができるように, スピーチのモデルを視聴させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. Hello, everyone. I'm Mark. I want to join the badminton team. I like badminton very much. I'm good at badminton. I want to be a badminton player. So I practice badminton every day. Thank you.</p> <p>2. Hello, everyone. My name is Christina. I want to enjoy the school trip. I like trips. I want to visit many places. I want to enjoy sports day, too. I like running. I can run fast. Thank you.</p> <p>3. Hello, everyone. I'm Muhammad. I want to join the newspaper club. I like reading books and newspapers. I want to be a reporter. So I study hard every day. I want to go to foreign countries. Thank you.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>・「入部したい部活動」「楽しみな行事」「その理由」を聞き取って, 誌面に記入する。</p> <p>・指導者とやり取りしながら, 答えを確認する。</p>	<p>・理由の言い方について着目させながら, 繰り返し聞かせる。</p> <p>・単なる答え合わせとならないように, また, 児童がこの後スピーチの内容を考える際の参考となるように, 理由の部分を中心に分かったことを児童から引き出すようにする。そこで, 画面に登場人物を映し, 指導者がその人物の立場になって回答を確認する。</p> <p>T: Let's check the answers. I'm Mark. I want to join ...? I like ...? I'm good ...? I want to be a ...?</p>	
8分	<p>【Let's Play】 p.70</p> <p>・教室を歩いて回り, 前活動でペアにならなかった友達とペアになり, 入部したい部活動, 楽しみな行事, その理由について尋ね合い, 分かったことを誌面に記入する。</p>	<p>・数名の児童と例を示す。</p> <p>T : S1, what club do you want to join? S1: I want to join the volleyball team. T : Sounds nice. Why? S1: I like volleyball. T : I see. You like volleyball. Great. Can you play volleyball well? S1: Yes, I can.</p>	

		<p>T : Good. What event do you want to enjoy? S1: I want to enjoy Sports Day. T : Sports day. Why? S1: I can run very fast. T : You are good at sports. Thank you.</p> <p>・同様に, 児童同士で行わせる。 ◎中学校での部活動や学校行事などについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write】 ④ p.72 書く文例: What club do you want to join? I want to join the ...</p> <p>・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>① I want to join the soccer team. ② I want to enjoy sports day. I don't like tests. ③ He is an English teacher. He can speak English well. ④ What club do you want to join?</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Please look at the sentences again and read them. Copy the question. Please choose the words from the word box and write them down.</p> <p>・今までワークシートに例として書かれていた文が, ワークシート (Unit 9-5) にまとまっている。それを見ながら, 例文が読まれるのを聞くように指示する。 ・音声の後に続いて文を言うように指示する。 ※ワークシート (Unit 9-5) では, soccer team が soccer club になっていたり, I don't like tests. He can speak English well. が記載されていないが, デジタル教材の音声を聞いて繰り返した後, 児童にワークシートの文を読むことに挑戦させる。</p>	ワークシート (Unit 9-4, 9-5)
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 6 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 6/8時間

目 標 中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチ原稿を読んだり、自分のスピーチ原稿を書いたりする。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1~9-6)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・児童と一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。</p> <p>T: Let's chant together.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)</p> </div>	デジタル教材
7分	<p>【Let's Listen 4】 p.71</p> <p>・前回に続いて再度聞き、次のスピーチづくりに役立てる。</p>	<p>・指導者は、ここで聞くスピーチが児童の最終スピーチのモデルになることを伝え、内容を理解しながら、よく聞くように指示する。</p> <p>T: Listen to the speeches again.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1. Hello, everyone. I'm Mark. I want to join the badminton team. I like badminton very much. I'm good at badminton. I want to be a badminton player. So I practice badminton every day. Thank you.</p> <p>2. Hello, everyone. My name is Christina. I want to enjoy the school trip. I like trips. I want to visit many places. I want to enjoy sports day, too. I like running. I can run fast. Thank you.</p> <p>3. Hello, everyone. I'm Muhammad. I want to join the newspaper club. I like reading books and newspapers. I want to be a reporter. So I study hard every day. I want to go to foreign countries. Thank you.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト

30分	<p>【Activity】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞いて、内容を理解する。 ・ 音声が続いて、児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いつながら言う。 ・ 前時までに書き写した文も参考にして、スピーチ原稿を書く。 <ul style="list-style-type: none"> * 4線上でいねいに書く。 * 大文字と小文字に気を付けて書く。 * スペース (単語と単語の間) に気を付けて書く。 * ピリオドや符号を忘れずに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童が書く原稿例</p> <p>I want to join the brass band.</p> <p>I like music.</p> <p>I can play the piano well.</p> <p>I'm good at singing.</p> <p>I want to enjoy the music festival.</p> <p>What club do you want to join?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここでは、これまでワークシートに書きためた英文や、誌面に掲載されている部活動名、行事名を表す語などを参考に、スピーチ原稿を書く活動を行う。 ・ まず、デジタル教材で p.72 に掲載されている英文を含む例文が読まれるのを聞かせる。 ・ 次に、音声の後に続いて文を言うように指示する。その際、掲載されている英文の文字を指で追いつながら言わせる。児童の実態に応じて、数回繰り返す。 <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている文を推測しながら読んでいる。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Activity やワークシートの文を参考にスピーチを作成するように指示する。 <p>T: Please write your own speech.</p> <p>Look at your worksheets and the textbook. Use the expressions there.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ原稿は次時に完成させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Hello. My name is Yuta.</p> <p>I like soccer.</p> <p>I'm good at shooting.</p> <p>I want to join the soccer team.</p> <p>What club do you want to join?</p> <p>I like running.</p> <p>I can run fast.</p> <p>I want to enjoy sports day.</p> <p>What event do you want to enjoy?</p> </div> <p>◎例を参考にして、中学校生活についての期待を書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 9-1~9-6)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 9—Lesson 7 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 7/8時間

目 標 中学校生活について入部したい部活動や楽しい学校行事について読み、自分のスピーチを書く。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-5, 9-6)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
8分	・挨拶をする。 ○Small Talk : (話題は自分たちで選ぶ)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・1年間のまとめの時期であることを踏まえ、今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり、児童たちに話題を決めさせたりする。その上で、指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85を参照。	
3分	【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67	・一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 T: Let's chant together. What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)	デジタル教材
6分	【Let's Listen 4】 p.71 ・内容を確認しながら再度聞き、自身のスピーチの参考となるようにする。	・児童が作成しているスピーチと聞くスピーチとを比べながら、聞くように指示する。 T: Listen to the speeches again.	デジタル教材 児童用テキスト
	1. Hello, everyone. I'm Mark. I want to join the badminton team. I like badminton very much. I'm good at badminton. I want to be a badminton player. So I practice badminton every day. Thank you. 2. Hello, everyone. My name is Christina. I want to enjoy the school trip. I like trips. I want to visit many places. I want to enjoy sports day, too. I like running. I can run fast. Thank you. 3. Hello, everyone. I'm Muhammad. I want to join the newspaper club. I like reading books and newspapers. I want to be a reporter. So I study hard every day. I want to go to foreign countries. Thank you.		
25分	【Activity】 p.72 ・音声が続いて、ワークシート (Unit 9-5) の例文、児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いながら読む。	・音声教材が続いて、ワークシートにある例文を読むように指示する。 ・音声教材が続いて、Activity にある例文を読むように指示する。	児童用テキスト ワークシート (Unit 9-5, 9-6)

	<p>・ペアで、スピーチ原稿を見せ合ってアドバイスし合い、よりよい内容となるようにする。</p> <p>・アドバイスを取り入れながら、前時から書き始めたスピーチ原稿を完成させる。</p> <p>* 4線上にていねいに書く。</p> <p>* 大文字と小文字に気を付けて書く。</p> <p>* スペース (単語と単語の間) に気を付けて書く。</p> <p>* ピリオドや符号を忘れずに書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Hello. My name is Yuta. I like soccer. I'm good at shooting. I want to join the soccer team. What club do you want to join? I like running. I can run fast. I want to enjoy sports day. What event do you want to enjoy?</p> </div> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>・前時に書き始めたスピーチ原稿を、ペアで見合っ てアドバイスし合うように指示する。</p> <p>・アドバイスを取り入れながら、Activity やワーク シートの文を参考にスピーチを作成するように指示 する。</p> <p>T: Please write your own speech. Look at your worksheets and the textbook. Use the expressions there.</p> <p>◎人に伝えるという目的をもち、中学校生活につい ての期待を書いている。〈行動観察・記述分析・振り 返りカード点検〉</p> <p>・原稿ができあがったら読み、それをもとにスピー チの練習をするよう指示する。</p> <p>T: Please practice your speech.</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカー ドに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

児童が書く原稿例

I want to join the brass band.

I like music.

I can play the piano well.

I'm good at singing.

I want to enjoy the music festival.

What club do you want to join?

・原稿ができあがったら読む。

6年 Unit 9-Lesson 8 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動 8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、中学校生活について、自分が入部したい部活動や楽しみな学校行事とその理由をスピーチしようとする。
短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1~9-6)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
2分	【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67	・一緒にリズムに気を付けてチャンツを言う。 T: Let's chant together.	デジタル教材
		What do you want to do in junior high school? What do you want to do in junior high school? I want to join a club. (Student 1) I want to study hard. (Student 2) I want to make friends. (Student 3) I want to wear a uniform. (Student 4) I want to eat school lunch. (Student 5) What do you want to do in junior high school? We want to do all of them. (Students 1, 2, 3, 4, 5)	
26分	【Activity】 p.72 ・各自スピーチをする。 ・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。	・スピーチを発表させる。 ・話し手は聞き手を見ながら話し、聞き手は発表者の内容について、既習の表現を使って感想を言ったり質問をしたりすることを確認する。 ・4~6人で1グループとなり、そのグループ内で発表する。グループ全員の発表が終わったら、新しいグループで同様の発表をする。学級の人数によっては、グループではなく、学級全体で行うなど、形態を工夫する。 ◎他者に配慮しながら、中学校生活について、入部したい部活動や楽しみな学校行事とその理由を発表している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト ワークシート (Unit 9-1~9-6)
5分	【STORY TIME】 p.73 ・デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。 ・音声のあとに続いて言う。 ・ライム (押韻) している単語だけを読む。	・本単元で学習した表現が含まれている文を読みながら、ライム (押韻) を通して子音の復習と母音の気付きを高める。ここで取り扱うライム (押韻) は /ɔ:ɪ/。 T: Listen to the story. Next repeat after the story. Finally repeat after the rhyming words.	デジタル教材 児童用テキスト
		They are all tall. We are all small. They are all good. We can be good, too. Ball, ball, ball, let's play ball. Tall and small players, all playing ball.	
		◎短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
10分	・本時の活動及び2年間を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード